

## **第二章 公共サインに関する現状と課題**



## 第二章 公共サインに関する現状と課題

### 1 現状と課題把握のための調査

ここでは、本市における公共サインに関する現状と課題の把握を目的とし、設置されている公共サインに関する実態調査、市内の施設・資源を利用する人々の公共サインに関する意識調査及び公共サインガイドラインをすでに策定している先駆自治体（静岡県、倉敷市、横浜市、旭川市、横須賀市、小田原市）の事例調査の結果について取りまとめる。

#### 1-1 実態調査

茅ヶ崎市内の公共サインの現在の設置状況を把握するために、市内の主要道路を選定し、設置されている公共サインの実態調査を行った。調査ルートを選定にあたっては、本市の景観特性を踏まえ、茅ヶ崎市景観計画に位置付けた海岸地域景観ゾーン、中部地域景観ゾーン、北部丘陵地域景観ゾーン、中心市街地景観ゾーンから、既往のまち巡りコースや施設・資源の立地状況等を踏まえて選定を行った。

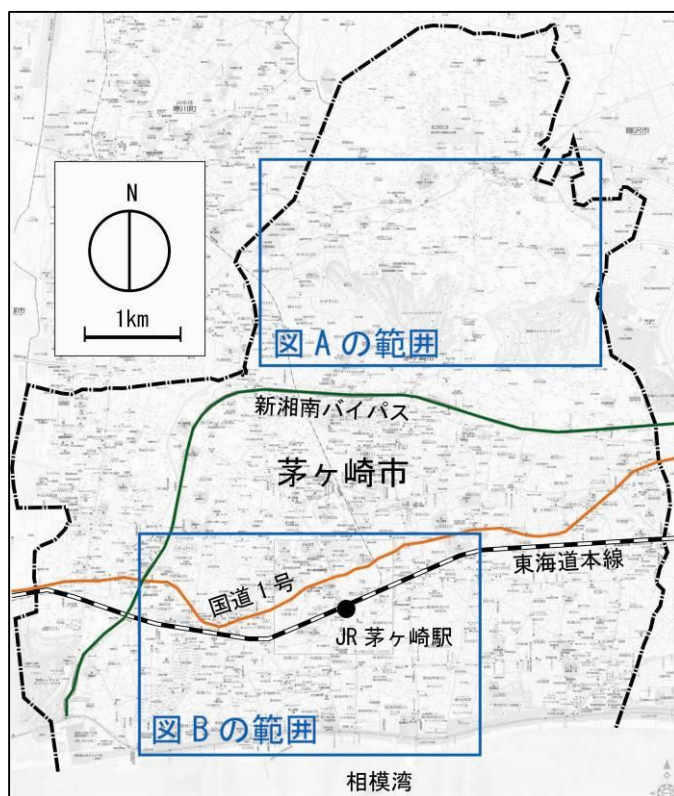
##### (1) 調査の概要

●調査日

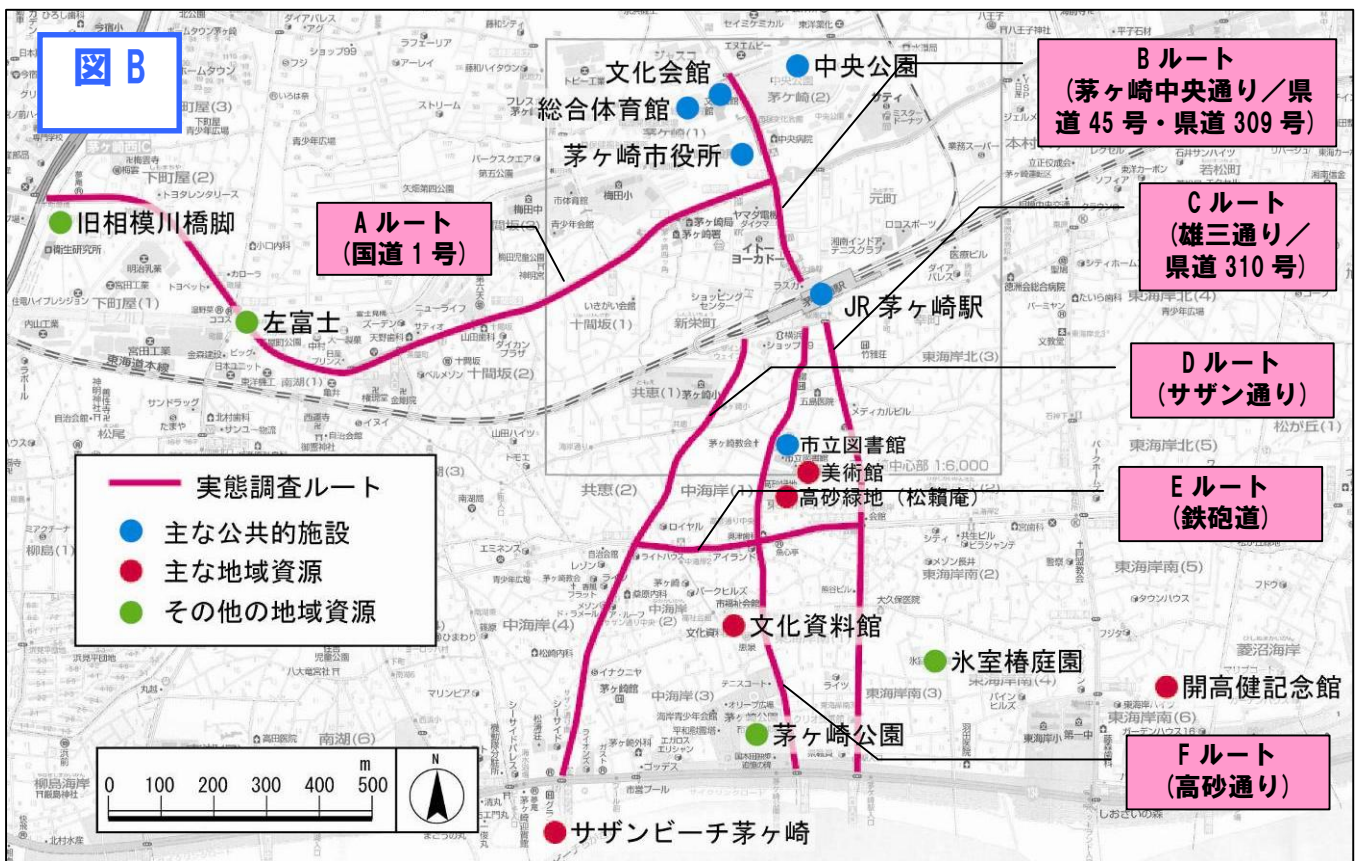
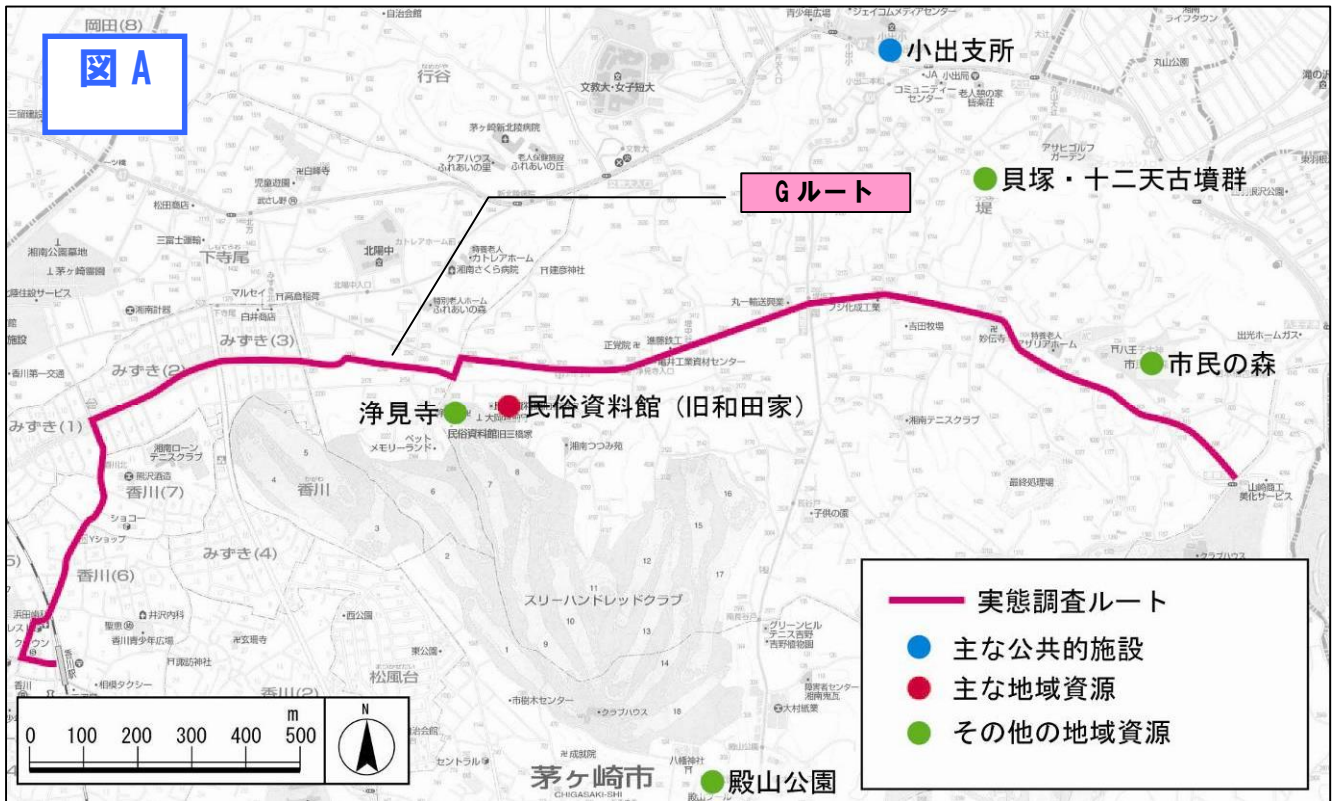
平成 21 年 7 月 20 日(月)

●調査対象ルート

市内主要ルートとして選定した 7 ルート(下図及び次頁図参照)。



図表 2-1 調査対象エリア図 (その 1)



図表 2-2 調査対象エリア図(その2)

●対象サイン

対象ルートにおける公共サイン等の設置状況をより詳細に把握するために、本市が設置した公共サインを含め、以下に示す「道路案内標識」「公共サイン」「屋外広告物」を調査対象とした。

1) 道路案内標識

道路案内標識の案内内容、形状、色彩等は標識令<sup>2</sup>等に定められたルールに従う必要がある。



■経路案内



■交差点名称



■距離標

1 「道路案内標識」は本報告書では、道路管理者が標識令等に基づき経路案内や地点案内のために設置した道路標識やそれに準ずるものとする（以下同様）。

2 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（昭和三十五年十二月十七日総理府・建設省令第三号）。

## 2) 公共サイン

上記「道路案内標識」以外で、本市を含めた地方自治体等の公的機関が設置したサイン。

調査では、公共サインの目的に応じて下記の4種類に区分して調査を行うこととした。

### ●案内・誘導サイン

施設や場所の地図、方向・距離、名称等を示したサイン



■誘導サイン



■通り名称サイン



■施設名称サイン



■案内サイン



●解説サイン

施設や場所の解説・説明を目的として設置された公共サイン



■看板タイプ



■路面表記タイプ



■記念碑

●注意サイン

禁止区域や避難路等の諸注意を表示した公共サイン



■自転車等の放置禁止区域の看板



■地震・火災の広域避難場所の看板

●その他



■その他の例（住居表示街区案内図）

3) 屋外広告物としての民間サイン(主要なもの)

民間事業者が設置した屋外広告物のうち、商店街が設置するなど比較的公共性が高い屋外広告物、当該施設までの距離や方向を示した規模の大きな屋外広告物。



■店舗位置案内サイン



■商店街名称サイン



## (2) 調査結果の分析

調査を実施した各ルートについて、公共サイン等の設置実態を以下に取りまとめる。

### 1) Aルート(国道1号)

特徴：施設への案内・誘導を行う公共サインがほとんどない。

- ・ Aルートは国の幹線道路である一般国道1号であるため、交差点毎に経路案内、交差点名称を示す道路案内標識が設置されている。
- ・ 道路案内標識以外で経路案内を行う公共サインについては、国指定史跡である「旧相模川橋脚」のサイン(1基)以外には設置されていない。解説サインについては、上記「旧相模川橋脚」と古くからの富士山眺望の名所である「左富士」に、場所の説明を記した解説サイン、記念碑が設置されている。また、「自転車等の放置禁止区域」、「地震・火災の広域避難場所」を示した注意サイン、住居表示街区案内図(地図)が設置されている。
- ・ 民間サインについては、沿道に民間事業者の店舗への案内・誘導サイン(方向・距離)が1基確認できた。

#### ①道路案内標識

- ・ 交差点毎に交差点名称を示す道路案内標識が16基設置されている。
- ・ また経路案内を目的とした道路案内標識が7基設置されている。
- ・ その他、国道1号の距離標として、起点・日本橋からの距離を示した距離標が設置されている(1km間隔)。



■道路案内標識(交差点名称)



■道路案内標識(経路案内)



■道路案内標識(距離標)

## ②公共サイン

### ●案内・誘導サイン

- ・国指定史跡である「旧相模川橋脚」の約 200m 東側に、当該史跡への方向と距離を示した案内・誘導サインが 1 箇所設置されている。
- ・また、「旧相模川橋脚」の入り口には国道 1 号に面して、施設名称を示す 2 つの案内・誘導サインが隣接して設置されている。



■旧相模川橋脚の案内・誘導サイン(国道 1 号歩道上に設置)



■旧相模川橋脚の案内・誘導サイン(史跡入口に 2 つ設置)

### ●解説サイン

- ・「旧相模川橋脚」の跡地公園の周辺は、史跡の解説文や図・写真等を示したサイン、公園の平面図、解説等を示した路面表示のサイン、記念碑等の解説サインが設置されている。
- ・鳥井戸橋の橋詰には、古くからの富士山眺望の名所である「南湖の左富士」の説明及び図が記された解説サインと記念碑が設置されている。



■旧相模川橋脚の史跡内に設置された路面表示の解説サイン



■旧相模川橋脚の史跡内に設置された解説サイン



■旧相模川橋脚の史跡内に設置された記念碑

■鳥井戸橋の橋詰に設置された名所・南湖左富士の解説サインと記念碑

●注意サイン・その他サイン

- ・「自転車等の放置禁止区域」、「地震・火災の広域避難場所」を示した注意サインが、それぞれ1基、2基設置されている。
- ・その他サインとして、住居表示街区案内図が2基確認された。



■自転車等の放置禁止区域の看板



■地震・火災の広域避難場所の看板



■住居表示街区案内図

### ③屋外広告物としての民間サイン

- ・沿道に民間事業者の店舗への案内・誘導サイン(方向・距離)が1箇所確認できた。その他、施設への距離や方向を示す民間サイン等は確認できなかった。



■店舗位置案内サイン

## 2) Bルート(茅ヶ崎中央通り)

特徴：駅前・交差点を中心に公共の案内・誘導サインが設置されている。

- ・Bルートは、茅ヶ崎駅北口の駅前通りである茅ヶ崎中央通りである。
- ・道路案内標識については、経路案内、道路名称を記した標識がそれぞれ3基設置されている。
- ・公共サインについては、駅前周辺(デッキを含む)に茅ヶ崎市全図及び駅周辺の地図を示した案内サインが3基、公共施設の方向を示す誘導サインが1基設置されている。また、国道1号との交差点地下道には、出入口と内部に公共施設への誘導サインが設置されている。

### ①道路案内標識

- ・経路案内を目的とした道路案内標識が3基設置されている。



■道路案内標識(経路案内)

## ②公共サイン

### ●案内・誘導サイン

- ・ペDESTリアンデッキ上(北側階段付近)には、市役所や警察署等の公共施設への誘導サインが設置されている。
- ・道路名称(茅ヶ崎中央通り)を示す道路案内標識が3基設置されている。



■デッキ上に設置された誘導サイン



■歩道に設置された通り名称サイン

- ・茅ヶ崎駅北口には、地図上に公共施設・観光施設等の位置を示した案内サインが、3基設置されている(ペDESTリアンデッキ上に1基、地上に2基)。またこれとは別に、駅構内の改札付近にも地図上に公共施設・観光施設等の位置を示した案内サインが交通事業者により設置されている。



■駅前デッキ上に設置された案内サイン



■駅前の地上に設置された案内サイン

- ・Bルート(茅ヶ崎中央通り)とAルート(国道1号)の交差点の地下道には、地下道内部と出入口にそれぞれ4基づつ、茅ヶ崎駅や市役所等の公共施設の方向を示す誘導サインが設置されている。



■地下道内に設置された誘導サイン



■地下道出入口に設置された誘導サイン

●解説サイン

- ・解説サインは設置されていない。

●注意サイン

- ・「自転車等の放置禁止区域」、「地震・火災の広域避難場所」を示した注意サインが、それぞれ4基、2基設置されている。

③屋外広告物としての民間サイン

- ・屋外広告物としての民間サインは、確認できなかった。

### 3) Cルート(雄三通り)

特徴：公共サイン（通り名称・施設誘導）が一部に設置されているものの、一般的にサインは少ない。

- ・Cルートは、茅ヶ崎駅前(南側)から海岸まで続く県道310号(愛称道路「雄三通り」)である。
- ・道路案内標識については、交差点名称を示した標識が6基、経路案内を示す標識が1基設置されている。
- ・公共サインについては、「サザンビーチちがさき」への案内・誘導を行なう誘導サイン、「雄三通り」の通り名称を示す名称サインがそれぞれ2基設置されている。その他、「地震・火災の広域避難場所」を示した注意サインが1基設置されている。

#### ①道路案内標識

- ・交差点名称を示す道路案内標識が6基設置されている。
- ・経路案内を目的とした標識は、国道134号との交差点近くに1基設置されている。



■道路案内標識(交差点名称)



■道路案内標識(経路案内)

## ②公共サイン

### ●案内・誘導サイン

- ・「サザンビーチちがさき」への案内・誘導を行う誘導サイン、「雄三通り」の通り名称を示す名称サインが、それぞれ2基設置されている(左記2種のサインは同じ支柱に設置されている)。



■通り名称サイン(雄三通り)と、誘導サイン(サザンビーチちがさき)

### ●解説サイン

- ・解説サインは設置されていない。

### ●注意サイン

- ・「地震・火災の広域避難場所」を示した注意サインが、1基設置されている。



■地震・火災の広域避難場所の看板

## ③屋外広告物としての民間サイン

- ・屋外広告物としての民間サインは、確認できなかった。



#### 4) Dルート(サザン通り)

特徴：民間設置の「サザン通り商店街」のサインが多数設置されている。

- ・Dルートは、茅ヶ崎駅前(南口)から海岸まで続くルートであり、駅に近い北側区間にはサザン通り商店街が立地している。
- ・本ルート上には道路案内標識は設置されていない。公共サインについては、「サザンビーチちがさき」への案内・誘導を行なう誘導サイン、「サザン通り」の通り名称を示す通り名サインがそれぞれ3基設置されている。
- ・民間サインについては、サザン通り商店街が立地する北側区間に、商店街の名称を示すサインや建て看板、サザンオールスターズの名曲の名前が記されたサイン等、サザンオールスターズ、サザン通り商店街に関わるサインが多数設置されている。

##### ①道路案内標識

- ・道路案内標識はこのルート上には設置されていない。

##### ②公共サイン

###### ●案内・誘導サイン

- ・「サザンビーチちがさき」への案内・誘導を行なう誘導サイン、「サザン通り」の名称サインが、それぞれ3基設置されている(左記2種のサインは同じ支柱に設置されている)。



■通り名称サイン(サザン通り)と、誘導サイン(サザンビーチちがさき)

###### ●解説サイン・注意サイン

- ・解説サイン、注意サインは設置されていない。

##### ③民間サイン

- ・「サザン通り商店街」の名称を示したサイン、サザンオールスターズの名曲の名前が記されたサイン(レコードの形状を模している)が街路灯に多数設置されている。また、商店街名を示した建て看板も設置されている。
- ・沿道の各商店(建物)にも、「サザン通り商店街」と各店舗の名前を記した商店街独自のサインが掲示されている。



■「サザン通り商店街」の名称を示したサイン



■サザンオールスターズの名曲の名前が記されたサイン



■各店舗の軒先に設置されている商店街名と店舗名を示したサイン



■「サザン通り商店街」の建て看板

## 5) Eルート(鉄砲道)

特徴：サインがほとんど設置されていない

- ・Eルートは、Cルート（雄三通り）とDルート（サザン通り）を東西につなぐ道路であり、鉄砲道の愛称で呼ばれている通りの一部である。
- ・本ルート上には、通り名称を示す公共サインが1基設置されているのみで、他にサインは設置されていない。



■「鉄砲道」の名称を示した名称サイン

## 6) Fルート(高砂通り)

特徴：沿道の立地する公共的施設に関する公共サインが多く設置されている。

- ・Fルートは、茅ヶ崎駅前(南口)から海岸まで続くルートであり、沿道には、図書館、茅ヶ崎市美術館、文化資料館、高砂緑地、茅ヶ崎公園などの公共的施設が多く立地している。
- ・公共サインについては、これらの公共的施設への案内・誘導を行なう誘導サインや施設の名称サイン、解説サインなどが多く設置されている。

### ①道路案内標識

- ・道路案内標識はこのルート上には設置されていない。
- ・ただし、南端の国道134号との交差点部には、国道134号に道路案内標識が1基設置されており、「野球場前」の交差点名称のサインがつけられている。

### ②公共サイン

#### ●案内・誘導サイン

- ・駅前に「コミュニティバスの路線案内」の案内サインが1基設置されている。
- ・また駅前のバスシェルターの支柱に茅ヶ崎市美術館への誘導サインが1基設置されている。



■コミュニティバスの路線案内図



■茅ヶ崎市美術館の誘導サイン

- ・高砂通りに入ると、それぞれの施設に対して以下のサインが設置されている。

高砂緑地：解説サイン1基

松籟庵：誘導サイン1基

図書館：誘導サイン1基

茅ヶ崎市美術館：誘導サイン3基

茅ヶ崎駅：誘導サイン1基

市営球場：1基

サザンビーチちがさき：3基

※茅ヶ崎美術館、茅ヶ崎駅、市営球場の誘導サインは、矢羽根型誘導サインで1つの支柱に共架設されている。

福祉会館：誘導サイン1基

海岸青少年会館：誘導サイン2基



■茅ヶ崎駅、美術館、市営球場を誘導する矢羽根型サイン



■高砂緑地の解説サインおよび各公共の施設への誘導サイン



- ・高砂通りの名称サイン3基（内2基には上述のサザンビーチちがさきの誘導サインが共架）



●注意サイン

- ・「地震・火災の広域避難場所」を示した注意サインが3基設置されている。内1基には、「図書館」、「茅ヶ崎市美術館」の誘導案内サインが添付されている。



■地震・火災の広域避難場所の看板



■図書館・茅ヶ崎市美術館の誘導サインが添付された地震・火災の広域避難場所の看板

●その他サイン

- ・その他サインとして、住居表示街区案内図が2基、市営駐車場の誘導サインが1基設置されている。



■住居表示街区案内図



■住居表示街区案内図と市営駐車場誘導サイン

③民間サイン

- ・高砂通りの駅前付近には、店舗の看板等が多数見られる。
- ・「南口一番街商店会」の名称を示したサインも街灯に共架設するかたちで多数見られる。



■南口一番街商店会のサインを共架した街灯と氾濫する民間の袖看板など

## 7) Gルート(香川駅前～市民の森：香川駅前通り・大岡越前通り他)

特徴：香川駅前を除いて公共サインの設置は少ない。

- ・Gルートは、JR相模線の香川駅前から、市民の森までのルートである。詳細には、香川駅前通りからみずき地区の街路を抜け民俗資料館に至った後、大岡越前通りとその北側の旧道を通り、市民の森に至るルートである。
- ・香川駅前には商店街が形成されているが、コースの大部分は北部丘陵地域景観ゾーンに位置し、浄見寺、正覚院、妙伝寺などの寺社や民俗資料館などの地域資源が立地し、その一部は里山散策コースなどのルートともなっている。
- ・公共サインについては、香川駅前に駅を起点とした散策コースの案内図、住居表示街区案内図、広域避難場所の案内図が集中している他、大岡越前通りには、市民の森の誘導サイン(2箇所)、民俗資料館の誘導サイン(2箇所)が設置されている。
- ・また、香川駅前通り、大岡越前通り、小出県道の名称サインも設置されている。
- ・民間サインは比較的多く、民間事業者の開発による不動産物件への案内誘導サインが3基みられる。
- ・沿道付近に寺社が多く立地することから、各寺社の案内サインも多い。

### ①道路案内標識

- ・道路案内標識はこのルート上には設置されていない。

### ②公共サイン

#### ●案内・誘導サイン

- ・香川駅前に、駅から歩く「歴史の跡を訪ねる散歩道」の案内サインが1基設置されている。



■香川駅前の「散歩道案内サイン」

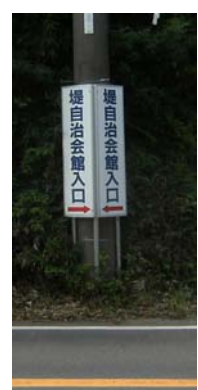
- ・「浄見寺・民俗資料館」への誘導サインが3基(内1基には香川駅への誘導サインが併設)、「市民の森」への誘導サインが3基、「堤自治会館」への誘導サインが1基設置されている。



■浄見寺・民俗資料館への誘導サイン



■市民の森



■堤自治会館

- ・「香川駅前通り」(2基)「大岡越前通り」(2基)「小出県道」(1基)の通り名を示す「通り名称サイン」が設置されている。



●解説サイン

- ・解説サインはルート上には確認されなかった。

●注意サイン

- ・「地震・火災の広域避難場所」を示した注意サインが、香川駅前に1基。その他の注意サインが1基設置されている。



■地震・火災の広域避難場所の看板



■注意サイン

●その他サイン

- ・その他サインとして、住居表示街区案内図が2基確認された。



■香川駅前の住居表示板



■みずき三丁目の住居表示板

### ③民間サイン

- ・不動産物件への誘導サインの他、郊外型店舗の看板、観光果樹園の看板などが設置されている。
- ・酒造会社店舗への誘導サインも複数設置されている。
- ・沿道の寺社の案内・誘導サインも多く設置されている。



#### ■不動産物件への看板等

右端写真の集合看板には、酒造会社店舗の看板も設置されている



#### ■酒造会社店舗の看板等



#### ■観光果樹園の看板

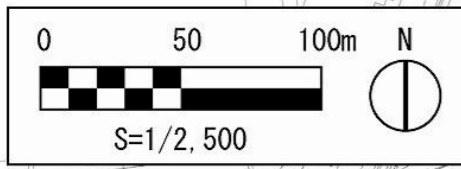


#### ■浄見寺以外にも多くの寺社が立地し、各寺社などの看板類も設置されている



以降に、各ルートのサイン設置状況及び現況写真を示す。





施設名サイン (施設名称)



誘導サイン (名称・方向等表示)  
(地下歩道内に設置)

凡 例	
<b>道路案内標識</b>	
★ 道路案内標識 (経路案内)	▲ 道路案内標識 (交差点名称)
	■ 道路案内標識 (距離標)
<b>公共サイン</b>	
<案内・誘導サイン>	<注意サイン>
★ 誘導サイン (名称・方向等表示)	● 注意サイン (放置自転車規制)
▲ 施設名サイン (施設名称)	
■ 案内サイン (地図表示)	



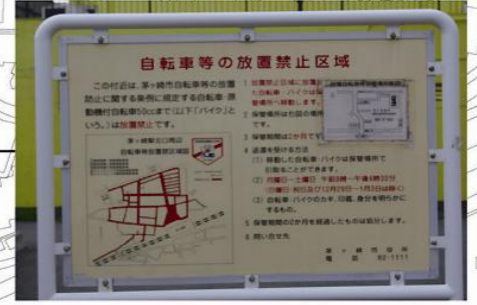
案内サイン (地図表示)  
(湘南ふるさとハイキングコース総合案内)



誘導サイン (名称・方向等表示)  
(地下歩道入口に設置)



道路案内標識 (経路案内)



注意サイン (放置自転車規制)

Aルート②へ  
←



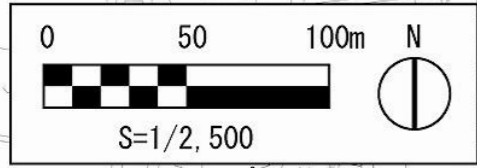
道路案内標識 (交差点名称)



道路案内標識 (経路案内)

Aルート (国道1号) ①

※茅ヶ崎市都市計画基本図 (平成17年度) を基に作成



凡 例	
<b>道路案内標識</b>	
▲ 道路案内標識 (交差点名称)	■ 道路案内標識 (距離標)
<b>公共サイン</b>	
<その他>	
★ 住居表示街区案内図	▲ 注意サイン (災害避難誘導)



道路案内標識 (交差点名称)



注意サイン (災害避難誘導)

Aルート③へ  
←



道路案内標識 (交差点名称)



道路案内標識 (交差点名称)



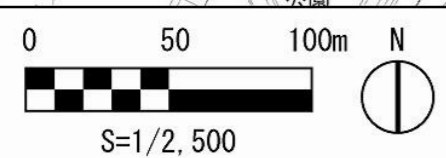
道路案内標識 (距離標)



住居表示街区案内図

Aルート (国道1号) ②

※茅ヶ崎市都市計画基本図 (平成27年度) を基に作成



凡 例	
<b>道路案内標識</b>	
★ 道路案内標識 (経路案内)	▲ 道路案内標識 (交差点名称)
	■ 道路案内標識 (距離標)
<b>公共サイン</b>	
<案内・誘導サイン>	<解説サイン>
★ 誘導サイン (名称・方向等表示)	● 解説サイン (看板タイプ)
▲ 施設名サイン (施設名称)	▲ 解説サイン (路面表示タイプ)
	■ 解説サイン (記念碑)
<その他>	<注意サイン>
★ 住居表示街区案内図	▲ 注意サイン (災害避難誘導)
<b>民間サイン</b>	★ 店舗位置案内サイン



屋外広告物としての民間サイン (店舗位置案内サイン)



住居表示板



道路案内標識 (経路案内)



誘導サイン (名称・方向等表示)



道路案内標識 (経路案内)



道路案内標識 (距離標)



道路案内標識 (交差点名称)



解説サイン (看板タイプ)



注意サイン (災害避難誘導)



解説サイン (記念碑)

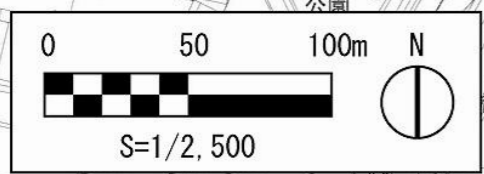


道路案内標識 (経路案内)

Aルート②へ  
→

Aルート(国道1号) ③

※茅ヶ崎市都市計画基本図 (平成17年度) を基に作成



凡 例	
<b>道路案内標識</b>	
★ 道路案内標識 (経路案内)	▲ 道路案内標識 (交差点名称)
	■ 道路案内標識 (距離標)
<b>公共サイン</b>	
<案内・誘導サイン>	
★ 誘導サイン (名称・方向等表示)	● 解説サイン (看板タイプ)
▲ 施設名サイン (施設名称)	▲ 解説サイン (路面表示タイプ)
	■ 解説サイン (記念碑)
<その他>	
★ 住居表示街区案内図	<注意サイン>
	▲ 注意サイン (災害避難誘導)
<b>民間サイン</b>	★ 店舗位置案内サイン



解説サイン (路面表記タイプ)



解説サイン (看板タイプ)



施設名サイン (施設名称)



解説サイン (路面表記タイプ)



解説サイン (看板タイプ)



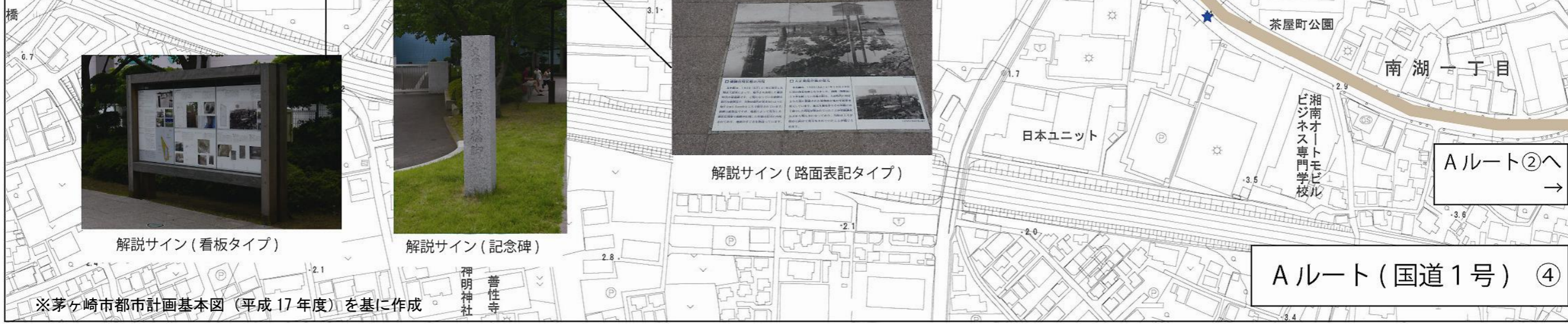
解説サイン (記念碑)



解説サイン (路面表記タイプ)



施設名サイン (施設名称)



※茅ヶ崎市都市計画基本図 (平成17年度) を基に作成

神明神社  
善性寺



※茅ヶ崎市都市計画基本図(平成17年度)を基に作成

凡 例

- 道路案内標識**
- ★ 道路案内標識 (経路案内)
- 公共サイン**
- ★ 誘導サイン (名称・方向等表示)
  - 案内サイン (地図表示)
  - 通り名称サイン
- 注意サイン**
- 注意サイン (放置自転車規制)
  - ▲ 注意サイン (災害避難誘導)



注意サイン (災害避難誘導)



誘導サイン (名称・方向等表示) (地下歩道内に設置)



誘導サイン (名称・方向等表示) (地下歩道入口に設置)



案内サイン (地図表示) (デッキ上とデッキ下に設置)



案内サイン (地図表示) 駅構内



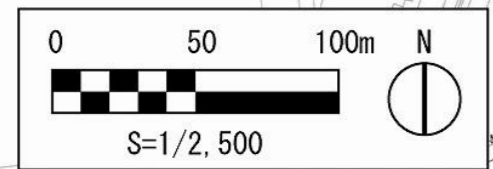
誘導サイン (名称・方向等表示) (デッキ上に設置)



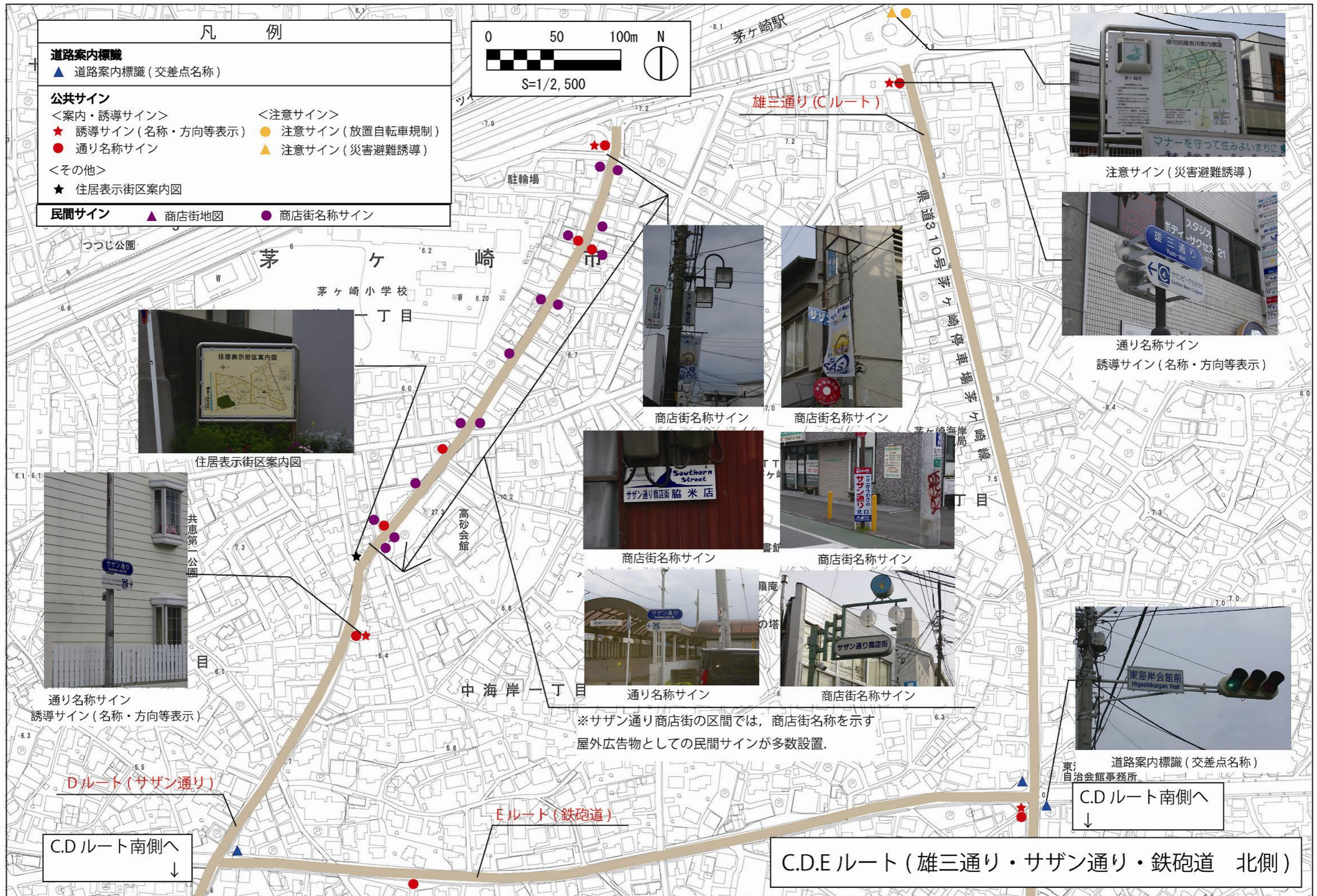
案内サイン (地図表示)



注意サイン (災害避難誘導) (デッキ上に設置)



Bルート (茅ヶ崎中央通り)

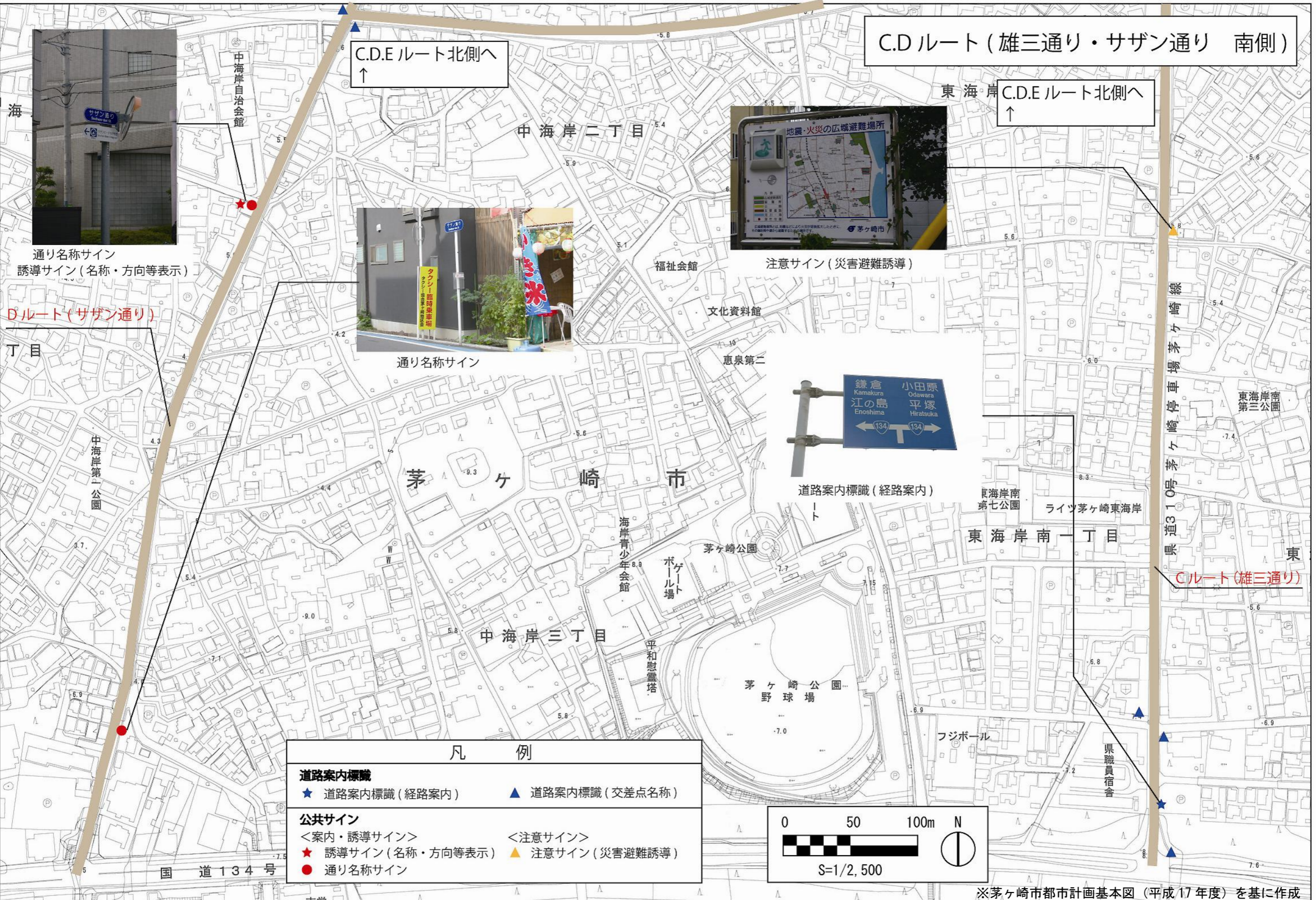


C.Dルート南側へ  
↓

C.D.Eルート(雄三通り・サザン通り・鉄砲道 北側)

※サザン通り商店街の区間では、商店街名称を示す屋外広告物としての民間サインが多数設置。

※茅ヶ崎市都市計画基本図(平成17年度)を基に作成



C.Dルート(雄三通り・サザン通り 南側)

C.D.Eルート北側へ  
↑

東海岸C.D.Eルート北側へ  
↑



通り名称サイン  
誘導サイン(名称・方向等表示)



通り名称サイン



注意サイン(災害避難誘導)



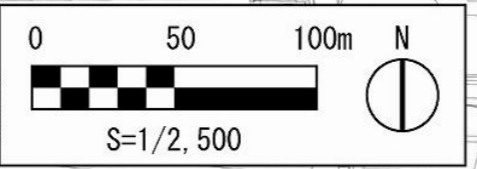
道路案内標識(経路案内)

Dルート(サザン通り)

縦線  
茅ヶ崎駅前  
茅ヶ崎3丁目  
県道310号

Cルート(雄三通り)

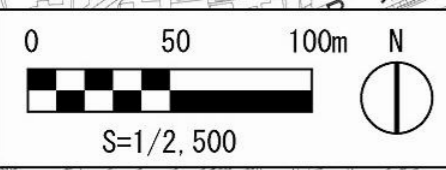
凡 例	
★ 道路案内標識(経路案内)	▲ 道路案内標識(交差点名称)
<b>公共サイン</b>	
<案内・誘導サイン>	
★ 誘導サイン(名称・方向等表示)	<注意サイン>
● 通り名称サイン	▲ 注意サイン(災害避難誘導)



※茅ヶ崎市都市計画基本図(平成17年度)を基に作成

凡 例

- 公共サイン**
- <案内・誘導サイン>
    - ★ 誘導サイン (名称・方向等表示)
    - 通り名称サイン
    - ▲ 施設名サイン (施設名称)
    - 案内サイン (地図表示)
    - <その他>
      - ★ 住居表示街区案内図
  - <解説サイン>
    - 解説サイン (看板タイプ)
    - 解説サイン (記念碑)
  - <注意サイン>
    - 注意サイン (放置自転車規制)
    - ▲ 注意サイン (災害避難誘導)
- 民間サイン** ● 商店街名称サイン



誘導サイン (名称・方向等表示)



商店街名称サイン



案内サイン (地図表示)



誘導サイン (名称・方向等表示)  
通り名称サイン



注意サイン (災害避難誘導)



解説サイン (記念碑・看板タイプ)



住居表示街区案内図



施設名サイン (施設名称)



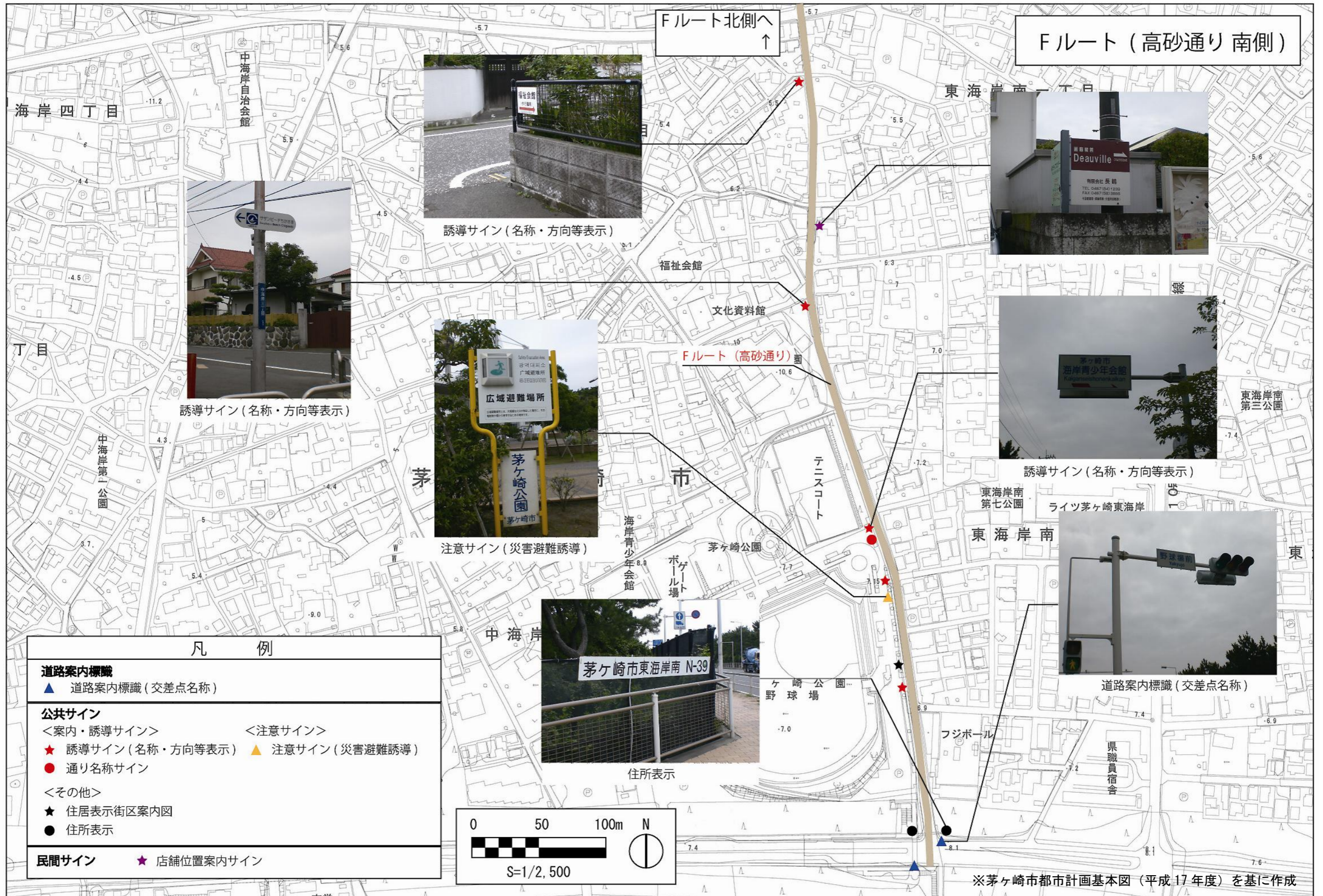
誘導サイン (名称・方向等表示)

Fルート南側へ  
↓

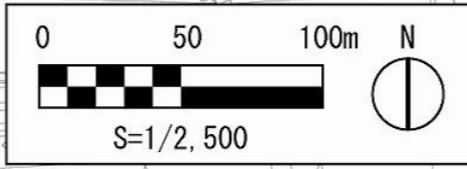
Fルート (高砂通り北側)

※茅ヶ崎市都市計画基本図 (平成17年度) を基に作成



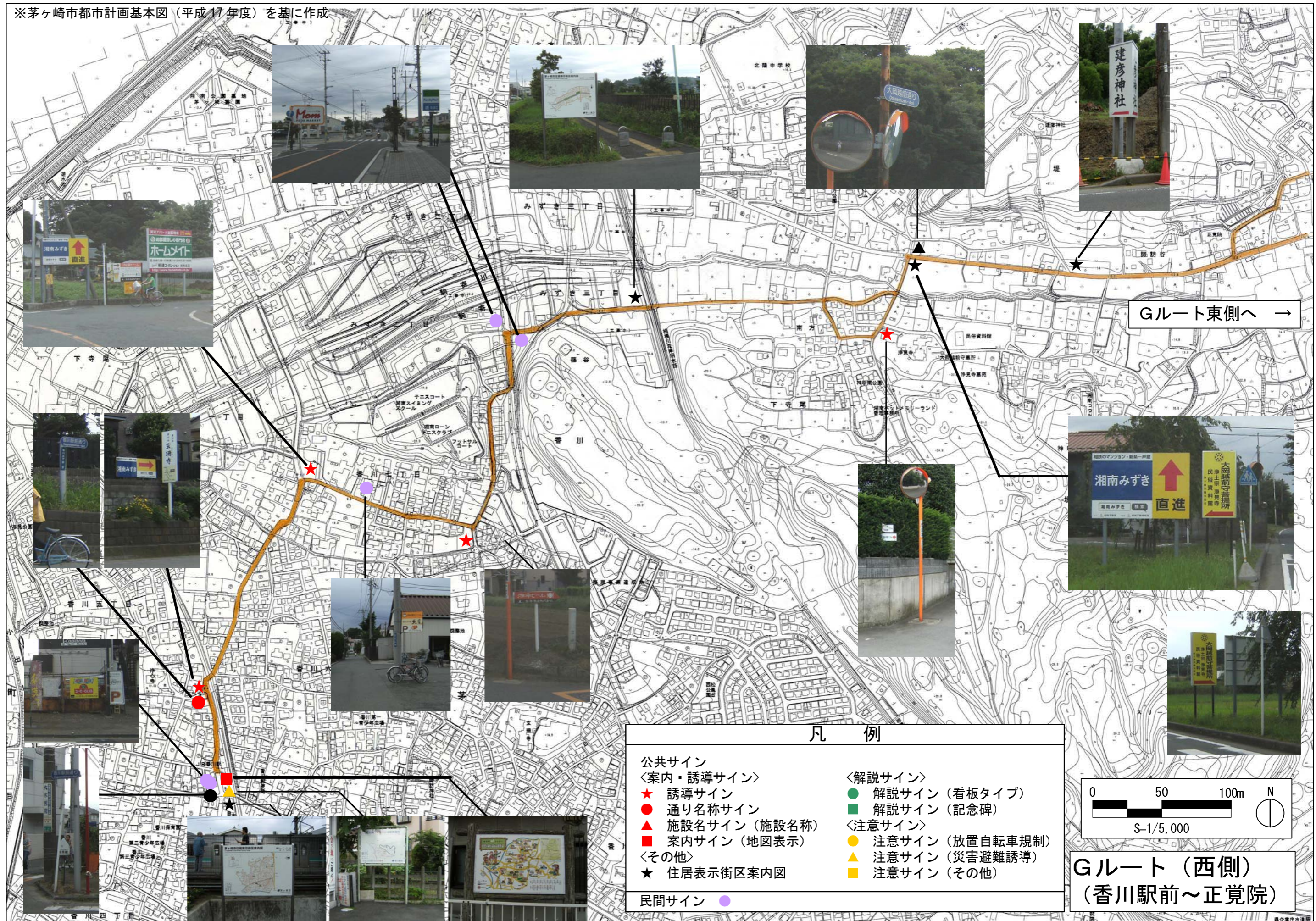


凡 例	
<b>道路案内標識</b>	
▲ 道路案内標識 (交差点名称)	
<b>公共サイン</b>	
<案内・誘導サイン>	<注意サイン>
★ 誘導サイン (名称・方向等表示)	▲ 注意サイン (災害避難誘導)
● 通り名称サイン	
<その他>	
★ 住居表示街区案内図	
● 住所表示	
<b>民間サイン</b>	★ 店舗位置案内サイン



※茅ヶ崎市都市計画基本図 (平成17年度) を基に作成

※茅ヶ崎市都市計画基本図（平成17年度）を基に作成

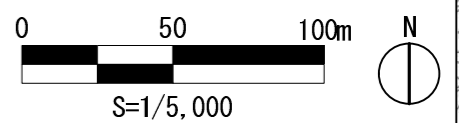


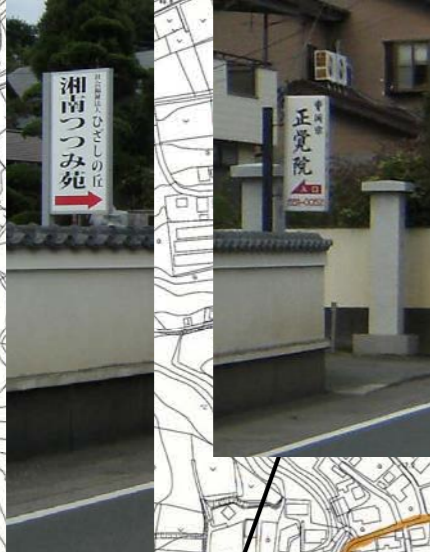
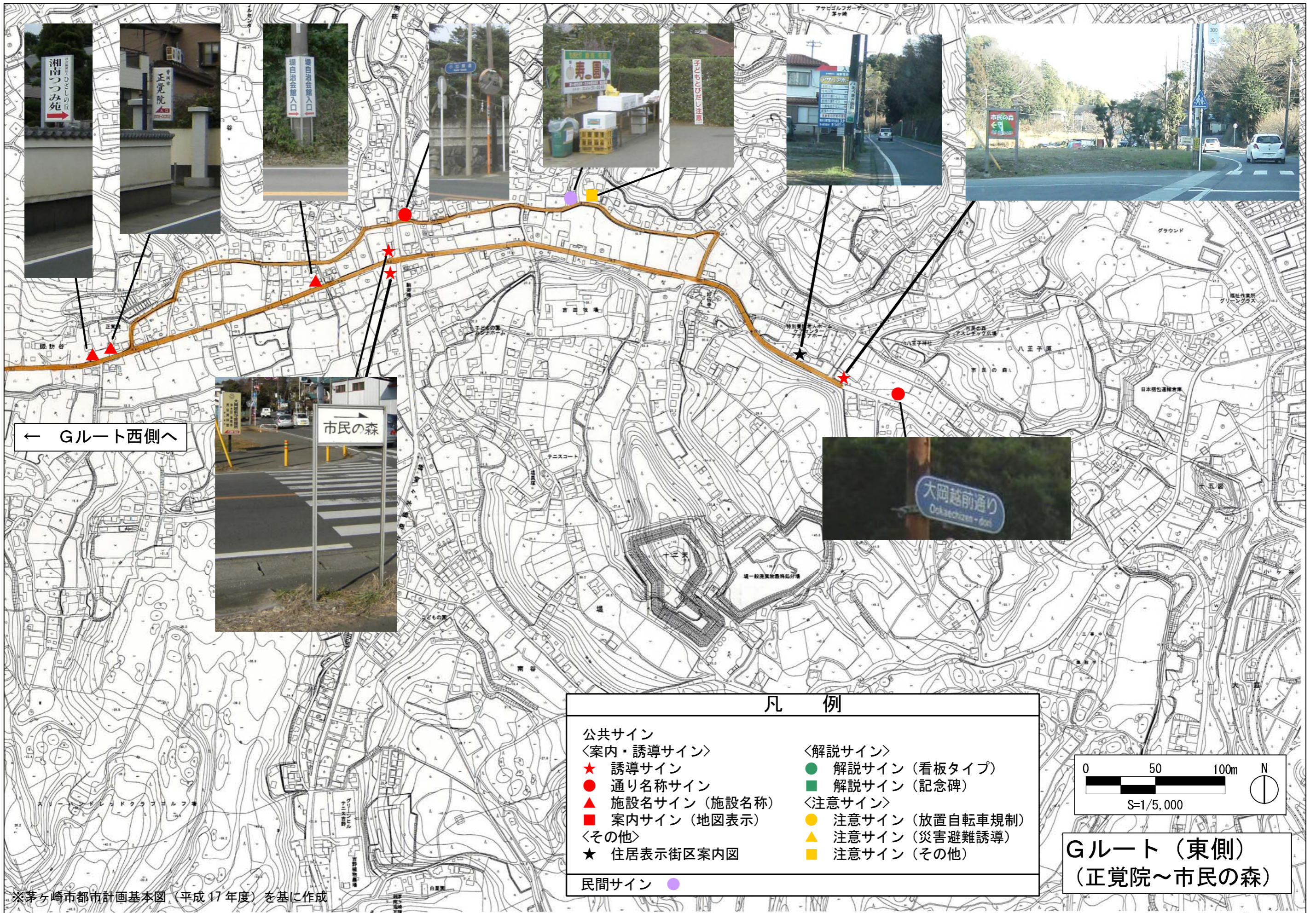
Gルート東側へ →

Gルート（西側）  
（香川駅前～正覚院）

凡 例

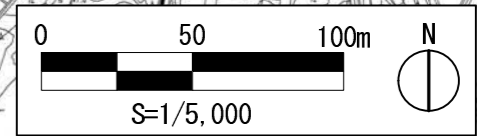
- |                |               |                  |
|----------------|---------------|------------------|
| 公共サイン          | <案内・誘導サイン>    | <解説サイン>          |
| ★ 誘導サイン        | ● 通り名称サイン     | ● 解説サイン（看板タイプ）   |
| ● 施設名サイン（施設名称） | ▲ 案内サイン（地図表示） | ■ 解説サイン（記念碑）     |
| ■ 案内サイン（地図表示）  | <その他>         | <注意サイン>          |
| ★ 住居表示街区案内図    | ● 民間サイン       | ● 注意サイン（放置自転車規制） |
|                |               | ▲ 注意サイン（災害避難誘導）  |
|                |               | ■ 注意サイン（その他）     |





← Gルート西側へ

凡 例	
公共サイン	
＜案内・誘導サイン＞	
★ 誘導サイン	● 解説サイン (看板タイプ)
● 通り名称サイン	■ 解説サイン (記念碑)
▲ 施設名サイン (施設名称)	○ 注意サイン
■ 案内サイン (地図表示)	● 注意サイン (放置自転車規制)
＜その他＞	▲ 注意サイン (災害避難誘導)
★ 住居表示街区案内図	■ 注意サイン (その他)
民間サイン ●	



Gルート (東側)  
(正覚院～市民の森)

※茅ヶ崎市都市計画基本図 (平成 17 年度) を基に作成

1-2 意識調査  
 (1) 市民郵送調査

①調査の概要

茅ヶ崎市公共サインに関する市民郵送調査（サンプル数 571）

実施時期：配布（平成 21 年 9 月 7 日）／回収（平成 21 年 9 月 25 日）  
 配布数（1,000 票） 回答数（571 票）／回答率（57.1%）

1-1 回答者の性別

各項目	人数（人）	割合（%）
男	211	37.0
女	314	55.0
不明	46	8.1
合計	571	100.0

図表 2-3 回答者の性別（n=571）

1-2 回答者の年齢（全体）

各項目	人数（人）	割合（%）
10代	0	0.0
20代	103	18.0
30代	123	21.5
40代	78	13.7
50代	69	12.1
60代	105	18.4
70代	77	13.5
80代	1	0.2
不明	15	2.6
合計	571	100.0

図表 2-4 回答者の年齢（n=571）

1-3 回答者の住まい

各項目	人数（人）	割合（%）
茅ヶ崎地区	61	10.7
鶴嶺東地区	76	13.3
鶴嶺西地区	43	7.5
湖北地区	59	10.3
松林地区	60	10.5
小和田地区	32	5.6
小出地区	26	4.6
海岸地区	63	11.0
南湖地区	23	4.0
湘南地区	35	6.1
松波地区	53	9.3
浜須賀地区	37	6.5
不明	3	0.5
合計	571	100.0

図表 2-5 回答者の住まい（n=571）

## ②調査結果

問1…市内の公共施設に出かけるとき、最も多く利用している交通手段は何ですか。(複数回答不可)

各項目	人数 (人)	割合 (%)
徒歩	60	10.5
自転車	236	41.3
自家用車	173	30.3
バイク	26	4.6
路線バス	40	7.0
コミュニティバス(えぼし号)	3	0.5
電車	16	2.8
タクシー	2	0.4
その他	3	0.5
無回答	12	2.1
合計	571	100.0

「その他」の内訳

各項目	人数 (人)
未記入	3
合計	3

図表2-6 公共施設への交通手段 (n=571)

●自転車(41.3%)、自家用車(30.3%)の合計で7割強

問2…市内の公共施設に出かけるとき、公共サインを目的地への道しるべとして利用しますか。(複数回答不可)

各項目	人数 (人)	割合 (%)
利用する	83	14.5
ときどき利用する	146	25.6
どちらとも言えない	49	8.6
あまり利用しない	170	29.8
利用しない	111	19.4
無回答	12	2.1
合計	571	100.0

図表2-7 公共施設への道程での公共サインの利用状況 (n=571)

●利用する人:40.1%  
●利用しない人:49.2%

問3…市内の公共施設に出かけるとき、公共サイン以外でどのようなものを道しるべとして利用しますか。(複数回答可)

各項目	人数 (人)	割合 (%)
通りの名称	297	52.0
交差点の名称	290	50.8
交差点角の建物	150	26.3
通り沿いの建物	182	31.9
高い建物	25	4.4
公共施設(公園等)	171	29.9
神社・仏閣	52	9.1
人通り	12	2.1
住居表示街区案内地図・広域避難場所案内図	108	18.9
その他	49	8.6

図表 2-8 公共施設への道程での公共サイン以外の道しるべ (n=571)

「その他」の内訳

各項目	人数 (人)
カーナビ	11
地図	9
事前にインターネットで地図を確認	8
公共施設にあまり行くことがない	3
携帯の地図サイト	3
道を知っているので何も利用していない	3
人に聞く	2
店の名前	1
未記入	9
合計	49

●通りの名称(52.0%)、交差点の名称(50.8%)  
⇒通り名称、交差点名称の重要性

●住居表示街区案内地図も2割弱の利用(18.9%)

問 4 … 普段目にされている茅ヶ崎市内の公共サインの設置場所などについて、改善した方がいいと感じた点はありますか。(複数回答可)

各項目	人数 (人)	割合 (%)
看板の設置場所が悪く、情報が見えにくい	83	14.5
看板の配置数が少なく、情報不足である	152	26.6
看板の設置数が多く、分かりにくい	8	1.4
看板自体に特徴がなく、気づきにくい	228	39.9
看板の設置場所が不適切で、せっきくの情報が活かされていない	55	9.6
特に改善すべき点はない	142	24.9
その他	41	7.2

図表 2-9 市内の公共サインの設置に関する問題点 (n=571)

「その他」の内訳

各項目	人数 (人)
興味がない	4
普段利用しないので分からない	4
目的地までの誘導標識がほしい	1
未記入	32
合計	41

- 特徴がなく気づきにくい(39.9%)
- 設置数が少ない(26.6%)
- 設置場所が悪い(14.5%)

各項目	人数 (人)	割合 (%)
看板の設置場所が悪く、情報が見えにくい	35	19.1
看板の配置数が少なく、情報不足である	62	33.9
看板の設置数が多く、分かりにくい	4	2.2
看板自体に特徴がなく、気づきにくい	72	39.3
看板の設置場所が不適切で、せっきくの情報が活かされていない	27	14.8
特に改善すべき点はない	41	22.4
その他	8	4.4

図表 2-10 60 歳以上を対象とした市内公共サインの設置に関する問題点 (n=183)

- 60 歳以上の人についても、設置場所に関しては同様の傾向

問5…普段目にされている茅ヶ崎市内の公共サインの表示内容について、どのように感じていますか。(複数回答可)

各項目	人数 (人)	割合 (%)
文字が小さくて分かりにくい	150	26.3
看板に絵文字の表示がなく、分かりにくい	63	11.0
表示されている絵文字自体が分かりにくい	36	6.3
表示されている道路や施設の情報が少なくて役にたたない	112	19.6
表示されている道路や施設の情報が多すぎて分かりにくい	11	1.9
表示されている色のコントラストが悪く、分かりにくい	56	9.8
サインに統一感がなく分かりにくい	60	10.5
特に改善すべき点はない	158	27.7
その他	73	12.8

図表2-11 市内の公共サインの表示に関する問題点 (n=571)

「その他」の内訳	各項目	人数 (人)
	興味がない	12
	分からない	12
	見づらい場所に標識がある	2
	子供に分かりやすいものにしてほしい	1
	車を対象としたものばかりで歩行者を対象としていない	1
	公共サインの数が足りない	1
	必要と感じない	1
	常に最新の情報を載せて欲しい	1
	わかりやすいように地図がついていて欲しい	1
	ヨコ文字が多い	1
	すべての通りに名前をつけるべき	1
	おしゃれなものにして欲しい	1
	未記入	38
	合計	73

- 分かりにくい(文字の大きさ(26.3%)、絵文字(11.0%)、色(9.8%)、デザインの統一(10.5%))
- 情報不足(19.6%)

各項目	人数 (人)	割合 (%)
文字が小さくて分かりにくい	69	37.7
看板に絵文字の表示がなく、分かりにくい	26	14.2
表示されている絵文字自体が分かりにくい	13	7.1
表示されている道路や施設の情報が少なくて役にたたない	45	24.6
表示されている道路や施設の情報が多すぎて分かりにくい	3	1.6
表示されている色のコントラストが悪く、分かりにくい	18	9.8
サインに統一感がなく分かりにくい	20	10.9
特に改善すべき点はない	37	20.2
その他	13	7.1

図表2-12 60歳以上を対象とした市内公共サインの設置に関する問題点 (n=183)

- 表示内容に関しては、60歳以上の人は「文字が小さく分かりにくい(37.7%)」が最も多い



問6…本市には、高砂緑地、浄見寺、氷室椿庭園、開高健記念館など独自の地域資源がたくさんあります。あなたはこれらの地域資源（見どころ）をご存知でしたか。  
 ご存知の地域資源（見どころ）に○をつけて下さい（複数回答可）

各項目	人数（人）	割合（％）
氷室椿庭園	263	46.1
開高健記念館	255	44.7
県立茅ヶ崎里山公園	461	80.7
浄見寺	254	44.5
鶴嶺八幡宮	421	73.7
旧相模川橋脚	182	31.9
サザンビーチ	512	89.7
茅ヶ崎市美術館	358	62.7
高砂緑地	259	45.4
腰掛神社	144	25.2
民俗資料館(旧和田家)	209	36.6
市民の森	224	39.2
茅ヶ崎館	159	27.8
左富士	158	27.7
茅ヶ崎公園	340	59.5
団十郎山の碑	141	24.7
佐々木卯之助の碑	38	6.7
清水谷	48	8.4
文化資料館	146	25.6

図表2-13 市内地域資源の認知度（n=571）

問7…あなたは本市の地域資源（見どころ）を実際に訪れたことがありますか。訪れたことのある地域資源（見どころ）に○をつけて下さい（複数回答可）

各項目	人数（人）	割合（％）
氷室椿庭園	176	30.8
開高健記念館	92	16.1
県立茅ヶ崎里山公園	395	69.2
浄見寺	201	35.2
鶴嶺八幡宮	299	52.4
旧相模川橋脚	134	23.5
サザンビーチ	478	83.7
茅ヶ崎市美術館	236	41.3
高砂緑地	198	34.7
腰掛神社	107	18.7
民俗資料館（旧和田家）	139	24.3
市民の森	179	31.3
茅ヶ崎館	95	16.6
左富士	136	23.8
茅ヶ崎公園	301	52.7
団十郎山の碑	114	20.0
佐々木卯之助の碑	26	4.6
清水谷	35	6.1
文化資料館	99	17.3
その他	5	0.9

「その他」の内訳

各項目	人数（人）
特に無し	2
茅ヶ崎漁港	1
一里塚	1
夕焼け小焼けの赤とんぼの碑	1
合計	5

図表2-14 市内地域資源の来訪度（n=571）

問8…友達や知り合いが訪ねてきたようなとき、あなたが案内したいと思う本市の地域資源（見どころ）は何ですか。  
案内したいと思う地域資源（見どころ）に○をつけて下さい（複数回答可）

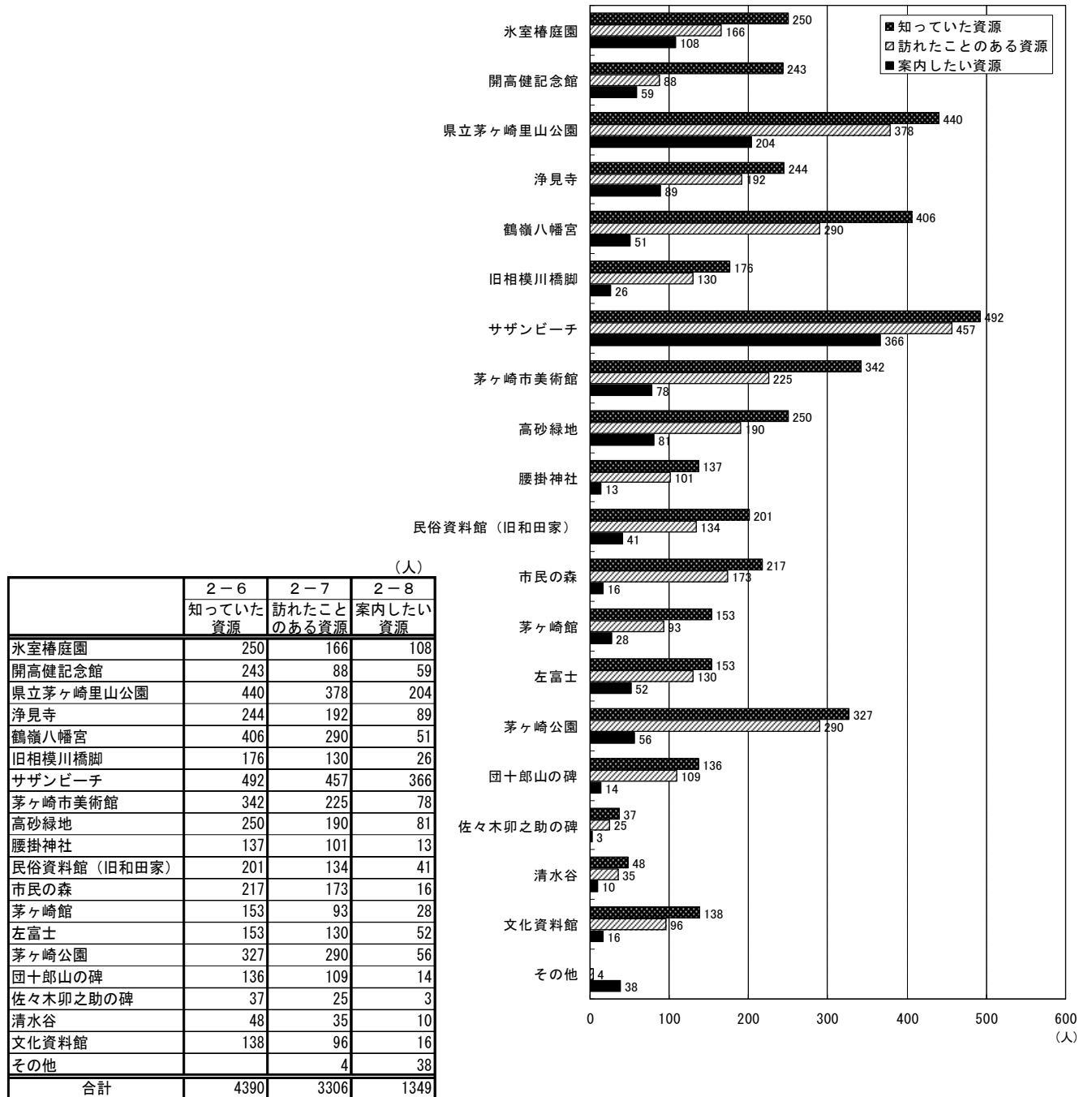
各項目	人数（人）	割合（％）
氷室椿庭園	111	19.4
開高健記念館	63	11.0
県立茅ヶ崎里山公園	210	36.8
浄見寺	90	15.8
鶴嶺八幡宮	52	9.1
旧相模川橋脚	29	5.1
サザンビーチ	379	66.4
茅ヶ崎市美術館	82	14.4
高砂緑地	83	14.5
腰掛神社	13	2.3
民俗資料館(旧和田家)	42	7.4
市民の森	16	2.8
茅ヶ崎館	29	5.1
左富士	55	9.6
茅ヶ崎公園	56	9.8
団十郎山の碑	15	2.6
佐々木卯之助の碑	3	0.5
清水谷	10	1.8
文化資料館	16	2.8
その他	39	6.8

「その他」の内訳

各項目	人数（人）
特になし	19
海	5
サザンビーチ以外の海岸	2
1里塚の碑	1
小出川沿いの遊歩道	1
国木田独歩碑	1
えぼし岩	1
南口全般	1
未記入	8
合計	39

図表2-15 市内地域資源の推奨度（n=571）

■市内地域資源の認知度、来訪度、推奨度の比較



図表 2-16 市内地域資源の認知度、来訪度、推奨度の比較 (n=571)

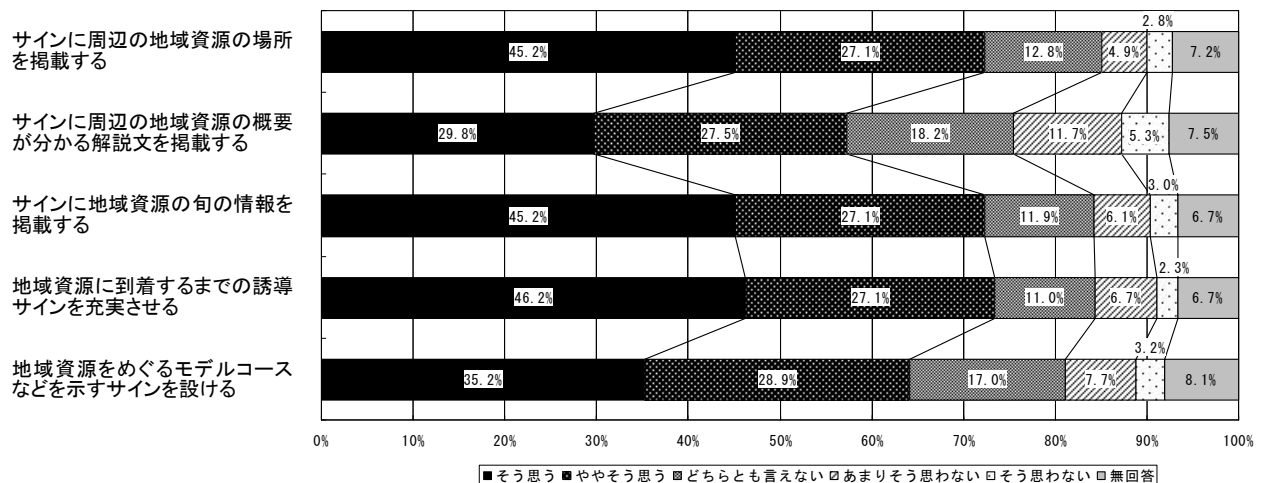
問9…公共サインに、案内や誘導だけでなく、どのような情報の記載や設置の工夫があると地域資源を訪れてみたいと思うようになると思いますか。(複数回答不可)

(人)

	2-9-1	2-9-2	2-9-3	2-9-4	2-9-5
	サインに周辺の地域資源の場所を掲載する	サインに周辺の地域資源の概要が分かる解説文を掲載する	サインに地域資源の旬の情報を掲載する	地域資源に到着するまでの誘導サインを充実させる	地域資源をめぐるモデルコースなどを示すサインを設ける
そう思う	258	170	258	264	201
ややそう思う	155	157	155	155	165
どちらとも言えない	73	104	68	63	97
あまりそう思わない	28	67	35	38	44
そう思わない	16	30	17	13	18
無回答	41	43	38	38	46
合計	571	571	571	571	571

	2-9-1	2-9-2	2-9-3	2-9-4	2-9-5
	サインに周辺の地域資源の場所を掲載する	サインに周辺の地域資源の概要が分かる解説文を掲載する	サインに地域資源の旬の情報を掲載する	地域資源に到着するまでの誘導サインを充実させる	地域資源をめぐるモデルコースなどを示すサインを設ける
そう思う	45.2%	29.8%	45.2%	46.2%	35.2%
ややそう思う	27.1%	27.5%	27.1%	27.1%	28.9%
どちらとも言えない	12.8%	18.2%	11.9%	11.0%	17.0%
あまりそう思わない	4.9%	11.7%	6.1%	6.7%	7.7%
そう思わない	2.8%	5.3%	3.0%	2.3%	3.2%
無回答	7.2%	7.5%	6.7%	6.7%	8.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表2-17 公共サイン自体に求められる地域資源回遊誘発の方策  
(上段：度数、下段：構成比)



図表2-18 公共サイン自体に求められる地域資源回遊誘発の方策

- 「誘導サイン自体の充実」は「そう思う(46.2%)」「ややそう思う(27.1%)」の合計で73.3%で最も高い
- 「周辺の地域資源の場所の情報」、「旬の情報」は共に「そう思う(46.2%)」「ややそう思う(27.1%)」を合わせ72.3%と次いで高い

問 10…公共サインと連携してどのような対応を行うと、地域資源を訪れてみたいと思うようになりますか（複数回答不可）

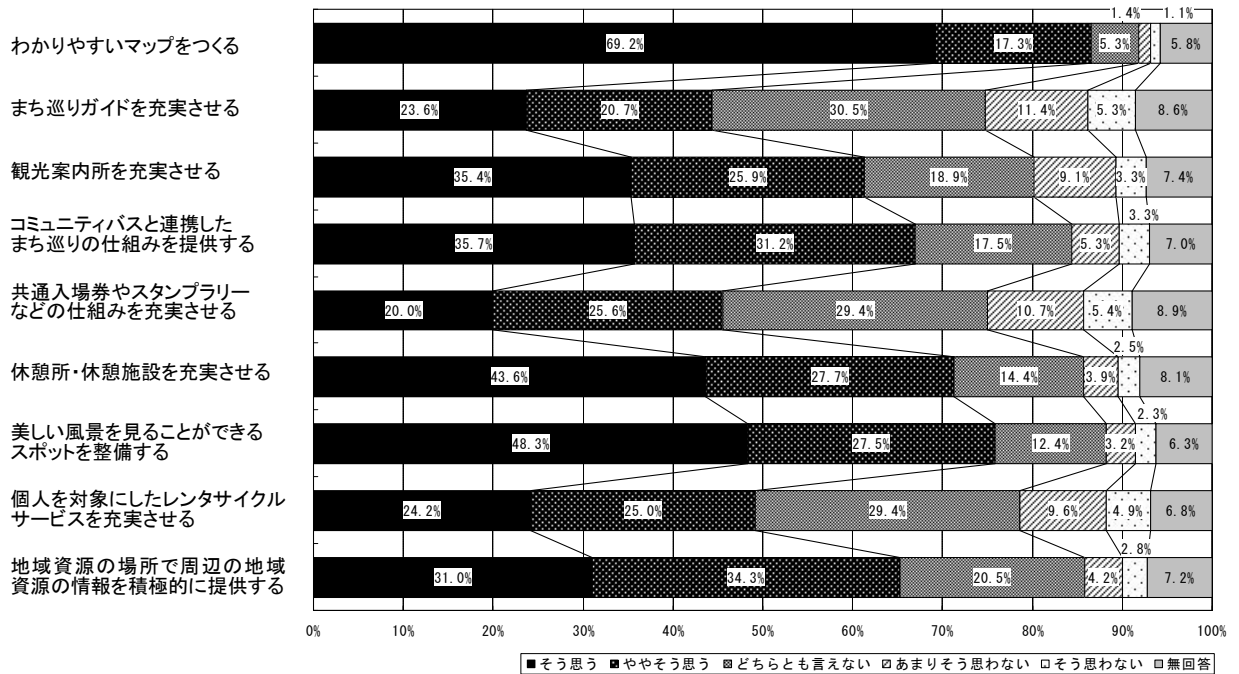
(人)

	2-10-1	2-10-2	2-10-3	2-10-4	2-10-5	2-10-6	2-10-7	2-10-8	2-10-9
	わかりやすいマップをつくる	まち巡りガイドを充実させる	観光案内所を充実させる	コミュニティバスと連携したまち巡りの情報を提供する	共通入場券やスタンプラリーなどの仕組みを充実させる	休憩所・休憩施設を充実させる	美しい風景を見ることができるスポットを整備する	個人を対象にしたレンタサイクルサービスを充実させる	地域資源の場所で周辺の地域資源の情報を積極的に提供する
そう思う	395	135	202	204	114	249	276	138	177
ややそう思う	99	118	148	178	146	158	157	143	196
どちらとも言えない	30	174	108	100	168	82	71	168	117
あまりそう思わない	8	65	52	30	61	22	18	55	24
そう思わない	6	30	19	19	31	14	13	28	16
無回答	33	49	42	40	51	46	36	39	41
合計	571	571	571	571	571	571	571	571	571

	2-10-1	2-10-2	2-10-3	2-10-4	2-10-5	2-10-6	2-10-7	2-10-8	2-10-9
	わかりやすいマップをつくる	まち巡りガイドを充実させる	観光案内所を充実させる	コミュニティバスと連携したまち巡りの情報を提供する	共通入場券やスタンプラリーなどの仕組みを充実させる	休憩所・休憩施設を充実させる	美しい風景を見ることができるスポットを整備する	個人を対象にしたレンタサイクルサービスを充実させる	地域資源の場所で周辺の地域資源の情報を積極的に提供する
そう思う	69.2%	23.6%	35.4%	35.7%	20.0%	43.6%	48.3%	24.2%	31.0%
ややそう思う	17.3%	20.7%	25.9%	31.2%	25.6%	27.7%	27.5%	25.0%	34.3%
どちらとも言えない	5.3%	30.5%	18.9%	17.5%	29.4%	14.4%	12.4%	29.4%	20.5%
あまりそう思わない	1.4%	11.4%	9.1%	5.3%	10.7%	3.9%	3.2%	9.6%	4.2%
そう思わない	1.1%	5.3%	3.3%	3.3%	5.4%	2.5%	2.3%	4.9%	2.8%
無回答	5.8%	8.6%	7.4%	7.0%	8.9%	8.1%	6.3%	6.8%	7.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表 2-19 公共サインとの連携が求められる地域資源回遊誘発の方策

(上段：度数、下段：構成比)



図表 2-20 公共サインとの連携が求められる地域資源回遊誘発の方策

- マップとの連携は 86.5%（「そう思う(69.2%)」「ややそう思う(17.3%)」）が多い
- 次いでは、スポット整備（75.8%、「そう思う(43.6%)」「ややそう思う(27.7%)」）、休憩所（71.3%、「そう思う(43.6%)」「ややそう思う(27.7%)」）などのハード系の整備が続く
- 他には、コミュニティバスとの連携（66.9%、「そう思う(35.7%)」「ややそう思う(31.2%)」）、観光案内所の充実（61.3%、「そう思う(35.4%)」「ややそう思う(24.9%)」）

問 11…あなたは日ごろ、散歩で市内の地域資源などを巡ることがありますか。

各項目	人数 (人)	割合 (%)
月に4回以上	17	3.0
月に2～3回	28	4.9
月に1回程度	111	19.4
ほとんどない	257	45.0
全くない	153	26.8
無回答	5	0.9
合計	571	100.0

図表 2-21 散歩での市内地域資源巡りの頻度 (n=571)

●ほとんどない、全くないで 71.8%

問 12…散歩で市内の地域資源などを巡るとしたら、適当な時間はどれ位だと思われませんか。

各項目	人数 (人)	割合 (%)
15分以内	27	4.7
15分～30分	80	14.0
30分～1時間	185	32.4
1時間～1時間30分	146	25.6
1時間30分～2時間	85	14.9
2時間以上	35	6.1
無回答	13	2.3
合計	571	100.0

図表 2-22 散歩での市内地域資源巡りの回遊時間 (n=571)

●加重平均時間: 61.6 分

問 13…あなたは日ごろ、自転車で市内の地域資源などを巡ることがありますか。

各項目	人数 (人)	割合 (%)
月に4回以上	13	2.3
月に2～3回	34	6.0
月に1回程度	96	16.8
ほとんどない	215	37.7
全くない	205	35.9
無回答	8	1.4
合計	571	100.0

図表 2-23 自転車での市内地域資源巡りの頻度 (n=571)

●ほとんどない、全くないで 73.6%

問 14…散歩で市内の地域資源などを巡るとしたら、適当な時間はどれ位だと思われませんか。

各項目	人数 (人)	割合 (%)
15分以内	23	4.0
15分～30分	68	11.9
30分～1時間	157	27.5
1時間～1時間30分	146	25.6
1時間30分～2時間	109	19.1
2時間以上	37	6.5
無回答	31	5.4
合計	571	100.0

図表 2-24 自転車での市内地域資源巡りの回遊時間 (n=571)

●加重平均時間: 66.3 分

## (2) 地域資源来訪者調査

### ①調査の概要

#### 茅ヶ崎市公共サインに関する地域資源来訪者調査 (サンプル数 249)

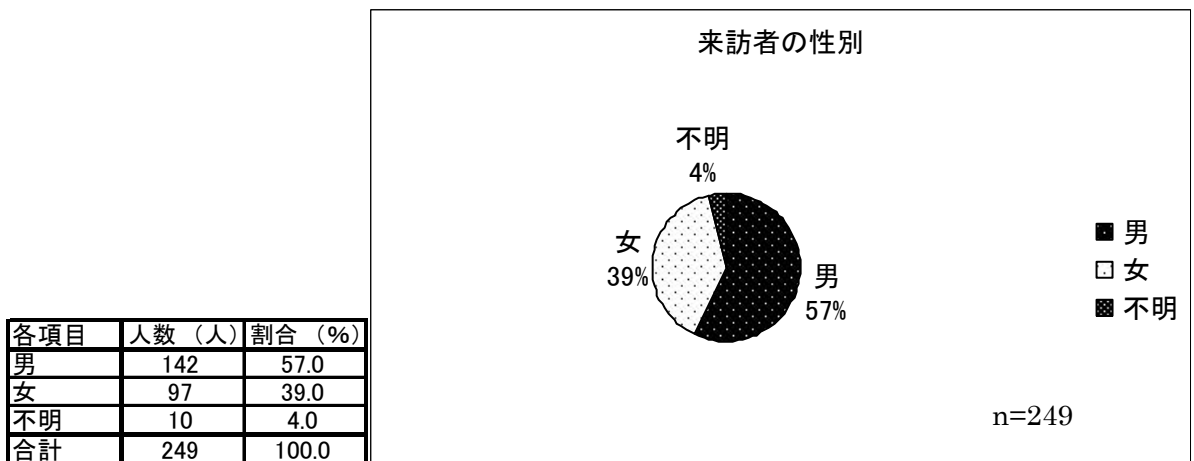
調査手法：面接調査及び留め置き調査

調査時期：面接調査 (平成21年8月1日 (土))

留め置き調査 (平成21年8月1日～平成21年8月31日)

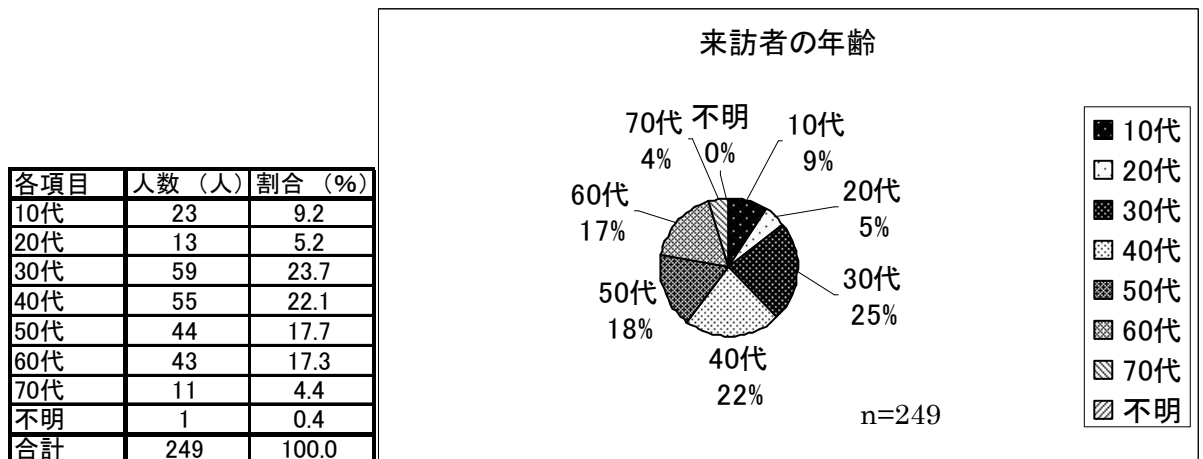
調査地点 開高健記念館(n=79)、茅ヶ崎市美術館(n=57)、民俗資料館(n=28)、サザンビーチ(n=85)

#### 1-1 回答者の性別 (全体)



図表2-25 来訪者の性別 (n=249)

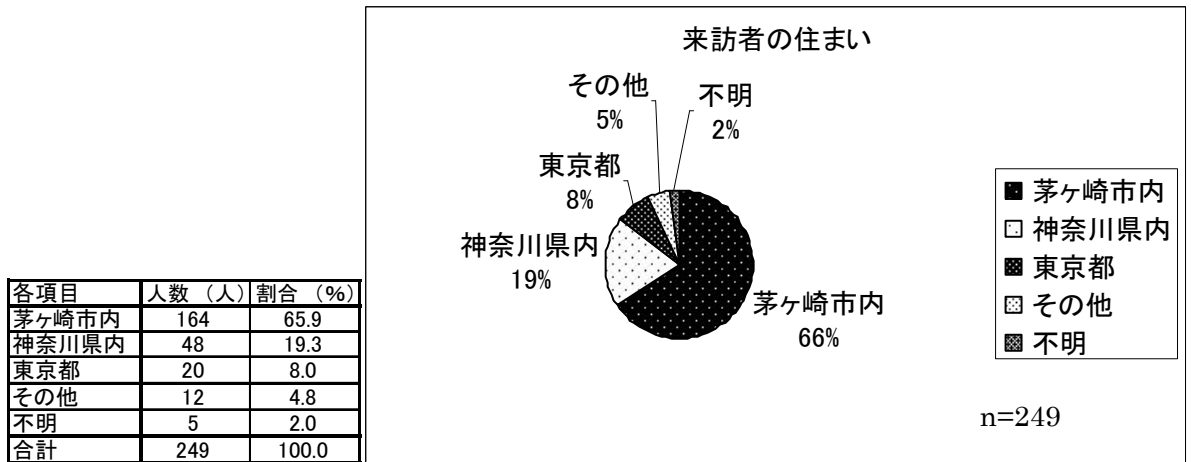
#### 1-2 来訪者の年齢 (全体)



図表2-26 来訪者の年齢 (n=249)



1-3 来訪者の住まい



図表 2-27 来訪者の住まい (n=249)

## ②調査結果

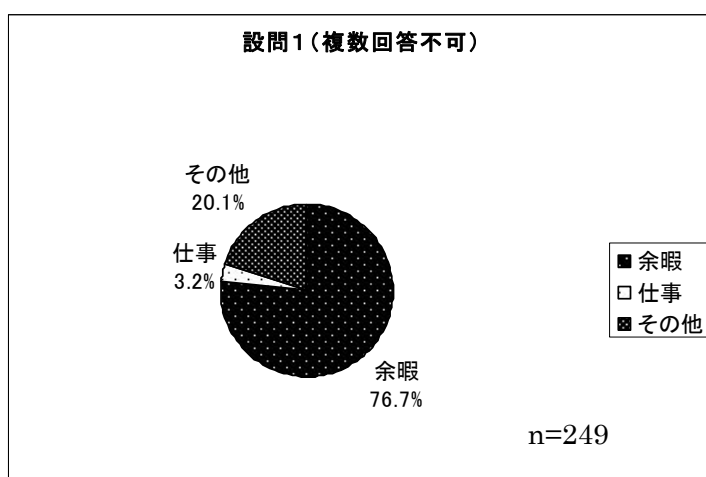
問1…本施設へ来訪された目的は何ですか。(複数回答不可)

### < 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)
余暇	191	76.7
仕事	8	3.2
その他	50	20.1
合計	249	100.0

### その他の内訳

各項目	人数 (人)
宿題	11
ワークショップ	7
子供の宿題	3
ボランティア	3
散歩	2
勉強	1
奥村幸弘展	1
美術館に来たかった	1
学校帰り	1
買い物ついで	1
開高健に興味があったから	1
サイクリング中	1
法事	1
未記入	16
合計	50



図表 2-28 当該施設への来訪目的 (全体) (n=249)

### < 施設別の集計結果 >

#### ■ 開高健記念館

各項目	人数 (人)	割合 (%)
余暇	69	87.3
仕事	2	2.5
その他	8	10.1
合計	79	100.0

#### ■ 茅ヶ崎市美術館

各項目	人数 (人)	割合 (%)
余暇	27	47.4
仕事	2	3.5
その他	28	49.1
合計	57	100.0

#### ■ 民俗資料館

各項目	人数 (人)	割合 (%)
余暇	20	71.4
仕事	3	10.7
その他	5	17.9
合計	28	100.0

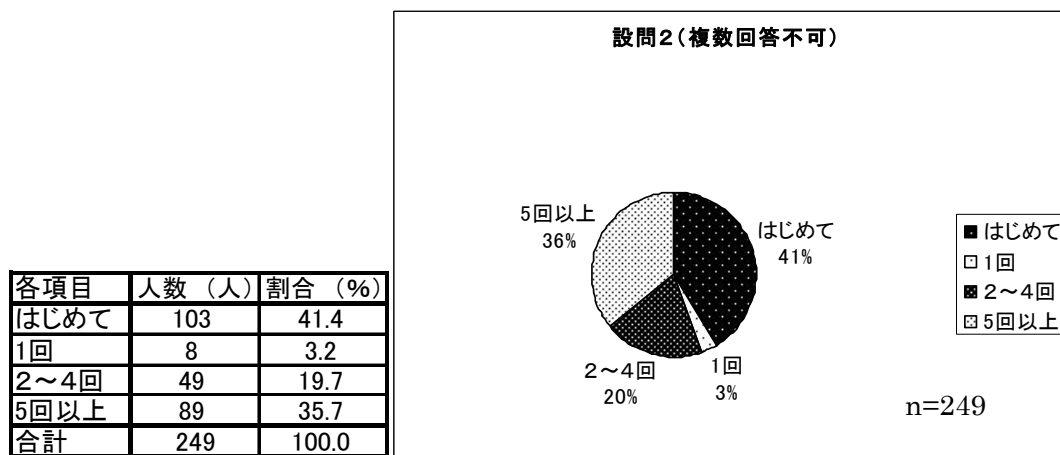
#### ■ サザンビーチ

各項目	人数 (人)	割合 (%)
余暇	75	88.2
仕事	1	1.2
その他	9	10.6
合計	85	100.0

図表 2-29 当該施設への来訪目的 (施設別)

問2…今までに本施設に何回来訪されたことがありますか。(複数回答不可)

< 4 施設全体の集計結果 >



図表 2-30 当該施設への来訪頻度 (全体) (n=249)

< 施設別の集計結果 >



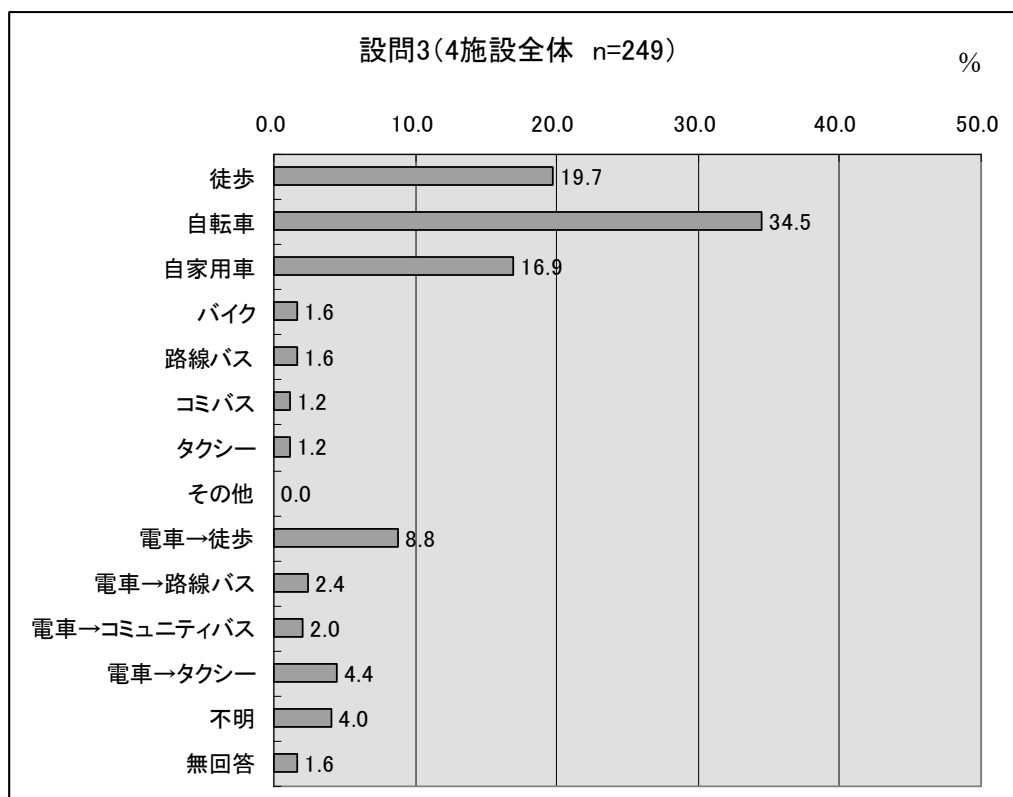
図表 2-31 当該施設への来訪頻度 (施設別)

● サザンビーチ(80.0%)、茅ヶ崎市美術館(68.4%)、民俗資料館(58.6%)の半数以上の人々が再来者

問3…本施設に来訪された時の移動手段を下表からお選びください。複数の移動手段を用いられた方は本施設までの直近3つの手段についてお答えください。

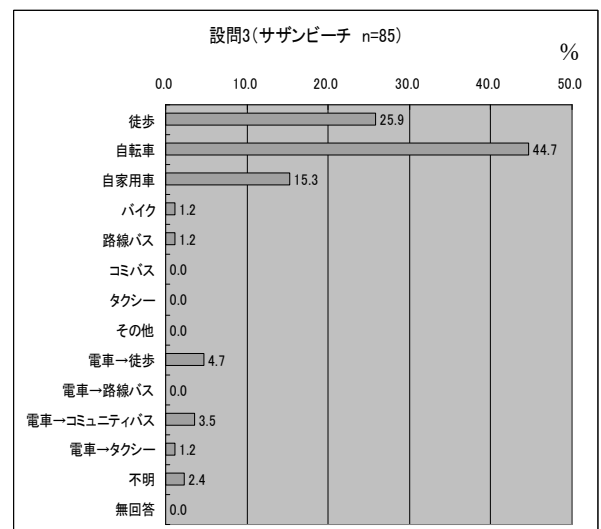
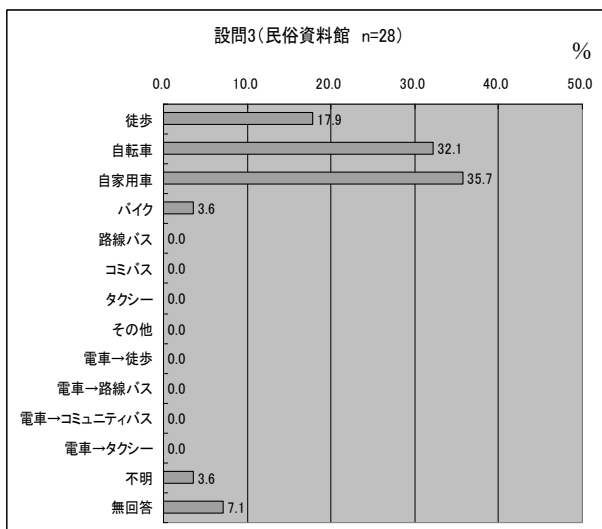
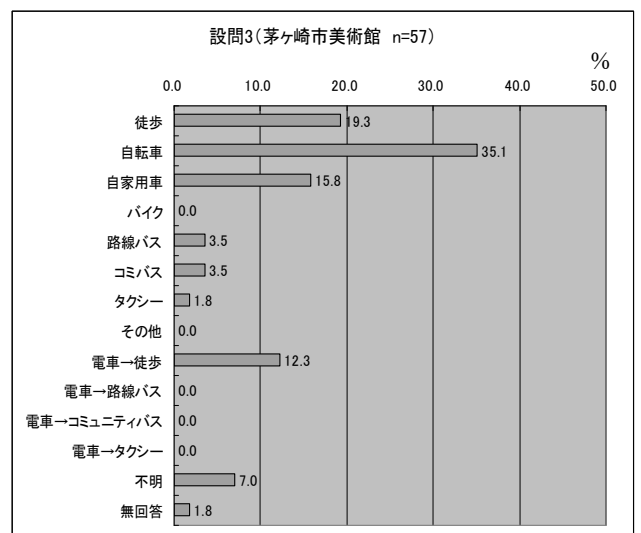
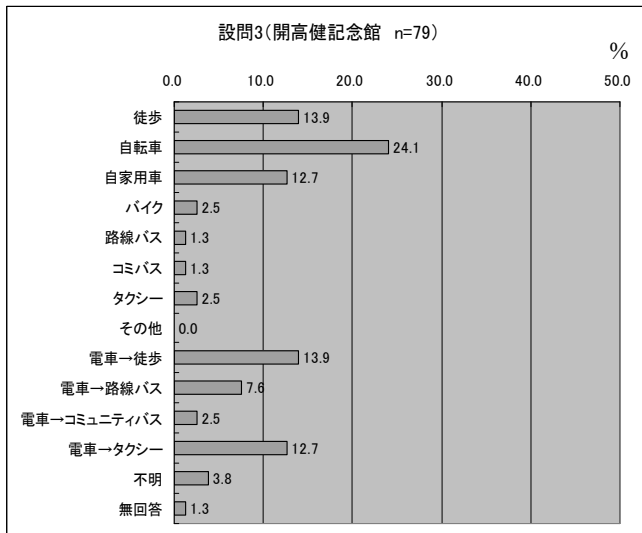
< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	開高健記念館		茅ヶ崎市美術館		民俗資料館		サザンビーチ		全 体	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数	割合(%)
徒歩	11	13.9	11	19.3	5	17.9	22	25.9	49	19.7
自転車	19	24.1	20	35.1	9	32.1	38	44.7	86	34.5
自家用車	10	12.7	9	15.8	10	35.7	13	15.3	42	16.9
バイク	2	2.5	0	0.0	1	3.6	1	1.2	4	1.6
路線バス	1	1.3	2	3.5	0	0.0	1	1.2	4	1.6
コミバス	1	1.3	2	3.5	0	0.0	0	0.0	3	1.2
電車	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
タクシー	2	2.5	1	1.8	0	0.0	0	0.0	3	1.2
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
電車→徒歩	11	13.9	7	12.3	0	0.0	4	4.7	22	8.8
電車→路線バス	6	7.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	2.4
電車→コミュニティバス	2	2.5	0	0.0	0	0.0	3	3.5	5	2.0
電車→タクシー	10	12.7	0	0.0	0	0.0	1	1.2	11	4.4
不明	3	3.8	4	7.0	1	3.6	2	2.4	10	4.0
無回答	1	1.3	1	1.8	2	7.1	0	0.0	4	1.6
合計	79	100.0	57	100.0	28	100.0	85	100.0	249	100.0



図表 2 - 32 当該施設来訪時の移動手段 (全体) (n=249)

＜施設別の集計結果＞



図表 2-33 当該施設来訪時の移動手段（施設別）

- 茅ヶ崎駅南側の資源（開高健記念館、茅ヶ崎市美術館、サザンビーチ）については、自転車での来訪が多く、次いで、徒歩、自家用車が多い
- JR東海道線よりも南側に位置する地域資源については、電車で駅まで・駅から他の手段（徒歩・バスなど）といった駅が基点になっていることが伺える
- 民俗資料館については、自家用車を用いての来訪が最も多い(35.7%)

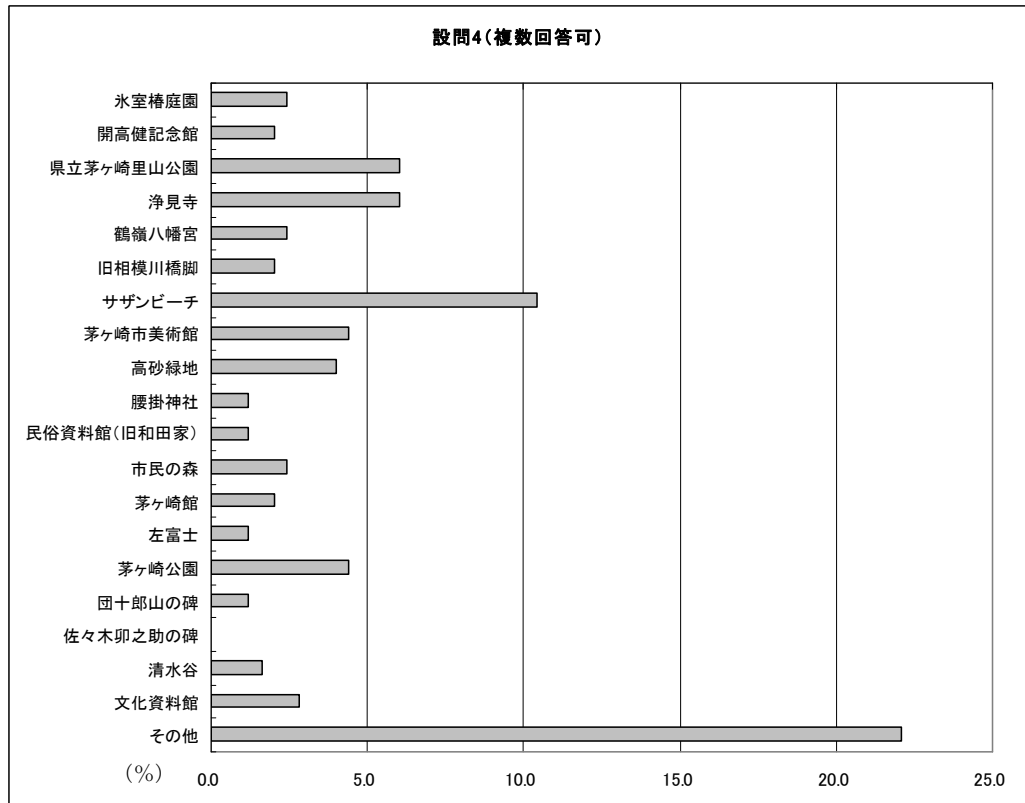
問4…本施設の来訪前もしくはこの後に、立ち寄る施設はありますか。(複数回答可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)
氷室椿庭園	6	2.4
開高健記念館	5	2.0
県立茅ヶ崎里山公園	15	6.0
浄見寺	15	6.0
鶴嶺八幡宮	6	2.4
旧相模川橋脚	5	2.0
サザンビーチ	26	10.4
茅ヶ崎市美術館	11	4.4
高砂緑地	10	4.0
腰掛神社	3	1.2
民俗資料館(旧和田家)	3	1.2
市民の森	6	2.4
茅ヶ崎館	5	2.0
左富士	3	1.2
茅ヶ崎公園	11	4.4
団十郎山の碑	3	1.2
佐々木卯之助の碑	0	0.0
清水谷	4	1.6
文化資料館	7	2.8
その他	55	22.1

その他の内訳

各項目	人数 (人)
図書館	13
特に無し	5
駅方面	3
平塚美術館	2
香川公民館	2
江ノ島	2
平塚らいちょう碑、殿山公園	1
農家路地野菜販売所	1
知人宅	1
海岸	1
三浦半島	1
鎌倉	1
貝塚、遺跡	1
建彦神社	1
茅ヶ崎駅	1
神奈川県立美術館	1
未記入	18
合計	55



図表 2-34 当日の他該施設への来訪行動 (全体) (n=249)

●同時来訪率が比較的高いのは、サザンビーチ(10.4%)、里山公園(6.0%)、浄見寺(6.0%)、美術館(4.4%)、高砂緑地(4.0%)

<施設別の集計結果>

各項目	開高健記念館 サンプル数:79		茅ヶ崎市美術館 サンプル数:57		民俗資料館 サンプル数:28		サザンビーチ サンプル数:85	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
氷室椿庭園	4	5.1	0	0.0	2	7.1	0	0.0
開高健記念館	3	3.8	0	0.0	2	7.1	0	0.0
県立茅ヶ崎里山公園	1	1.3	2	3.5	8	28.6	4	4.7
浄見寺	2	2.5	1	1.8	12	42.9	0	0.0
鶴嶺八幡宮	3	3.8	1	1.8	2	7.1	0	0.0
旧相模川橋脚	1	1.3	1	1.8	3	10.7	0	0.0
サザンビーチ	21	26.6	3	5.3	2	7.1	0	0.0
茅ヶ崎市美術館	5	6.3	3	5.3	1	3.6	2	2.4
高砂緑地	5	6.3	4	7.0	1	3.6	0	0.0
腰掛神社	0	0.0	0	0.0	3	10.7	0	0.0
民俗資料館(旧和田家)	2	2.5	0	0.0	1	3.6	0	0.0
市民の森	0	0.0	1	1.8	4	14.3	1	1.2
茅ヶ崎館	2	2.5	1	1.8	2	7.1	0	0.0
左富士	1	1.3	0	0.0	1	3.6	1	1.2
茅ヶ崎公園	1	1.3	2	3.5	5	17.9	3	3.5
団十郎山の碑	2	2.5	0	0.0	1	3.6	0	0.0
佐々木卯之助の碑	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
清水谷	0	0.0	0	0.0	4	14.3	0	0.0
文化資料館	2	2.5	2	3.5	2	7.1	1	1.2
その他	12	15.2	22	38.6	9	32.1	12	14.1

図表 2-35 当日の他の施設への来訪行動(施設別)

- 同時周遊が2割以上の施設は  
「開高記念館⇔サザンビーチ(26.6%)」「民俗資料館⇔浄見寺(42.9%)」「民族資料館⇔里山公園(28.6%)」
- サザンビーチはイベント開催時のデータであるため、立ち寄り施設が少ない

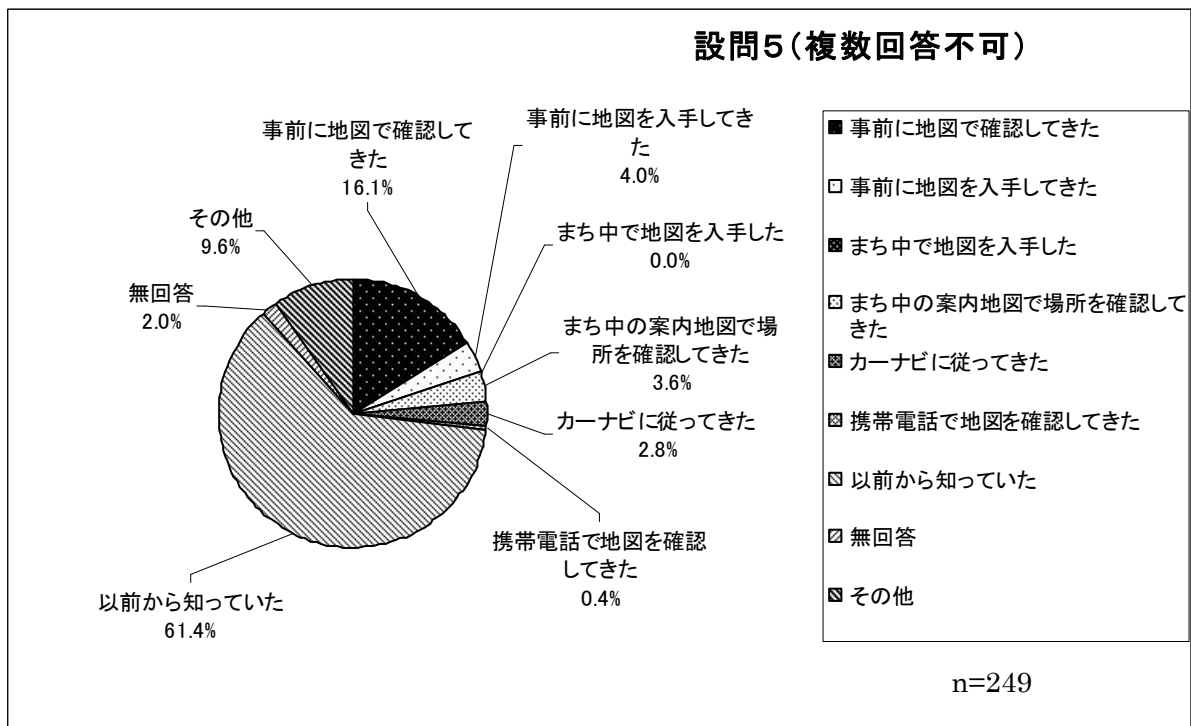
問5…本施設に来訪するのに、どのようにして行き方を把握しましたか。  
(複数回答不可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)
事前に地図で確認してきた	40	16.1
事前に地図を入手してきた	10	4.0
まち中で地図を入手した	0	0.0
まち中の案内地図で場所を確認してきた	9	3.6
カーナビに従ってきた	7	2.8
携帯電話で地図を確認してきた	1	0.4
以前から知っていた	153	61.4
無回答	5	2.0
その他	24	9.6
合計	249	100.0

「その他」の内訳

各項目	人数 (人)	各項目	人数 (人)
知人の案内	4	尋ねながら	1
インターネット検索	3	駅で聞いた	1
タクシー利用	2	コンビニで聞いた	1
同行者の案内	1	広報のマップ	1
偶然見つかった	1	未記入	9
		合計	24



図表 2-36 当該施設への行き方の把握方法 (全体) (n=249)



＜施設別の集計結果＞

各項目	開高健記念館		茅ヶ崎市美術館		民俗資料館		サザンビーチ	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
事前に地図で確認してきた	28	35.4	5	8.8	3	10.7	4	4.7
事前に地図を入手してきた	8	10.1	1	1.8	0	0.0	1	1.2
まち中で地図を入手した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
まち中の案内地図で場所を確認してきた	4	5.1	2	3.5	0	0.0	3	3.5
カーナビに従ってきた	3	3.8	1	1.8	0	0.0	3	3.5
携帯電話で地図を確認してきた	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.2
以前から知っていた	20	25.3	41	71.9	20	71.4	72	84.7
無回答	1	1.3	2	3.5	2	7.1	0	0.0
その他	15	19.0	5	8.8	3	10.7	1	1.2
合計	79	100.0	57	100.0	28	100.0	85	100.0

図表 2-37 当該施設への行き方の把握方法（施設別）

- サザンビーチ(84.7%)、民俗資料館(71.4%)、茅ヶ崎市立美術館(71.9%)は、7割以上の人がある場所を以前から認知
- 開高健記念館は以前から知っていた人の割合が他の施設と比べると少なく(25.3%)、事前に地図で確認(35.4%)、地図を入手(10.1%)、の割合が多い。(問2の来訪経験に対応する結果)

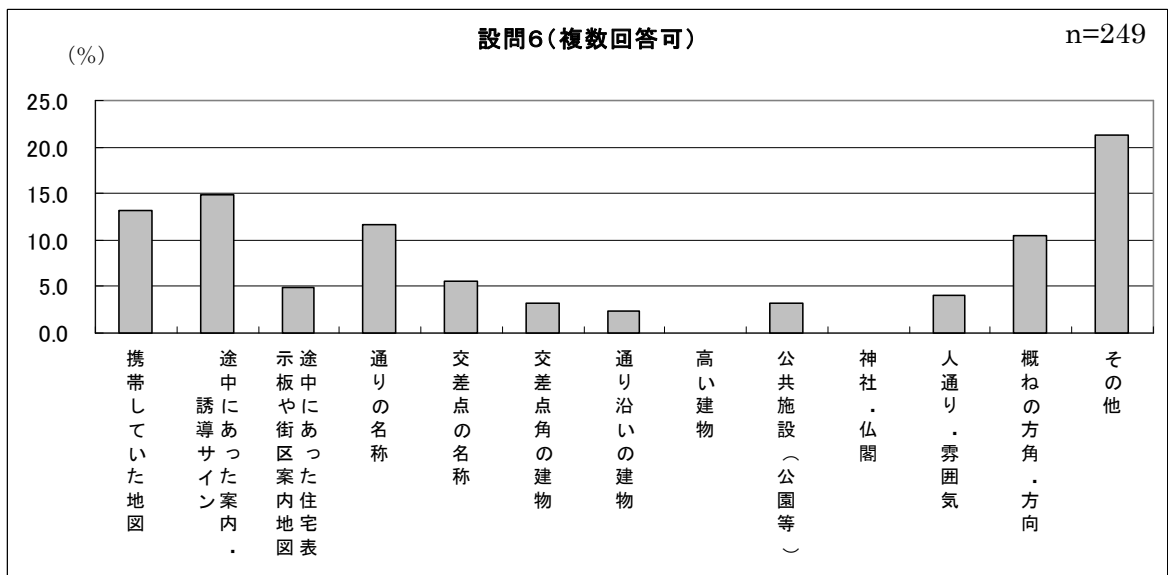
問6…本施設にたどり着くまでに手がかりにしたものはなんですか。(複数回答可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)
携帯していた地図	33	13.3
途中にあった案内・誘導サイン	37	14.9
途中にあった住宅表示板や街区案内地図	12	4.8
通りの名称	29	11.6
交差点の名称	14	5.6
交差点角の建物	8	3.2
通り沿いの建物	6	2.4
高い建物	0	0.0
公共施設(公園等)	8	3.2
神社・仏閣	0	0.0
人通り・雰囲気	10	4.0
概ねの方角・方向	26	10.4
その他	53	21.3

「その他」の内訳

各項目	人数 (人)	各項目	人数 (人)
知っていた	5	記憶	2
尋ねながら	4	駅のポスター	1
特になし	3	茅ヶ崎の広報での地図	1
感覚	3	ゴルフ場	1
タクシー	2	図書館	1
コミュニティバス	2	ちがさきガイドブック	1
誘導者	2	未記入	25
		合計	53



図表 2-38 当該施設への道程での手がかり(全体)(n=249)

<施設別の集計結果>

各項目	開高健記念館 サンプル数:79		茅ヶ崎市美術館 サンプル数:57		民俗資料館 サンプル数:28		サザンビーチ サンプル数:85	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
携帯していた地図	20	25.3	5	8.8	2	7.1	6	7.1
途中にあった案内・誘導サイン	14	17.7	16	28.1	4	14.3	3	3.5
途中にあった住宅表示板や街区案内地図	8	10.1	1	1.8	2	7.1	1	1.2
通りの名称	21	26.6	2	3.5	0	0.0	6	7.1
交差点の名称	7	8.9	1	1.8	0	0.0	6	7.1
交差点角の建物	0	0.0	4	7.0	0	0.0	4	4.7
通り沿いの建物	0	0.0	4	7.0	1	3.6	1	1.2
高い建物	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公共施設(公園等)	1	1.3	6	10.5	1	3.6	0	0.0
神社・仏閣	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
人通り・雰囲気	1	1.3	2	3.5	1	3.6	6	7.1
概ねの方角・方向	4	5.1	7	12.3	1	3.6	14	16.5
その他	15	19.0	11	19.3	9	32.1	18	21.2

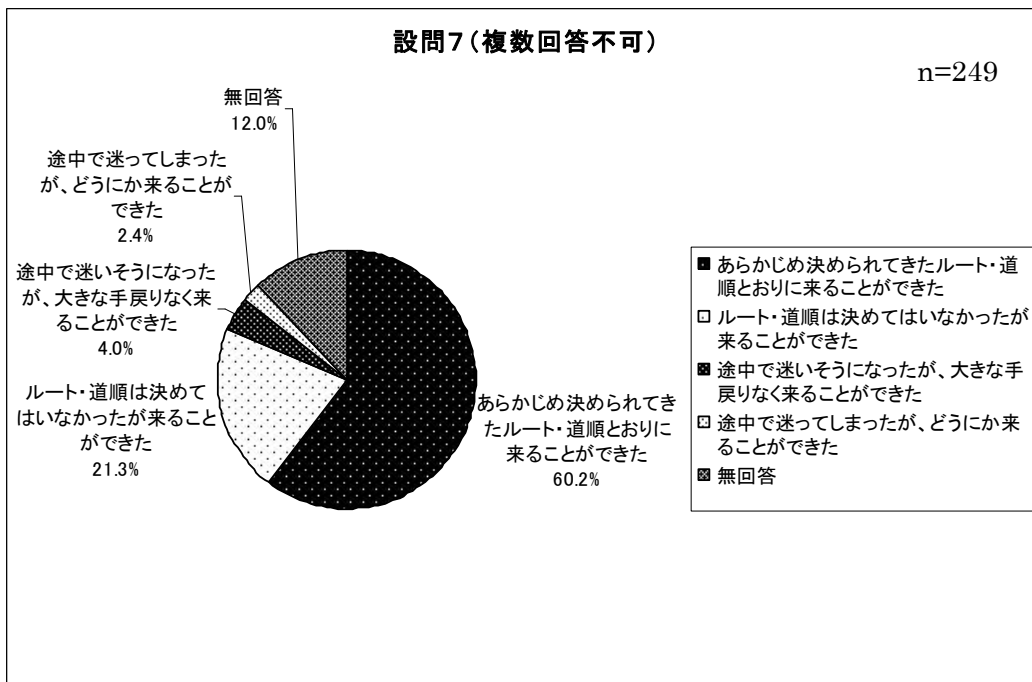
図表 2-39 当該施設への道程での手がかり（施設別）

- サザンビーチは以前から知っている人の割合も高く、概ねの方角(16.5%)を手がかりとしている
- 施設の場所を以前から知っている人の割合が低い開高健記念館は、通りの名称(26.6%)、携帯していた地図(25.3%)、途中のサイン(17.7%)を手がかりとしている
- 民俗資料館、茅ヶ崎市美術館は以前から知っている人の割合は高いが、途中の公共サイン(それぞれ 14.3%、28.1%)を手がかりとしている

問7…本施設にたどり着くまでの状況について、選択肢の中から、一番に近いと思われるものを選んでください。(複数回答不可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数(人)	割合(%)
あらかじめ決められてきたルート・道順とおりに来ることができた	150	60.2
ルート・道順は決めてはいなかったが来ることができた	53	21.3
途中で迷いそうになったが、大きな手戻りなく来ることができた	10	4.0
途中で迷ってしまったが、どうにか来ることができた	6	2.4
無回答	30	12.0
合計	249	100.0



図表 2-40 当該施設到着までの状況 (全体) (n=249)

< 施設別の集計結果 >

各項目	開高健記念館		茅ヶ崎市美術館		民俗資料館		サザンビーチ	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
あらかじめ決められてきたルート・道順とおりに来ることができた	38	48.1	34	59.6	13	46.4	65	76.5
ルート・道順は決めてはいなかったが来ることができた	17	21.5	12	21.1	8	28.6	16	18.8
途中で迷いそうになったが、大きな手戻りなく来ることができた	3	3.8	5	8.8	2	7.1	0	0.0
途中で迷ってしまったが、どうにか来ることができた	2	2.5	2	3.5	2	7.1	0	0.0
無回答	19	24.1	4	7.0	3	10.7	4	4.7
合計	79	100.0	57	100.0	28	100.0	85	100.0

図表 2-41 当該施設到着までの状況 (施設別)

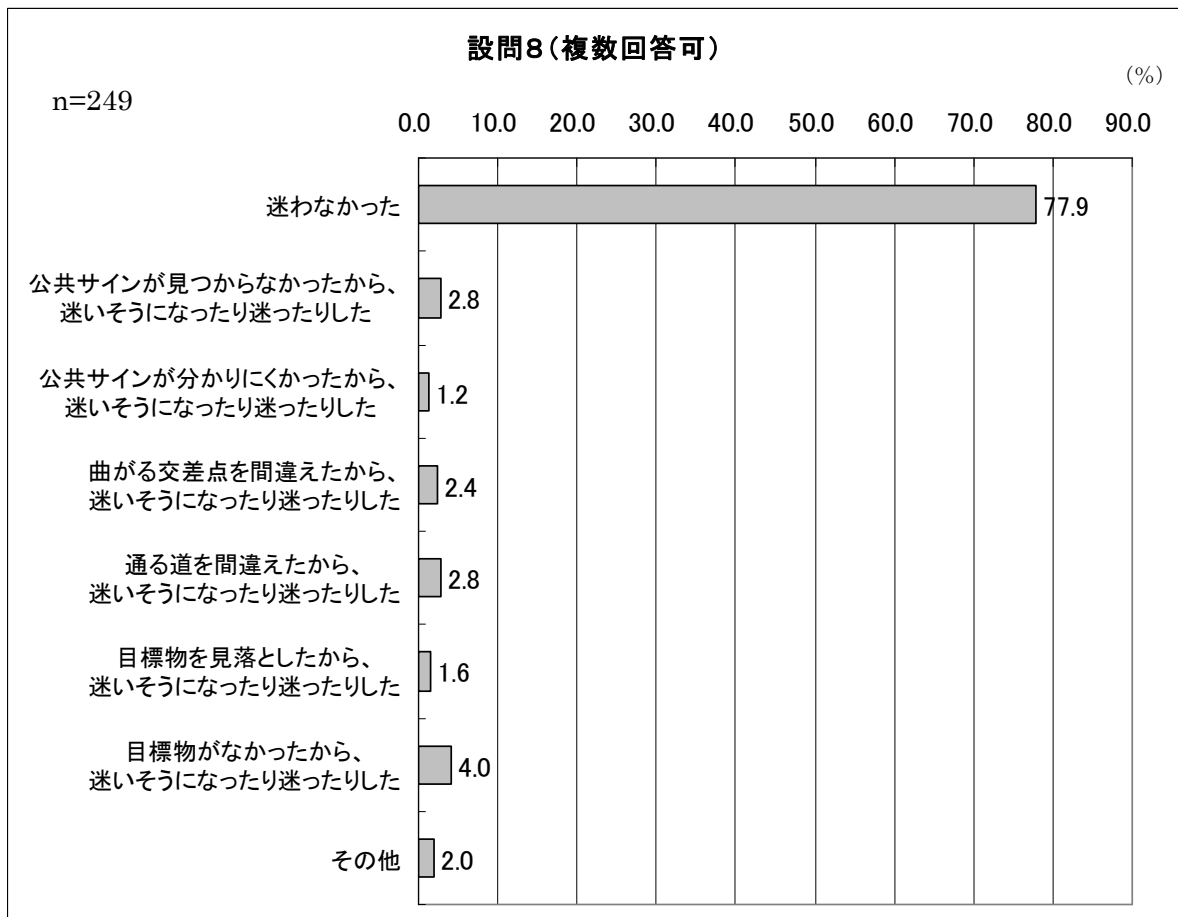
問8…本施設に来訪するのに、迷いそうになったり迷ったりしましたか。  
(複数回答可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)
迷わなかった	194	77.9
公共サインが見つからなかったから、迷いそうになったり迷ったりした	7	2.8
公共サインが分かりにくかったから、迷いそうになったり迷ったりした	3	1.2
曲がる交差点を間違えたから、迷いそうになったり迷ったりした	6	2.4
通る道を間違えたから、迷いそうになったり迷ったりした	7	2.8
目標物を見落としたから、迷いそうになったり迷ったりした	4	1.6
目標物がなかったから、迷いそうになったり迷ったりした	10	4.0
その他	5	2.0

「その他」の内訳	
各項目	人数 (人)
美術館の場所がわかりづらかった	1
想像より駅から遠かった	1
未記入	3
合計	5



図表 2-42 当該施設到着までに迷ったか (全体) (n=249)

<施設別の集計結果>

各項目	開高健記念館 サンプル数:79		茅ヶ崎市美術館 サンプル数:57		民俗資料館 サンプル数:28		サザンビーチ サンプル数:85	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
迷わなかった	50	63.3	46	80.7	22	78.6	76	89.4
公共サインが見つからなかったから、 迷いそうになったり迷ったりした	2	2.5	2	3.5	1	3.6	2	2.4
公共サインが分かりにくかったから、 迷いそうになったり迷ったりした	0	0.0	1	1.8	2	7.1	0	0.0
曲がる交差点を間違えたから、 迷いそうになったり迷ったりした	1	1.3	2	3.5	2	7.1	1	1.2
通る道を間違えたから、 迷いそうになったり迷ったりした	4	5.1	3	5.3	0	0.0	0	0.0
目標物を見落としたから、 迷いそうになったり迷ったりした	1	1.3	0	0.0	1	3.6	2	2.4
目標物がなかったから、 迷いそうになったり迷ったりした	7	8.9	0	0.0	0	0.0	3	3.5
その他	3	3.8	1	1.8	1	3.6	0	0.0

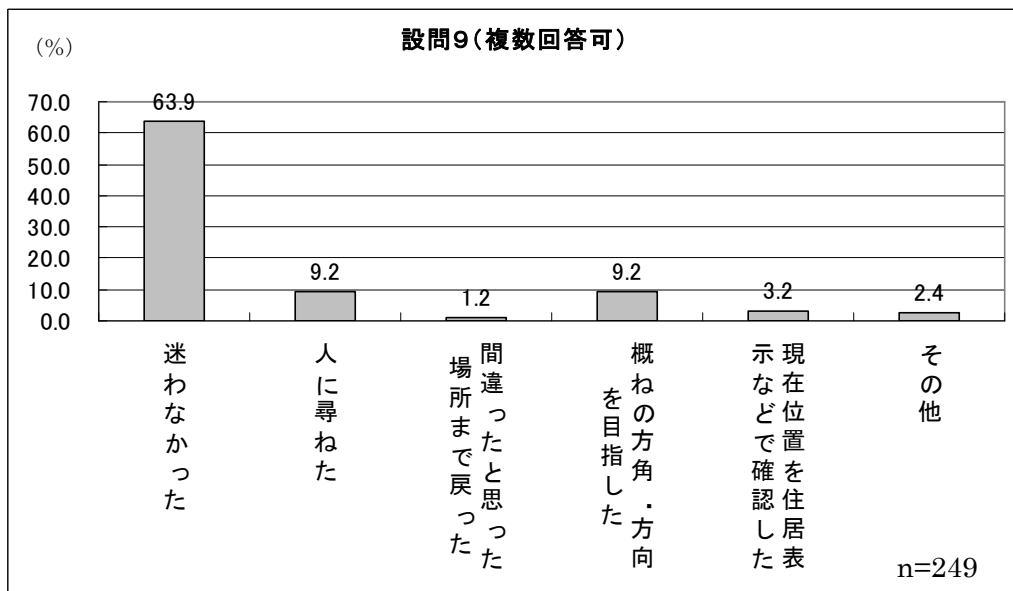
図表 2-43 当該施設到着までに迷ったか（施設別）

- 以前から知っていたということもあり、迷わなかったという人の割合が全体に高い
- 最も迷いそうになったりしているのは、開高健記念館（「迷わなかった」が最も低い63.3%）  
その理由は、「目標物がなかった(8.9%)」「通る道を間違えた(5.1%)」

問9…本施設に来訪するのに、迷いそうになったり迷ったりした時に、どのように対応されましたか。(複数回答可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)	「その他」の内訳	
迷わなかった	159	63.9	各項目	人数 (人)
人に尋ねた	23	9.2	海に出る	1
間違ったと思った場所まで戻った	3	1.2	タクシー	1
概ねの方角・方向を目指した	23	9.2	看板等	1
現在位置を住居表示などで確認した	8	3.2	建物の屋根	1
その他	6	2.4	未記入	2
			合計	6



図表 2-44 当該施設到着までに迷ったときの対応 (全体) (n=249)

< 施設別の集計結果 >

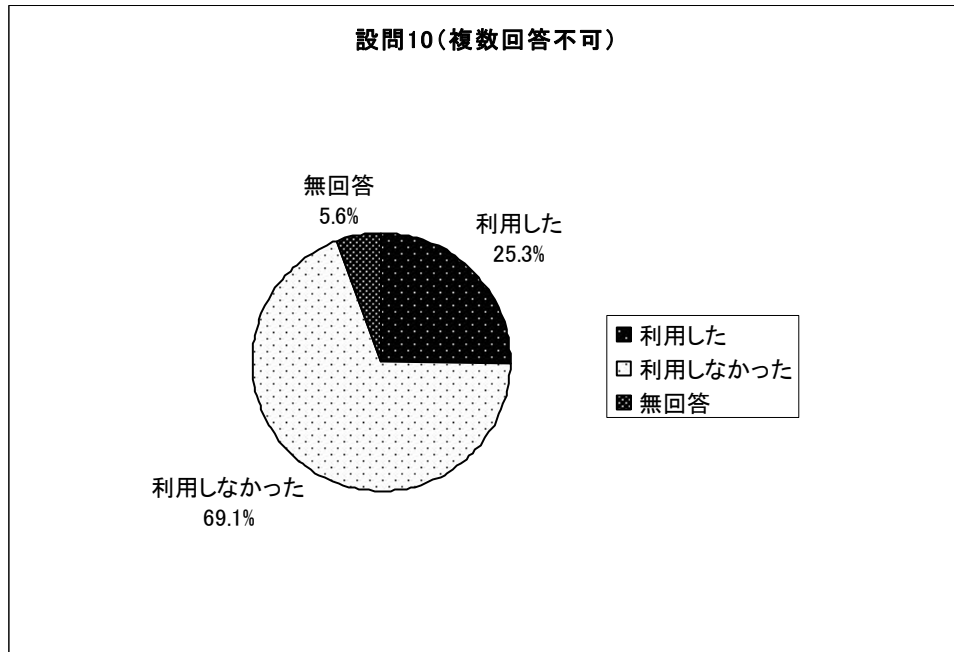
各項目	開高健記念館 サンプル数:79		茅ヶ崎市美術館 サンプル数:57		民俗資料館 サンプル数:28		サザンビーチ サンプル数:85	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
迷わなかった	35	44.3	37	75.5	18	64.3	69	81.2
人に尋ねた	11	13.9	6	12.2	4	14.3	2	2.4
間違ったと思った場所まで戻った	1	1.3	1	2.0	0	0.0	1	1.2
概ねの方角・方向を目指した	10	12.7	4	8.2	2	7.1	7	8.2
現在位置を住居表示などで確認した	5	6.3	2	4.1	0	0.0	1	1.2
その他	2	2.5	1	2.0	2	7.1	1	1.2

図表 2-45 当該施設到着までに迷ったときの対応 (施設別)

問 10…本施設に来訪する途中で、案内・誘導サインを利用しましたか。  
(複数回答不可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)
利用した	63	25.3
利用しなかった	172	69.1
無回答	14	5.6
合計	249	100.0



図表 2-46 当該施設への道程での案内・誘導サインの利用状況 (全体) (n=249)

< 施設別の集計結果 >

各項目	開高健記念館		茅ヶ崎市美術館		民俗資料館		サザンビーチ	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
利用した	26	32.9	20	35.1	7	25.0	10	11.8
利用しなかった	47	59.5	32	56.1	21	75.0	72	84.7
無回答	6	7.6	5	8.8	0	0.0	3	3.5
合計	79	100.0	57	100.0	28	100.0	85	100.0

図表 2-47 当該施設への道程での案内・誘導サインの利用状況 (施設別)



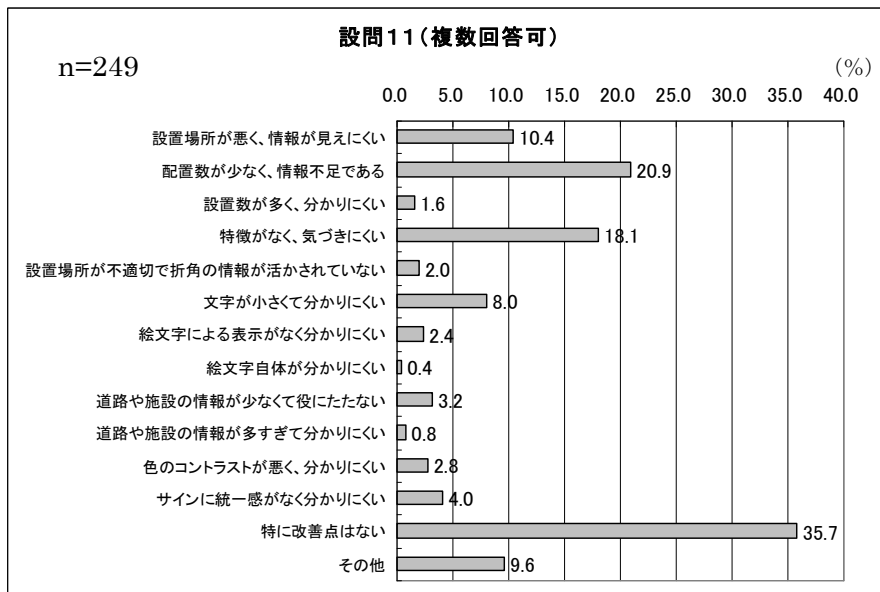
問 11…本施設までの案内・誘導サインについて、改善した方がいいと感じた点はありますか。(複数回答可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)
設置場所が悪く、情報が見えにくい	26	10.4
配置数が少なく、情報不足である	52	20.9
設置数が多く、分かりにくい	4	1.6
特徴がなく、気づきにくい	45	18.1
設置場所が不適切で折角の情報が活かされていない	5	2.0
文字が小さくて分かりにくい	20	8.0
絵文字による表示がなく分かりにくい	6	2.4
絵文字自体が分かりにくい	1	0.4
道路や施設の情報が少なくて役にたたない	8	3.2
道路や施設の情報が多すぎて分かりにくい	2	0.8
色のコントラストが悪く、分かりにくい	7	2.8
サインに統一感がなく分かりにくい	10	4.0
特に改善点はない	89	35.7
その他	24	9.6

「その他」の内訳

各項目	人数 (人)
入り口が分かりにくい	3
案内に気がつかなかった	2
誘導サインの向きが分かりづらい	1
駅の出口に美術館のサインを設置すべき	1
案内が少し小さくてわかりづらかった	1
地図が見にくいから見る気が起きない	1
夜でも分かりやすくしてほしい	1
国道に施設のサインがあると良い	1
未記入	13
合計	24



図表 2-48 当該施設に関する案内・誘導サインの問題点 (全体) (n=249)

< 施設別の集計結果 >

各項目	開高健記念館 サンプル数: 79		茅ヶ崎市美術館 サンプル数: 57		民俗資料館 サンプル数: 28		サザンビーチ サンプル数: 85	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
設置場所が悪く、情報が見えにくい	9	11.4	5	8.8	5	17.9	7	8.2
配置数が少なく、情報不足である	16	20.3	11	19.3	8	28.6	17	20.0
設置数が多く、分かりにくい	1	1.3	2	3.5	0	0.0	1	1.2
特徴がなく、気づきにくい	10	12.7	12	21.1	5	17.9	18	21.2
設置場所が不適切で折角の情報が活かされていない	2	2.5	1	1.8	2	7.1	0	0.0
文字が小さくて分かりにくい	6	7.6	6	10.5	2	7.1	6	7.1
絵文字による表示がなく分かりにくい	1	1.3	2	3.5	0	0.0	3	3.5
絵文字自体が分かりにくい	1	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
道路や施設の情報が少なくて役にたたない	2	2.5	2	3.5	0	0.0	4	4.7
道路や施設の情報が多すぎて分かりにくい	1	1.3	1	1.8	0	0.0	0	0.0
色のコントラストが悪く、分かりにくい	1	1.3	3	5.3	1	3.6	2	2.4
サインに統一感がなく分かりにくい	1	1.3	1	1.8	2	7.1	6	7.1
特に改善点はない	22	27.8	18	31.6	8	28.6	41	48.2
その他	10	12.7	8	14.0	1	3.6	5	5.9

図表 2-49 当該施設に関する案内・誘導サインの問題点 (施設別)

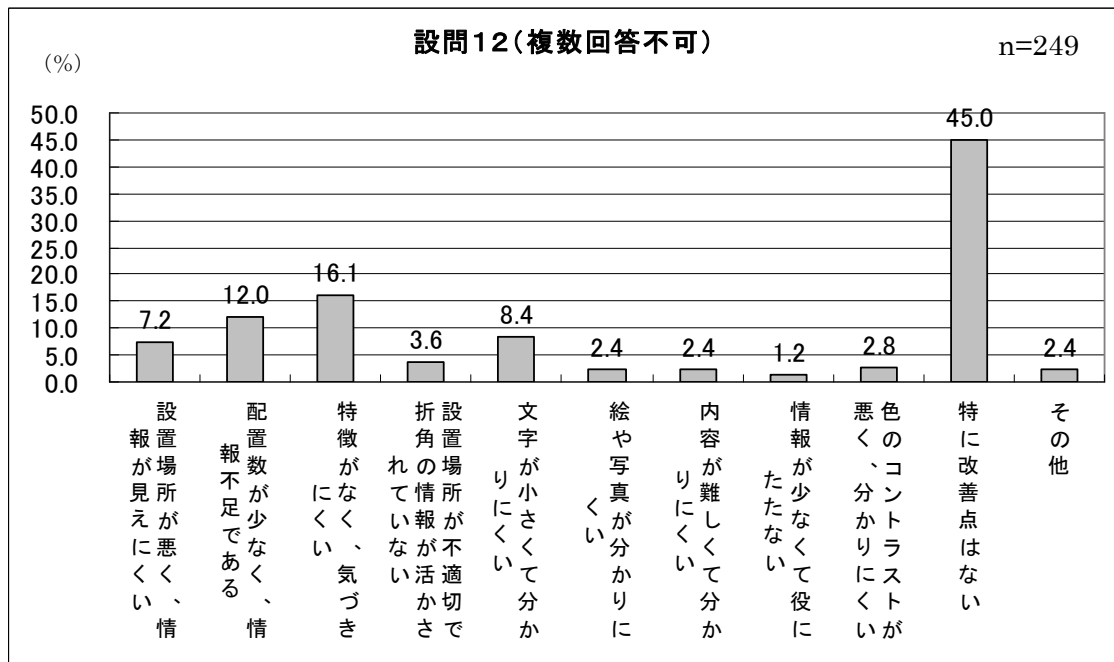
問 12…本施設の解説サインについて、改善した方がいいと感じた点はありませんか。(複数回答可)

< 4 施設全体の集計結果 >

各項目	人数 (人)	割合 (%)
設置場所が悪く、情報が見えにくい	18	7.2
配置数が少なく、情報不足である	30	12.0
特徴がなく、気づきにくい	40	16.1
設置場所が不適切で折角の情報が活かされていない	9	3.6
文字が小さくて分かりにくい	21	8.4
絵や写真が分かりにくい	6	2.4
内容が難しく分かりにくい	6	2.4
情報が少なく役にたたない	3	1.2
色のコントラストが悪く、分かりにくい	7	2.8
特に改善点はない	112	45.0
その他	6	2.4

「その他」の内訳

各項目	人数 (人)
入場料の有無の表示	1
通りから見やすいところに設置して欲しい	1
未記入	4
合計	6



図表 2-50 当該施設の解説サインの問題点 (全体) (n=249)

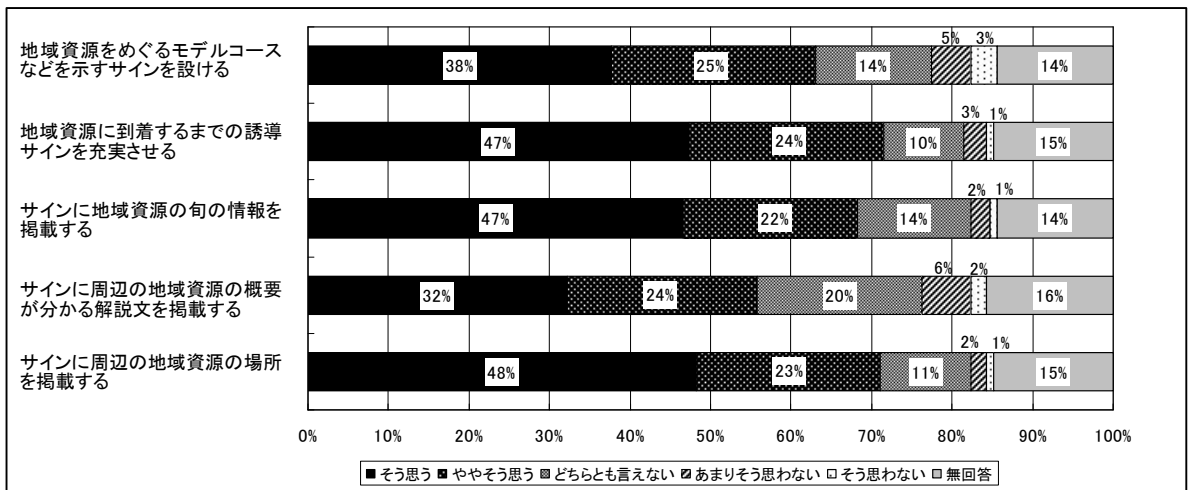
< 施設別の集計結果 >

各項目	開高健記念館 サンプル数:79		茅ヶ崎市美術館 サンプル数:57		民俗資料館 サンプル数:28		サザンビーチ サンプル数:85	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
設置場所が悪く、情報が見えにくい	6	7.6	2	3.5	3	10.7	7	8.2
配置数が少なく、情報不足である	10	12.7	6	10.5	4	14.3	10	11.8
特徴がなく、気づきにくい	7	8.9	13	22.8	3	10.7	17	20.0
設置場所が不適切で折角の情報が活かされていない	4	5.1	1	1.8	1	3.6	3	3.5
文字が小さくて分かりにくい	7	8.9	4	7.0	3	10.7	7	8.2
絵や写真が分かりにくい	2	2.5	1	1.8	1	3.6	2	2.4
内容が難しく分かりにくい	0	0.0	0	0.0	2	7.1	4	4.7
情報が少なく役にたたない	1	1.3	0	0.0	0	0.0	2	2.4
色のコントラストが悪く、分かりにくい	1	1.3	2	3.5	2	7.1	2	2.4
特に改善点はない	32	40.5	23	40.4	10	35.7	47	55.3
その他	4	5.1	2	3.5	0	0.0	0	0.0

図表 2-51 当該施設の解説サインの問題点 (施設別)

問 13…本市には、高砂緑地、浄見寺、氷室椿庭園、開高健記念館など独自の資源がたくさんあります。  
 公共サインに、案内や誘導だけでなく、どのような情報の記載や設置の工夫があると地域資源を訪れてみたいと思うようになると思いますか。(複数回答不可)

各項目	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
地域資源をめぐるモデルコースなどを示すサインを設ける	94	63	36	12	8	36	249
地域資源に到着するまでの誘導サインを充実させる	118	60	25	7	2	37	249
サインに地域資源の旬の情報を掲載する	116	54	35	6	2	36	249
サインに周辺の地域資源の概要が分かる解説文を掲載する	80	59	51	15	5	39	249
サインに周辺の地域資源の場所を掲載する	120	57	28	5	2	37	249

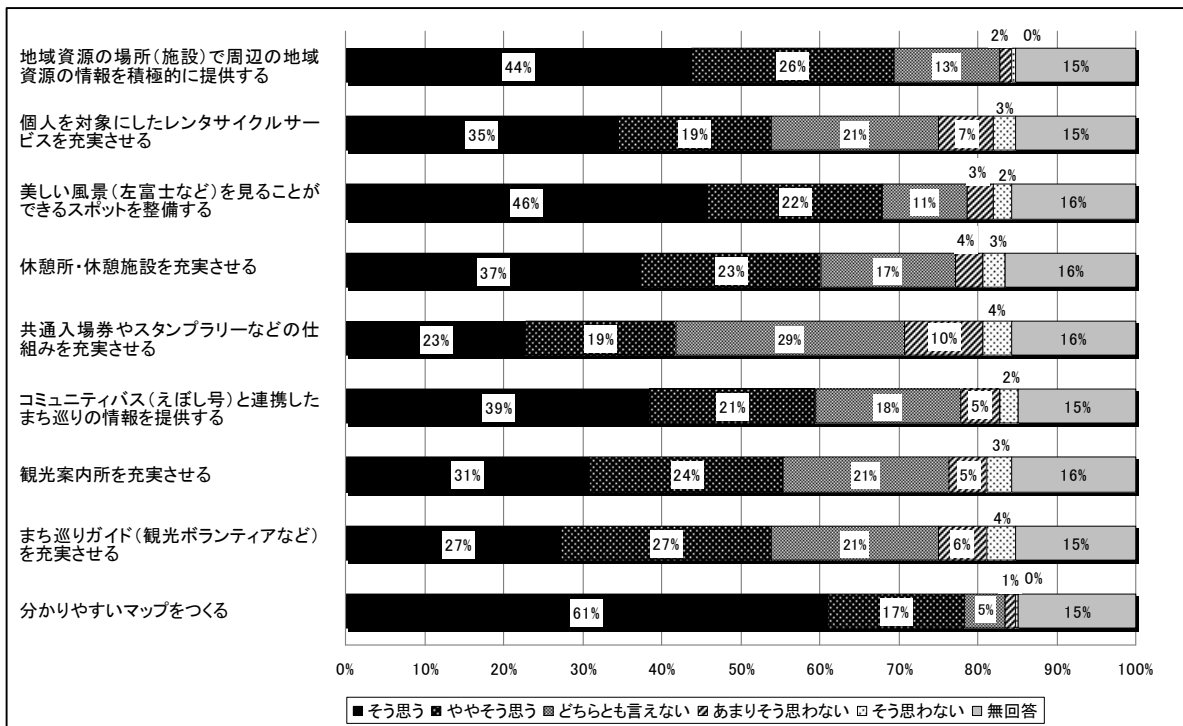


図表 2-52 公共サイン自体に求められる地域資源回遊誘発の方策 (n=249)

問 14…公共サインと連携してどのような対応を行うと、地域資源を訪れてみたいと思うようになりますか。(複数回答不可)

(人)

各項目	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	合計
地域資源の場所(施設)で周辺の地域資源の情報を積極的に提供する	109	64	33	4	1	38	249
個人を対象にしたレンタサイクルサービスを充実させる	86	48	53	17	7	38	249
美しい風景(左富士など)を見ることができるスポットを整備する	114	55	27	8	6	39	249
休憩所・休憩施設を充実させる	93	57	42	9	7	41	249
共通入場券やスタンプラリーなどの仕組みを充実させる	57	47	72	25	9	39	249
コミュニティバス(えぼし号)と連携したまち巡りの情報を提供する	96	52	46	12	6	37	249
観光案内所を充実させる	77	61	52	12	8	39	249
まち巡りガイド(案内ボランティアなど)を充実させる	68	66	53	15	9	38	249
分かりやすいマップをつくる	152	43	13	3	1	37	249



図表 2-53 公共サインと連携して求められる地域資源回遊誘発の方策 (n=249)

### (3) 駅前サイン利用者調査

#### ①調査の概要

茅ヶ崎市公共サインに関する駅前（発地側）面接調査（サンプル数 15）

調査時期：面接調査（平成21年10月18日（日） 9:15～12:00

調査地点：茅ヶ崎駅北口案内サイン（デッキ上）前

茅ヶ崎駅南口案内サイン前

回答者数：[北口] 7人/11組 [南口] 8人/14組

※なお、駅構内（改札口を出てすぐの左手）に設置されている案内サインの立ち寄りグループ数は10:10～12:00で18組であった。

				(人)			
		北口	南口	合計			
10代		1	0	1			
20代		0	0	0			
30代		2	2	4			
40代		1	2	3			
50代		1	3	4			
60代		2	1	3			
70代以上		0	0	0			

				(人)		
	北口	南口	合計			
男	3	5	8			
女	4	3	7			

図表 2-54 回答者の性別・年齢 (n=15)

				(人)		
	北口	南口	合計			
茅ヶ崎市内	1	2	3			
神奈川県内	2	5	7			
東京都	1	1	2			
その他	3	0	3			

				(人)		
	北口	南口	合計			
徒歩	0	1	1			
自転車	1	0	1			
自家用車	0	1	1			
バイク	0	0	0			
路線バス	0	2	2			
コミュニティバス (えぼし号)	0	0	0			
電車	6	6	12			
タクシー	0	0	0			
その他	0	0	0			

図表 2-55 回答者の住まい (n=15)

図表 2-56 来訪手段 (n=15)

問3…案内サインを見ていた理由

(人)

	北口	南口	合計
ア. 訪れる場所を調べていた	6	4	10
イ. 適当な見所がないか探していた	1	2	3
ウ. その他	0	2	2

その他：今から帰るところ。何気なく見ていた。

：バス待ちの間の時間つぶし。

図表2-57 案内サインを見ていた理由 (n=15)

問4…(問3でアと回答の人) 具体的な目的地

(人)

北口	市役所文化会館(書道展)	1
	中央公園	1
	駿河銀行	1
	ホテル	1
	本村	1
	今宿	1
南口	開高健記念館	2
	第一中学前のレストラン	1
	海岸(ボードウォークのあたり)	1
	モデルルーム見学	1

図表2-58 具体的な目的地 (n=10)

問5…(問3でアと回答の人) 案内サインが役立ったかどうか。また役に立たなかった理由

(N=10)

	北口	南口	合計
ア. 非常に役に立った	2	1	3
イ. 少し役に立った	2	2	4
ウ. どちらともいえない	0	0	0
エ. あまり役に立たなかった	2	0	2
オ. ほとんど役に立たなかった	0	1	1

(N=3)

	北口	南口	合計
探していた場所が無かった	1	1	2
場所は分かったが 曲がる場所の目印などが分からない	0	0	0
通りの名称がないので どの道を行けばいいか分からない	0	0	0
その他	1	0	1

その他：バス停やバスルートが載っていない

図表2-59 案内サインの役立ち度(ケース：ア) (n=10)

問6…(問③でイと回答の人) 案内サインが役立ったかどうか。また役に立たなかった理由

(N=3)

	北口	南口	合計
ア. 非常に役に立った	0	0	0
イ. 少し役に立った	0	1	1
ウ. どちらともいえない	0	0	0
エ. あまり役に立たなかった	1	1	2
オ. ほとんど役に立たなかった	0	0	0

(N=2)

	北口	南口	合計
行ってみたいと思う場所が無かった	0	0	0
行ってみたいと思う場所があったが 行き方がよく分からない	0	0	0
その他	1	1	2

その他：地図の情報が簡単すぎる

図表2-60 案内サインの役立ち度(ケース：イ) (n=3)

問7…案内サインに対する印象

(人)				(人)			
	北口	南口	合計		北口	南口	合計
分かりやすい	5	7	12	分かりやすい	1	3	4
分かりにくい	1	1	2	分かりにくい	1	3	4
どちらともいえない	1	0	1	どちらともいえない	2	2	4
未回答	0	0	0	未回答	3	0	3

(人)				(人)			
	北口	南口	合計		北口	南口	合計
少ない	2	4	6	悪い	3	0	3
適当	1	4	5	普通	4	3	7
多い	0	0	0	良い	0	5	5
未回答	4	0	4	未回答	0	0	0

図表 2-61 案内サインに対する印象 (n=15)

問8…その他サインに対する自由意見

色	北口	標高が分からないので、色で示してほしい。
	北口	情報別の色分けが必要。
	北口	色を使って分かりやすくした方がよい。
表示面	北口・南口	方角と地図の上下の関係が分かりにくい (2)
	北口	駅前の詳細案内図と広範囲の2段階をもっとメリハリつけた方がよい。
	南口	もう少し図が大きい方がよい。余白が多くてもったいない。
	北口	案内図かどうかが分かりにくかった。
必要な情報	南口	目的地までの徒歩での移動時間が分かるとよい。(2)
	北口	現在地が書かれていない。(2)
	北口	範囲が広すぎる。駅前だけの情報でよい。
	北口	海側の情報があればよかった。
	北口	バス停が載っていると良い。
	南口	交差点などで目印になる建物(ランドマーク)の情報がほしい。
配置	北口	駅出口の正面にあるとよい。
デザイン	北口	デザインが地味・味気ない。
その他	南口	歩いて楽しめるものが無い。

図表 2-62 その他自由意見

## 1-3 事例調査

### (1) 資料調査

多様な地域・景観特性、設計思想に基づく公共サインガイドラインのあり方を把握することを目的に、複数の自治体の公共サインに係るガイドライン等の収集を行い、その特徴を整理した。

収集したガイドライン等は以下のとおりである。

- ①しずおか公共サイン整備ガイドライン(平成19年4月策定・静岡県)
- ②倉敷市公共サインガイドライン(平成20年3月策定・倉敷市)
- ③横浜市公共サインガイドライン(平成15年策定・横浜市)
- ④旭川市公共サイン整備方針[改訂版](平成15年3月改訂・旭川市)
- ⑤横須賀市サインデザインマニュアル(平成14年7月改訂・横須賀市)
- ⑥小田原市公共サインデザインマニュアル(平成11年策定・小田原市)

それぞれのガイドライン等の特徴を一覧表で整理するとともに、整理した各ガイドライン等の概要をとりまとめ、以降に示す。





【ガイドライン等の概要と特徴一覧】

	しずおか公共サイン整備ガイドライン	倉敷市 公共サインガイドライン	横浜市 公共サインガイドライン	旭川市 公共サイン整備方針[改訂版]	横須賀市 サインデザインマニュアル	小田原市 公共サインデザインマニュアル
基本的な構成	目的と役割 対象とするサインの種類 基本理念 ガイドラインの実践に向けて 公共サイン整備にあたっての基本方針	目的と背景 ガイドラインの対象 サインの整備方針 サインの活用方針	ガイドラインの適用範囲 共通基準 誘導サイン基準 案内サイン基準 参考設計 参考事例	公共サインの定義 現状把握 整備指針 表示面のデザイン 本体・支持体のデザイン 車両用サインについて 整備手法 維持管理	理念編 整備の考え方 案内誘導システムの考え方 基準編 表示の基準 本体デザイン 維持管理編 維持管理のプログラム 維持管理の方法 資料編	マニュアルの概要 案内誘導の考え方 デザイン基準 維持管理 今後の課題 資料編
ガイドラインの対象	国, 県, 市町が設置する以下のサイン 道路案内サイン 経路案内標識/地点案内標識/著名地点誘導サイン 歩行者案内サイン 著名地点誘導サイン/観光案内看板/歩行者用地図看板	市内で整備される公共サイン 誘導サイン/案内サイン/位置サイン	交通旅客施設、道路施設、公園施設として設置管理される案内・誘導サイン	標識、地図、案内誘導板等の総称で、公的機関が公共空間に設置するもの	市が設置する全てのサイン 市全域の道路・広場等の公共用地、公的な性格を有する敷地 案内・誘導サイン/交通機関係サイン/解説サイン/禁止規制サイン/防災サイン/広報用サイン	歩行者系サインだけでなく、自動車系サインについても対象
基準などの考え方	・フォント設定や文字高、板面位置などの数値設定はなく、サイン整備に対する考え方、方針を設定	・基準としての数値に加え、その理由等を丁寧に解説 ・基準数値自体は幅を持たせて設定	・数値的基準に加え、設置位置などについて、模式図を用いて提示	・距離表示、施設名、凡例など、用いる場所ごとに使用書体をきめ細かく設定 ・色彩についても、国道、道道、市道などにより使用する色彩をきめ細かく設定 ・これらの基準をサインタイプごとのレイアウト図を用いて説明	・表示基準については、標準タイプについて、書体、ピクトグラム、色彩などの基準を設定 ・本体の基準については、各タイプのサインについて、板面高さ、色彩を設定	・表示基準、本体基準を具体的に設定し、図面等を用いて説明 ・歩行者系サインの配置について、中心市街地エリアと一般エリアの2ケースで考え方を提示 ・自動車系サインの配置について、起点、分岐点、導入分岐点、定点の4段に分類に考え方を提示
特徴	・県土全体を対象とするため、フォント設定や文字高、板面位置などの数値設定ではなく、サイン整備に対する考え方、方針を設定 ・ガイドラインの中で協力を依頼するその他のサイン及び情報ツール（観光マップ、道路地図、カーナビなど）を丁寧に説明 ・公共サインの乱立を防ぐため、多様な情報ツールとの連携による情報提供の考え方を提示 ・誘導する目標地点の見直しも視野に入れてのガイドライン ・景観を阻害する看板等の撤去、集約の重要性について提示	・何かを決定しているというよりは、サイン整備における注意事項の提示 ・視覚障害者や車椅子利用者への配慮などユニバーサルデザインへの対応を提示	・方針的な説明などの考え方に当たる部分は無く、基準の提示が中心 ・全体に文章は少なめで図による説明を多用 ・一つのまとまりとして独自のサインシステムを用いることが効果的と思われるサインを適用除外とするなど、「地区の個性と魅力をより高める」ために地区ごとの独自のデザインの可能性を重視	・サインシステムについてのあり方を重視し、想定ルート、配置の「基点」を設定 ・定点機能、誘導機能、案内機能、説明機能、規制機能の組み合わせから場所に応じたサインの類型を設定。類型ごとのデザインを複数のモデルとして展開 ・平成14年に策定されたものの改訂版としての位置づけであり、運用上での課題を反映して策定 ・エリア別に板面に用いる色を設定	・標準タイプサインと個別タイプサイン（マニュアルを元に地区独自の基準を設定して整備されるサイン）の2つの場合を想定し、標準タイプサインについて詳細に基準を設定 ・整備計画から整備の実施、維持管理までのフローを提示	・模式図や設計図を多用しわかりやすく説明 ・状況によって変更しても良い箇所と、マニュアルを遵守する箇所、注意点などを参考例で提示

# ①静岡公共サイン整備ガイドライン[平成19年4月策定]

## i) 構成

フォント設定や文字高、板面位置などの数値設定など、具体的な基準は無く、サイン整備に対する考え方や方針の綴られたガイドラインとなっている。ユニバーサルデザインや景観への対応について、個別に章立てしている点に特徴がある。

## ii) ガイドラインの対象

### ●ガイドラインの対象

国、県、市町が設置する以下のサインを公共サインと定義している。

《道路案内サイン》

経路案内標識／地点案内標識／

著名地点誘導サイン

《歩行者案内サイン》

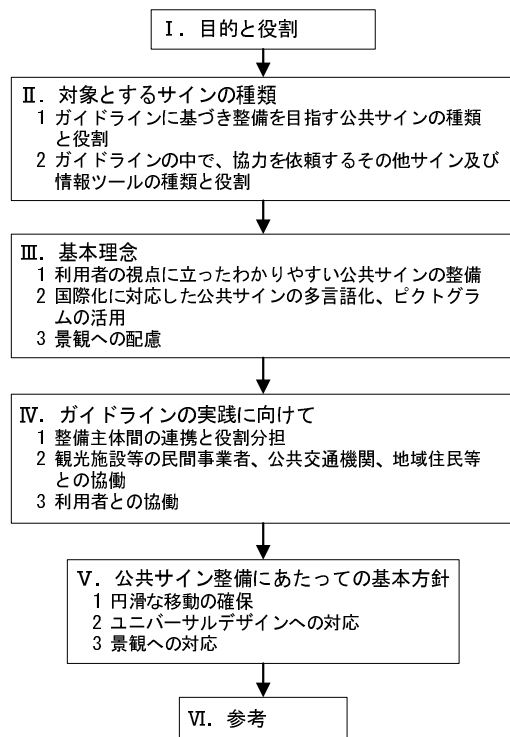
著名地点誘導サイン／観光案内看板／歩

行者用地図看板

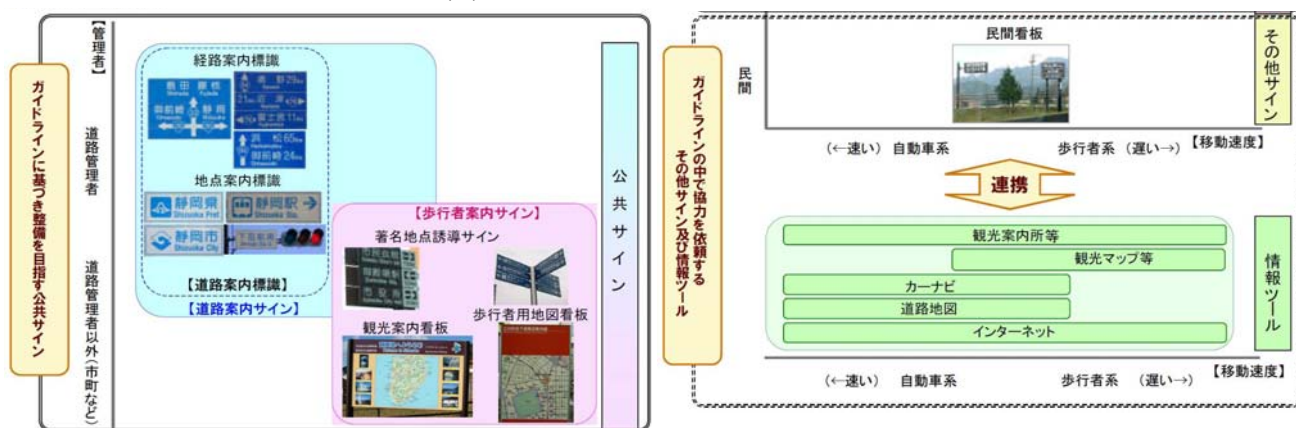
### ●ガイドラインの中で協力を依頼するその他サイン及び情報ツール

以下のサイン・ツールについては、各整備主体にガイドラインの趣旨への理解と協力を依頼することとしている。

- ・その他サイン…民間看板
- ・情報ツール……観光案内所等／観光マップ／カーナビ／道路地図／インターネット



### ■ガイドラインの構成



### ■ガイドラインの対象

## iii) ガイドラインの特徴

県レベルの広域を対象としたガイドラインのため、市町村のガイドラインのような詳細な基準は設けず、サイン整備の考え方や方針を示した内容となっている。また、歩行者用のサインだけでなく、道路案内サインも大きく取り上げている点や、観光マップなどの情報提供ツールとの連携も取り上げている点に特徴がある。

<方針の特徴>

●道路案内サインの方針

以下のような内容を行うこととしている。

- ・「しずおか道路案内標識整備マニュアル（仮称）」の整備と周知
- ・現在地表示の充実
- ・集約、除去による、サイン乱立の防止・サイン配置の適正化
- ・サインで誘導する目標地点の設定の見直し  
(目標地点の選びなおし／表記の統一／サイン間での連携)
- ・広域観光エリアにおける連携（市町間・県同士の連携）

		大井川流域の目標地		
		現況	変更案	
経路案内標識	重要地	なし	寸又峡 (限定基準地)	全国レベル で登録 → HPで 公表
	主要地	川根本町	川根本町	
	一般地	寸又峡 井川 川根 ...	井川 接岨峡 千頭 ...	
著名地点案内	施設名	なし	川根温泉	県で登録
	著名な施設 (道の駅、駅等)	未設定	道の駅 ...	
地域観光案内	民間施設	適用外 (川根温泉、 キャンプ場等)	キャンプ場 ...	地域で登録

園境界サイン   園域案内サイン   木曾十一宿サイン   園域誘導サイン

町村サイン

連携・公表  
・地図情報  
・マップ  
・その他

■広域観光エリアにおける連携例

■道路案内サインの目標地の見直し例

●歩行者案内サインの方針

以下のような内容を行うこととしている。

- ・整備ルールの周知・徹底
- ・デザインの統一と集約
- ・携帯端末等を利用した新しい案内システムの導入

歩行者案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅やバスターミナルなどの交通拠点から目的施設の誘導ルート上への配置</li> <li>・地図案内、誘導案内（矢羽根案内）、施設案内の連携（起点、分岐、到着確認）</li> <li>・誰でも使いやすい見やすいユニバーサルデザインの仕様（設置高さ、ピクトグラム、文字の大きさ、色）など</li> <li>・インフォメーションセンターや情報コーナーへのiマーク表示の徹底</li> </ul>
に歩行者案内地図サイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・距離感のわかる正確な地図（バースケール表示）</li> <li>・利用者の見る方向に合わせた方位の設定（方位マーク表示）</li> <li>・ベース地図の色調の統一（道路や敷地の色等の統一）</li> <li>・表示する主要施設の整合</li> <li>・市町のエリアに限定せず、隣接する市町の情報も表示</li> <li>・バリア情報（階段等）、バリアフリー情報（エレベータ等）の表示</li> <li>・インフォメーションセンターや情報コーナーの表示</li> </ul>
道路案内との連携	歩行者案内サインの表記は、施設名称や交差点名称、英語表記など道路案内サインと連携し、統一した表記とする。

■歩行者案内サインの統一すべき主な項目

●多様な情報ツールとの連携

公共サインの乱立を防ぐため、サインによる情報提供は最低限に抑え、観光マップ等のツールと連携して情報提供を行なっていくこととしている。連携をはかるツールとしては、観光案内所、観光マップ、インターネット、カーナビゲーションの道路地図が挙げられており、表示方法の整合や情報内容の整合・充実を図ることとしている。

## <ユニバーサルデザインへの対応>

### ●国際化への対応

道路案内標識については、視認性を重視するため日英2ヶ国語のみの表記とし、英語表記を統一するため施設名称の英語表記一覧を作成することとしている。

歩行者案内サインについては、目的や地域特性を踏まえた言語表記を前提に検討することとしている。中でも観光案内板等は日英韓中の4ヶ国語を基本とし、状況によってはポルトガル語も付け加える。

また、ピクトグラムを活用することとしており、意味の伝わりやすいJIS規格のものや全国的に統一が図られているものを使用することとしている。

### ●高齢者や障害者への対応

高齢者や障害者にも見やすく分かりやすい表示内容とするため、文字の大きさ・色彩・サインの設置高さなどに配慮することとしている。

## <景観への対応>

### ●周辺環境との調和

他の観光サインとの識別性を高め地域内の統一感を持たせるために、公共サインの表示面の色彩やデザインを地域で統一することが望ましいとしている。

また、道路案内標識の支柱については、周辺の防護柵、照明柱、信号柱等に合わせた色彩を使用し、周辺景観との調和に配慮することとしている。



設置主体は異なるが、共通ルールにより地域内でデザイン等を合わせた例  
(東京都：都道と区道)

### ■地域内でデザイン等を合わせたサイン

### ●景観を阻害する看板等の撤去・集約

景観の優れた地域やビューポイントでは、サインの情報量を必要最小限に抑え、サインの集約化・除去を行う必要があるとしている。

また、不要なサインの除去については、屋外広告物の規制など法規制による看板の撤去も併せて推進することとしている。



民間設置者で異なる仕様

公共サインによる情報の集約化（長野県）

### ■看板の集約化の例

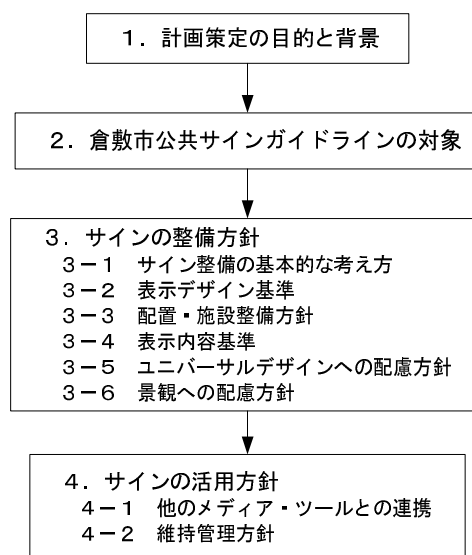
## ②倉敷市公共サインガイドライン[平成20年3月策定]

### i) 構成

目的→対象→方針→維持管理と、シンプルな構成になっている。具体的な設計図等は載せず、方針とその考え方について説明している。

1994年策定の「倉敷市公共サイン基本計画」をユニバーサルデザインの観点から見直したもので、外国人、視覚障害者、車椅子等へ配慮したつくりになっている。

また、3章の方針に入る前には、基準を一枚のシートにまとめたガイドライン早見表が記載されている。ガイドライン早見表には各項目のページ数も記載されており、ガイドラインの概要が分かると共に、本編の約3/4を占める3章の目次の役目も果たしている。



### ■ガイドラインの構成

### ii) ガイドラインの対象

ガイドラインの対象範囲は「市内で整備される公共サイン」とし、公共サインの種類としては「誘導サイン・案内サイン・位置サイン」に適用するものとしている。

### iii) ガイドラインの特徴

基準を決定するという性格のものではなく、公共サイン整備における注意事項を紹介しており、絶対的な基準は少ない。数値基準を設けているものに関しても、「△△以上～〇〇以下」のように幅を持たせていることが多く、その場に応じて決められるようになっている。具体的な設計図等がないこともあり、その前段階の考え方や方針についての説明が多い。

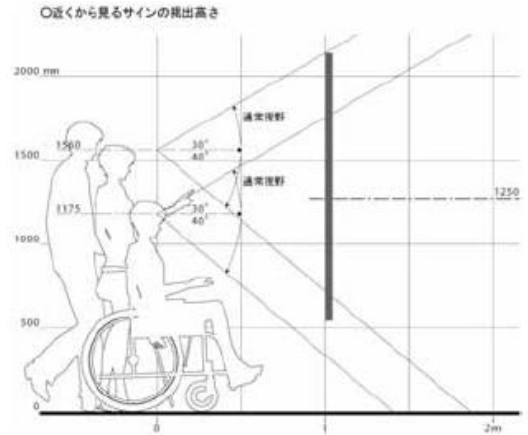
また色彩・構造など多くの項目で基準を決める際に視覚障害や車いす使用者の利用を想定した設定がなされており、ユニバーサルデザインに力を入れていることが特色のひとつと言える。

<方針の特徴>

- ユニバーサルデザインへの配慮  
主に外国人・車椅子・視覚障害者・高齢者に配慮している。

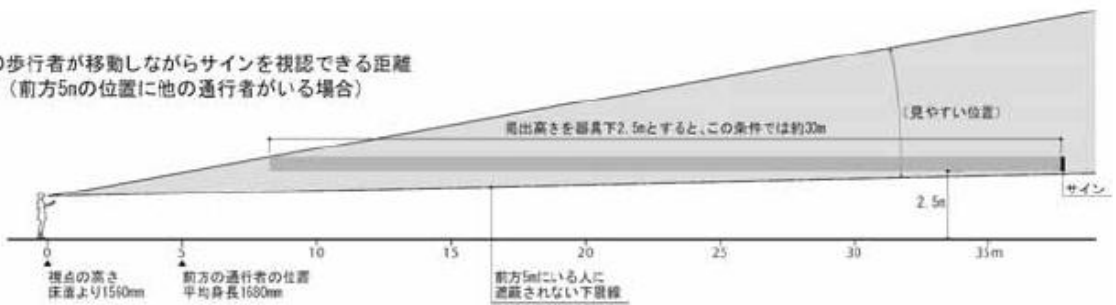
例1) 表示面の大きさ・高さ

表示面の高さについては、立っている人と車いす使用者の両方の視点の高さを考慮に入れて設定し、案内サインの大きさについては、視力の弱い人が50cmの距離から見渡せる範囲を基準として設定している。

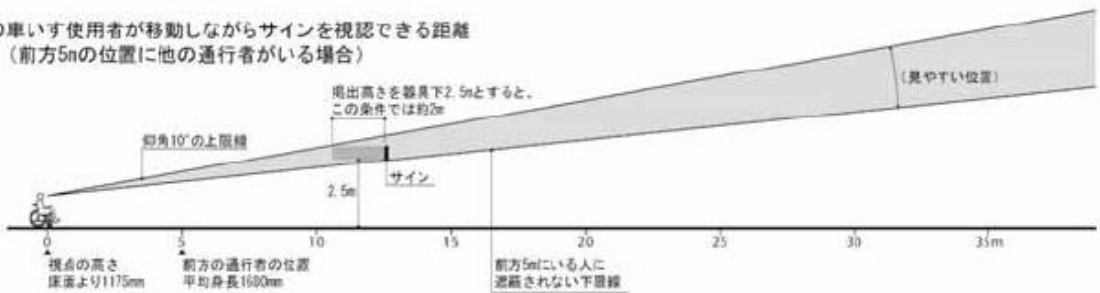


■車いす使用者に配慮した案内サインの表示高さの設定

○歩行者が移動しながらサインを視認できる距離  
(前方5mの位置に他の通行者がいる場合)



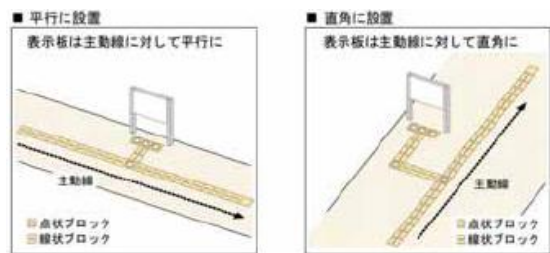
○車いす使用者が移動しながらサインを視認できる距離  
(前方5mの位置に他の通行者がいる場合)



■車いす使用者に考慮した誘導サインの表示面高さの設定

例2) サインの設置方向

点字ブロックのある歩道上に設置する場合の公共サインの方向とブロックでの誘導の方法を図説している。



■点字ブロック脇での設置例

●景観への配慮

周辺景観を阻害しないシンプルなデザインとすること、公共サインをできる限り集約すること、周辺事業者の協力を得てサインの視認性を確保することなどが配慮事項として挙げており、シンプルですっきりとしたサインを目指している。

### <基準の特徴>

#### ●幅を持たせた基準値の設定

基準値を一通りに決めるのではなく幅を持たせることにより、その場に応じた選択が可能となっている。

#### 例 1) 使用書体

可読性の高い書体として、和文はゴシック体・欧文書体はサンセリフ系を紹介している。ただし特定のフォントを指定することなく、文章の場合は明朝系・雰囲気を変えたいときは丸ゴシック系など、場合に応じた書体を選ぶこととしている。

#### 例 2) 案内サインに掲載する地図の縮尺と範囲

案内サインに掲載する地図は範囲の広さの違いにより地域案内・周辺案内・広域案内の3段階を基本としているが、それらの縮尺と表示範囲の数値には幅を持たせ、場に応じて決めるようになっている。

・地域案内マップ（歩行圏を分かりやすく案内する）
・周辺案内マップ（縮尺1/1000～5000[1～2km四方]）
・広域案内マップ（縮尺1/5000～20000[5～10km四方]）

#### ■案内マップの縮尺と範囲

#### ●基準の考え方の説明

基準だけでなく、その基準に至った理由や考え方を詳しく説明している。

#### 例 1) 文字の大きさ

文字の大きさは、利用者の視距離を想定した上で選択することとして、誘導サインと案内サインそれぞれに視距離を設定し、それに応じた文字高の目安を示している。

また、和文の文字サイズに応じて、併記する英文とピクトグラムをの大きさを決めることとしている。（図記号：和文字：英文字＝3：1：0.75）

視距離の設定
・一般的な誘導サインは15mを基準とする
・遠くから視認する誘導サインや位置サインは20m以上
・近くから認識する案内サインなどは4～5m以下
・案内サインの見出し等は10m程度を想定する

表 視認距離別文字高の目安

視認距離	案内用図記号の基準寸法	和文の文字高	英文の文字高
遠距離（40m）	480mm以上	160mm以上	120mm以上
遠距離（30m）	360mm以上	120mm以上	90mm以上
中距離（20m）	240mm以上	80mm以上	60mm以上
近距離（10m）	120mm以上	40mm以上	30mm以上
近距離（5m）	60mm以上	20mm以上	15mm以上
至近距離（1～2m）	35mm以上	10mm以上	7mm以上

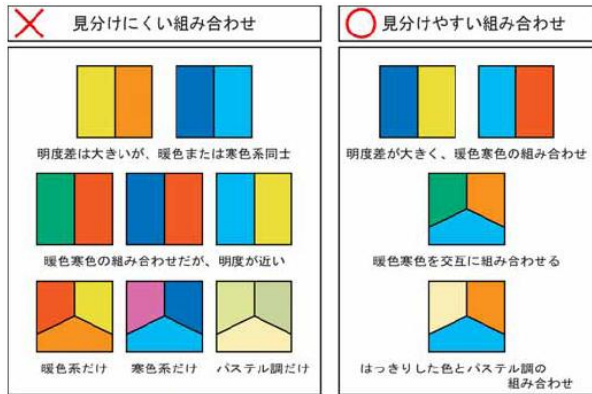
※出典元 交通エコロジー・モビリティ財団「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」

#### ■視距離の設定と文字高の目安

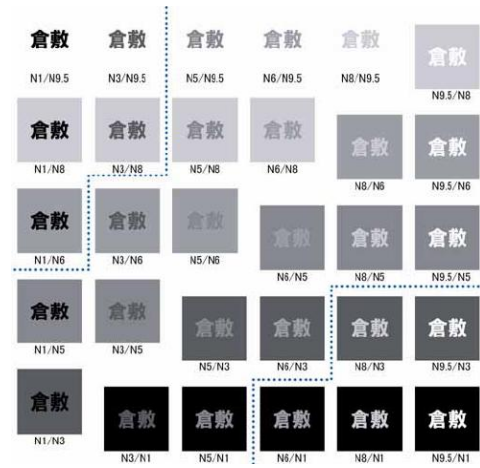


## 例 2) 色彩

具体的な色彩設定は行わず、高齢者や白内障、色覚障害の人が利用する場合に配慮して、色の組み合わせ・明度・配色を決めるよう説明している。色の組み合わせについては、見分けにくい組み合わせと見分けやすい組み合わせを図説し、見分けにくいものは避けることとしている。明度については、見やすさを確認できるように一覧表で示した上で、明度差が5以上となるように配慮することとしている。



■色覚バリアフリーに配慮した色の組み合わせ



■明度差の説明

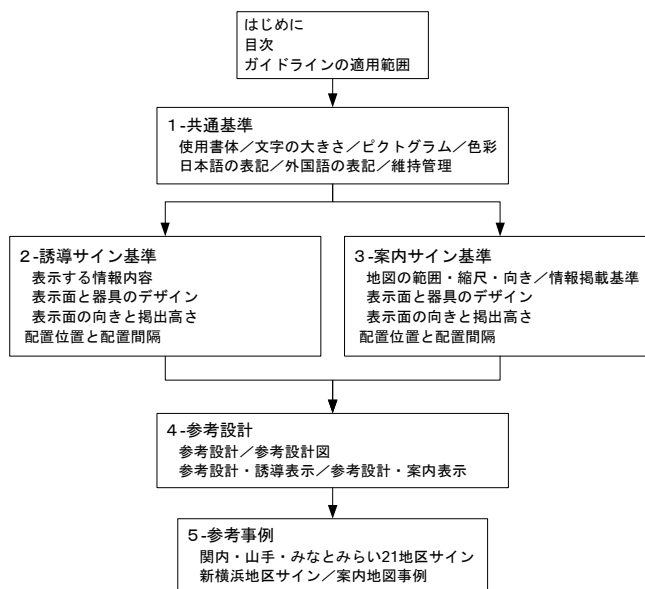
### ③横浜市公共サインガイドライン（改訂版）[平成 15 年 3 月策定]

#### i) 構成

サインシステムや基準の考え方などの説明を章立てとして設けていない点が、他のガイドラインの構成と違う特徴である。

1章で案内サイン・誘導サインに共通する基準について説明し、2～3章では、それぞれの公共サインの基準を説明している。

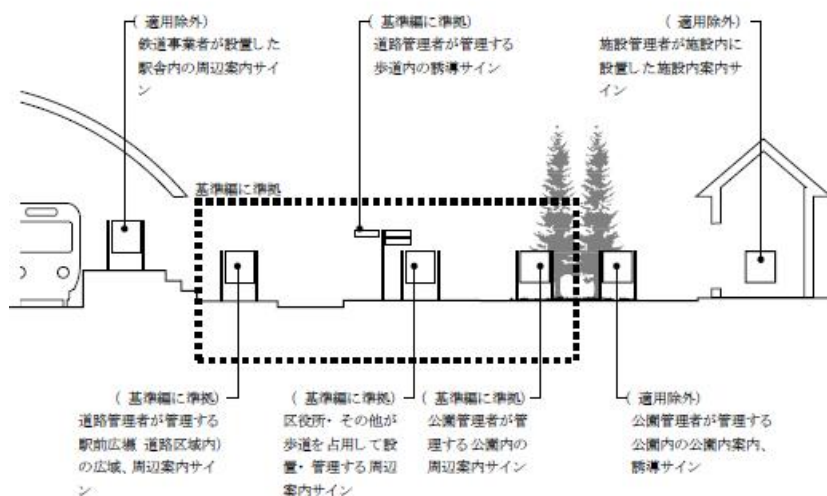
4章では、それらを踏まえた上で、具体例として参考設計の詳細な設計図・レイアウト図を示している。ただし、これはあくまでも参考であり、地区の個性と魅力を高めるために他のデザインを採用する場合の参考例として、5章で市内3地区の事例を取り上げている。



#### ■ ガイドラインの構成

#### ii) ガイドラインの対象

ガイドラインの適用範囲は、「交通旅客施設、道路施設、公園施設として設置管理される案内・誘導サイン」となっているが、「一つのまとまりとして独自のサインシステムを用いたほうが効果的と思われる」公共サインについては適用範囲から除外されている。



#### ■ ガイドラインの対象

### iii) ガイドラインの特徴

他のガイドラインに見られるような方針の説明など考え方の部分は、章の項目としては一切設けられておらず、最初から具体的な基準の説明を始めるシンプルな構成になっている。

説明文は少なめで、図による説明が多い。また、参考設計と参考事例に 20 ページを割いており、具体的な説明が多い。ただし、設計はあくまでも参考であり別のデザインを採用することも可能な点、地区独自のサインシステムを用いたほうが効果的な場合はガイドラインの適用外にできる点など、拘束力はそれほど強くせず自由度を持たせている。

自由度を持たせる理由として、「地区の個性と魅力をより高めるため」という表現が何度も出てきており、地区ごとに独自のデザインを採用することが可能となっており、地域性を重視したガイドラインとなっている。

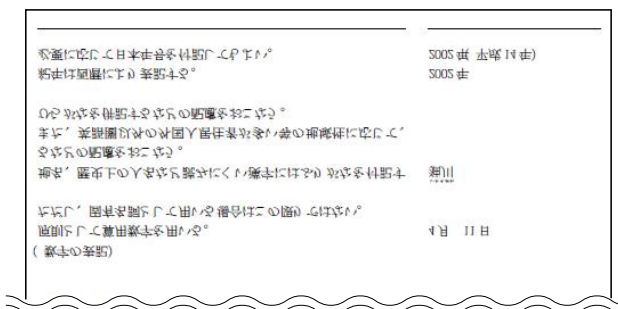
#### <基準の特徴>

##### ●具体例や図が多い説明

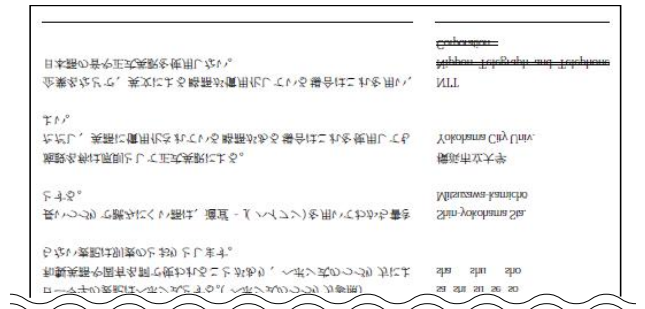
1 ページにつき 1～2 枚の挿絵を用いて視覚的に説明しており、具体例も多い。その分、説明文は短いものが多い。

#### 例 1) 表記方法

サインの表示内容を簡潔にするため必要に応じて簡略化する場合は表記方法を統一することとしており、そのための基準と具体例が示されている。また、ローマ字での表記も統一するようにつづり方が記載されている。



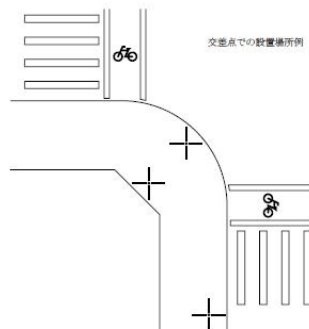
■日本語表記の基準と表記例



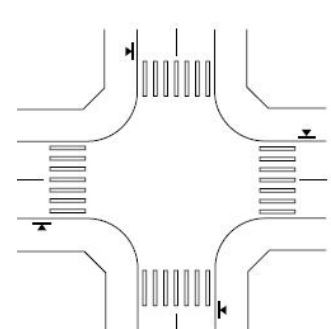
■外国語表記の基準と表記例

#### 例 2) 配置位置の図説

誘導サインや案内サインの交差点での配置場所を模式図を使って説明している。



■誘導サインの設置場所



■案内サインの配置

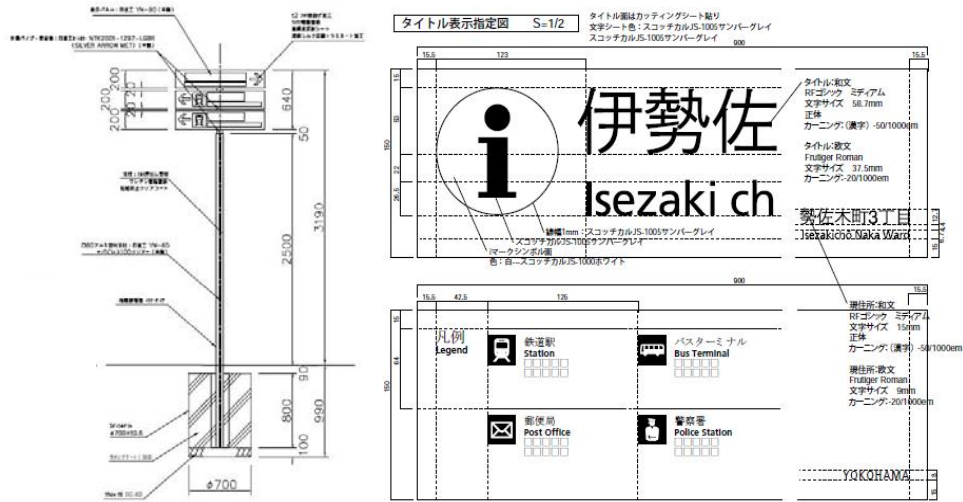
●参考設計

「横浜市ストリートファニチャー標準設計」の設計思想に準拠した参考設計を提示している。ただし、このデザインはあくまでも参考であり、「地区の個性と魅力をより高めるために」その地区にあったデザインとして、参考設計以外のものを採用することも可能となっている。



■案内サインのデザイン ■誘導サインのデザイン

参考設計図には、寸法のほか素材・色・レイアウト等が詳細に記載されている。

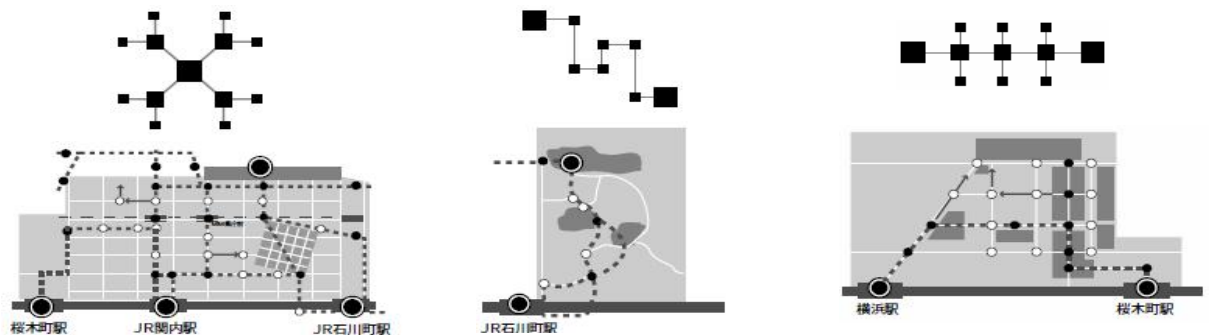


■誘導サインの設計図

■案内サインの表示指定図

●参考事例

参考設計以外のデザインを採用する際に参考となるよう、市内の事例を取り上げている。各事例の中では公共サインのデザインのほか、サインシステムの構成やその考え方についても紹介されている。

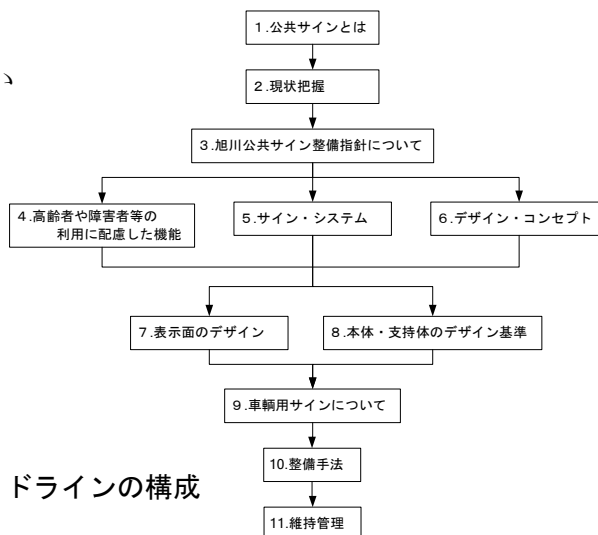


■関内・山手・みなとみらい21地区のサインシステム

## ④旭川市公共サイン整備指針（改訂版）[平成 15 年 3 月策定]

### i) 構成

1～6 章は、ガイドラインの方針や基本的な考え方に関する章で、ほかのガイドラインには見られない項目としては、現状把握（2 章）、サイン・システム（5 章）などがある。公共サインの役割を「機能・システム・デザイン」の 3 つに分け、4～6 章で、それらについて説明している。その後 7～8 章で、具体的なデザインについて設計図を用いて詳細に決めている。



### ii) ガイドラインの対象

公共サインの定義を「標識、地図、案内誘導板等の総称で、公的機関が公共空間に設置するもの」としており、市が設置するものだけでなく国や道が設置する公共サインも対象としている。

公共サインには、定点機能・誘導機能・案内機能・説明機能・規制機能の 5 種類があり、これらの機能を組み合わせることで、場所に応じた公共サインの類型を行い(5 章)、その類型ごとにデザインの説明を行っている(7,8 章)。

### iii) ガイドラインの特徴

方針やコンセプト(特にサイン・システムについて)多くのページが割かれているのが特徴の一つとして挙げられる。また、公共サインの基本モデルのデザインについては、構造・表示面デザイン共に設計図付きで細かいところまで決められている点が他にない特徴といえる。

設計図の中でサイズやルールが具体的に決められているため、他のガイドラインでは小項目を設けて説明しているような縮尺・表記ルール・文字高といった項目は省略されており、レイアウト図の中でまとめて説明されている。

#### <現状把握>

平成 14 年にピックアップ調査を行い、設置位置による視認性の問題や劣化による判読性の低下が見られた。また、課題として公共サインのネットワークシステムの必要性、デザインの一貫性の必要性が挙げられている。

#### <サイン・システム>

サイン・システムの構築を図るため、想定される移動ルートとサインの設置場所の方針が必要とし、起点とルートの設定を行い、モデルの検討をしている。

#### ●ルートの想定

サイン・システム構築のために、まず、誘導対象施設の配置状況を把握し相互に結ぶ移動ルートを想定することが必要とし、ケーススタディとして、

都心部のルートのご想定を行っている。また、旭川駅のような交通体系上の拠点となる施設を「重要誘導施設」として、案内誘導システムにおける中核的な役割を与えることとしている。

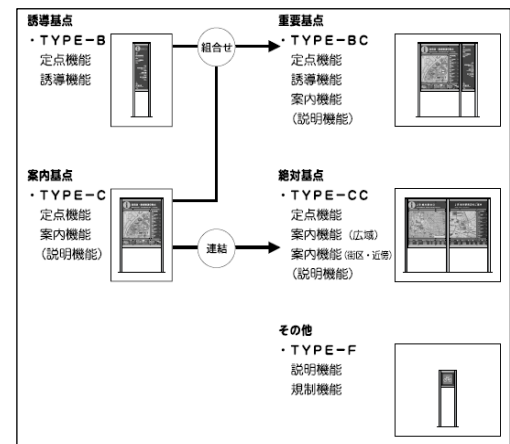
### ● 基点の設定

公共サイン配置の指標となる地点として公共施設や広場、交差点などを公共サインの設置場所候補として基点に設定している。基点には、絶対基点・重要基点・案内基点・誘導基点の4タイプがあり、基点の種類ごとに必要な公共サインの機能・表示内容が異なる。この基点の分類をもとに、公共サインのタイプを5タイプ（4種の基点用+説明サイン用）に類型している。

基点	必要な機能	表示内容（北彩都地区の場合）	設置場所（北彩都地区の場合）
絶対基点	定点 案内（広域図） 案内（街区図・近傍図） （説明）	現在地 旭川市全域案内図 旭川駅周辺案内図 （北彩都全体を含む） 主要施設の多言語表記	JR旭川駅北口
重要基点	定点 誘導 案内（街区図・近傍図） （説明）	現在地 周辺500m四方の案内図 主要施設の誘導案内 周辺情報（オプション）	JR旭川駅南口 シビックコア円環状広場 多目的広場出入口付近
案内基点	定点 案内（街区図・近傍図） （説明）	現在地 周辺500m四方の案内図 周辺情報（オプション）	街角広場 ポケットパーク 芝生広場 駐車場
誘導基点	定点 誘導	現在地 主要施設の誘導案内	遊歩道沿い 遊歩道結節点 交差点付近
その他	説明 規制	各種規制・説明	必要に応じて

■各基点の機能と表示内容

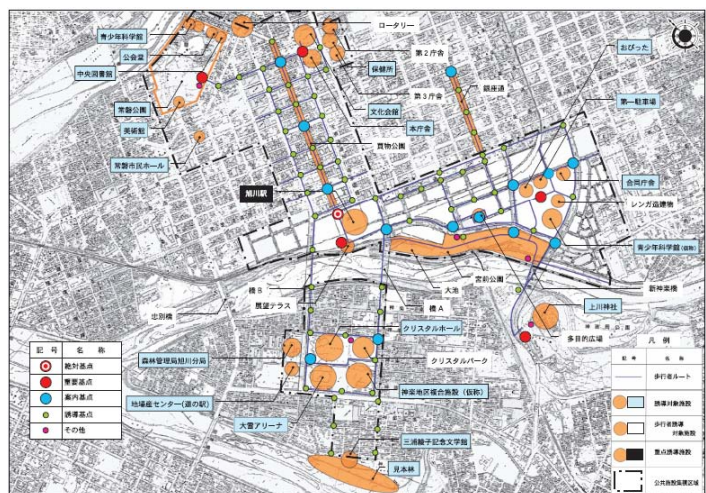
5タイプのうち、2タイプは2種類の機能を集約した形（誘導+案内、案内+案内）をしており、公共サインを集約する際の組み合わせ方まで決定している。



■サインの類型

### ● モデル検討

都心部周辺・北彩都地区の2箇所において、ルートと基点を検討しており、公共サインの配置案が示されている。



■都心部周辺のサイン配置案

## <レイアウト設定>

表示面サイズ・文字高・マージン・表記ルールなどを詳細に設定している。他のガイドラインでは項目を設けて説明されている文字高や表記ルールについて、個別の項目を設けずにレイアウト図の中に記載されているサイズに倣うこととしている。



■案内サインのレイアウト

④TYPE-B

(a) 表示面サイズ 高=1,220mm 幅=360mm  
 (b) マージン 上下=20mm 左右=25mm  
 (c) iマーク:直径150mm  
 (d) 現在地表記  
 日本語:文字高=25mm (書体=ゴシック体W9・90%)  
 英語:文字高=13mm (書体=ゴシック体W7・80%)  
 (e) 矢印:サイズ=75mm  
 (f) 誘導案内表記  
 日本語:文字高=34mm (書体=ゴシック体W9・100%)  
 英語:文字高=18mm (書体=ゴシック体W7・80%)  
 (g) 距離:文字高=26mm (書体=ゴシック体W9・80%)  
 (h) グループ間隔:52mm以上(※必ず均等割付とする)  
 (i) 表示制限  
 案内施設数=6つまで  
 グループ数=3つまで  
 (j) 表示ルール  
 ・前進、左折、右折、後退の順に、方向ごとに案内目標をまとめる。  
 ・右折のグループに限り、全ての文字列を表示面右側に揃える。  
 ・誘導案内の表示は、原則として現在地からの距離が近い順に上から表示する。  
 ・それぞれの案内目標は、日本語施設名、英語施設名、距離の順とし、日本語と英語、英語と距離は改行する。  
 ・日本語施設名が表示面の幅を超える場合は、文字幅を75パーセントまでの範囲で調整し、さらに縮小が必要なときは、判読性に配慮して改行する。  
 ・英語施設名が表示面の幅を超える場合は、文字幅を70パーセントまでの範囲で調整し、さらに縮小が必要なときは、単語で区切り改行する。  
 ・全ての文字間隔と改行幅は、右図を参考に判読性に配慮し任意とする。  
 ・英語表記は原則として「あさひかわ英語表記ガイドライン(旭川市国際交流委員会編集・発行)」に準拠する。  
 (k) 類型別ルール  
 ・TYPE-B Cの場合は、iマークと現在地を表記しないで、一番上の誘導案内表記を表示面上端から20mmの位置とする。  
 (l) TYPE-B Cで補足情報を表示しない場合のサイズ 高=1,050mm 幅=360mm

南1条通16丁目  
Miyamae 1-jōri 16-chōme

青少年科学館  
Youth Science Museum  
000m

レンガ造建物  
Brick Building  
000m

障害者福祉センター  
Welfare Center  
000m

合同庁舎  
Government Building  
000m

第1駐車場  
Parking Lot 1  
000m

第2駐車場  
Parking Lot 2  
000m

円環状広場  
Circle Park  
000m

芝生広場  
Grass Park  
000m

JR旭川駅  
JR Asahikawa Station  
000m

SCALE: 1/5

■誘導サインのレイアウト

## <構造デザイン>

一般的に設置される支持体のデザインとして基本モデルを設定し、設計図によって寸法を詳細に決めている。基本モデルのデザインは、以前からの指針で用いられたシンプルなデザインを基調としつつ、支柱により側面から見たときのボリューム感を向上させて視認性を高めたデザインとなっている。

### 基本モデル



■基本モデルのデザイン

また、設置場所の環境や条件によって基本モデル以外の形態がふさわしい場合のために、3種類の別のモデルを作り、設計図を載せている。

基本モデル以外の3タイプには以下のような特徴を設けている。

- ・モデル1……基本よりもシンプルで、周囲になじみやすくしたタイプ
- ・モデル2……基本よりも構造体の存在感をなくし、表示面の視認性を高めたタイプ
- ・モデル3……基本よりも土台にボリュームを持たせ、サイン自体の視認性を高めたタイプ

また、設置場所に応じて、他の構造物との共架や壁面への設置、背面のデザインなどについて、バリエーション展開することを認めている。



■モデル1のデザイン

■モデル2のデザイン

■モデル3のデザイン

### < 基準の特徴 >

#### ● 詳細な基準の設定

各項目について、詳細にサイズ等が決められており、場所に応じて変更可能なものは、アクセント色や仕上げ法などに限定されている。

#### 例1) 色彩設定

表示面や文字色のほか各要素について詳細に（例えば道路なら、国道・高速道路・道道・一般道それぞれの色を指定）設定されている。また、アクセント色については、エリア別に違う色を採用することとしている。

#### 例2) 書体設定

距離表示・施設名・凡例など、使う場所ごとに使用書体が細かく決められている。

共通	表示面	79x20	著作権者：社団法人日本道路工学会・DMR
誘導	文字	79x35	情報シンボルマーク等
案内	地図案内表示面：広域図に表示される要素	道路	住所表示・矢印等
	スケール誘導	79x35 (アクセント色)	74.5x70 (アクセント色)
	文字	C23 M55 Y34 K0%	標高200m未満の地域
	道路	C68 M70 Y0 K0%	標高200m~400mの地域
	緑地	C00 M20 Y45 K0%	標高400m~600mの地域
	河川名	C100 M50 Y0 K0%	標高600m以上の地域
	JR (路線)	C25 M50 Y100 K0%	その他の施設
	河川	C35 M10 Y0 K0%	その他 (1)
	河川	C35 M10 Y0 K0%	その他 (2)
	河川	C35 M10 Y0 K0%	その他 (3)
案内	地図案内表示面：街区図・近隣図に表示される要素	商業施設	公園
	公共施設 (市民センター系)	C15 M25 Y20 K0%	公園
	文字	C00 M0 Y0 K0%	公園
	公共施設 (市民センター系)	C25 M25 Y35 K0%	公園
	公共施設 (市民センター系)	C35 M30 Y0 K0%	公園
	公共施設 (市民センター系)	C45 M30 Y0 K0%	公園
	公共施設 (市民センター系)	C55 M30 Y0 K0%	公園
	公共施設 (市民センター系)	C65 M30 Y0 K0%	公園
	公共施設 (市民センター系)	C75 M30 Y0 K0%	公園
	公共施設 (市民センター系)	C85 M30 Y0 K0%	公園
案内	地図案内表示面：地図内に表示される要素の縮取り図	公園	公園
	公園	C00 M0 Y0 K0%	公園
	公園	C10 M10 Y0 K0%	公園
	公園	C20 M20 Y0 K0%	公園
	公園	C30 M30 Y0 K0%	公園
	公園	C40 M40 Y0 K0%	公園
	公園	C50 M50 Y0 K0%	公園
	公園	C60 M60 Y0 K0%	公園
	公園	C70 M70 Y0 K0%	公園
	公園	C80 M80 Y0 K0%	公園
案内	(現在地表示面)	文字	79x35
	文字	79x35	情報シンボルマーク等
	文字	79x35	74.5x70 (アクセント色)
	文字	79x35	74.5x70 (アクセント色)
	文字	79x35	74.5x70 (アクセント色)
	文字	79x35	74.5x70 (アクセント色)
	文字	79x35	74.5x70 (アクセント色)
	文字	79x35	74.5x70 (アクセント色)
	文字	79x35	74.5x70 (アクセント色)
	文字	79x35	74.5x70 (アクセント色)

■色彩設定

案内図内表示

施設名：ゴシック体W9 (基準100%)

**青少年科学館 障害者福祉センター**

地域・河川名：明朝体W7 (基準100%)

**神楽 緑が丘 牛朱別川 忠別川**

スケール：ゴシック体W5 (基準100%)

0 1 2 3 4 5 km

グリッド凡例：ゴシック体W9 (基準100%)

**0 1 2 3 4 5      A B C D E**

■案内図の書体設定

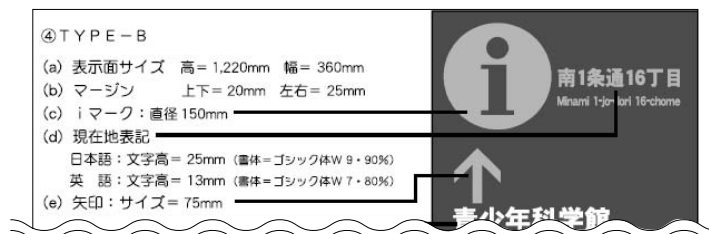


## ●基準の説明をレイアウト図に集約

書体・ピクトグラムなどの基準については、それぞれ個別に説明しているが、レイアウトに関係する基準（文字サイズ・表示面サイズなど大きさに係ること）については、レイアウト設定図に詳細に記載されているため、これらの項目は個別には設けられていない。

### 例 1) 文字サイズ・マージン

文字サイズやマージンなど、サインのタイプごとにレイアウト図を用いて説明している。



■レイアウト設定図での文字高・マージン等の指定

### 例 2) スケール

案内サインのスケールについては、特に記載されていないが、表示面サイズと地図に載せる範囲が決められているため、実質的にスケールも決まっている。

## ⑤横須賀市サインデザインマニュアル[平成 14 年 7 月改訂]

### i) 構成

構成は大きく以下の 4 つに分かれる。

《理念編》サイン計画の考え方・整備の基本ルール

《基準編》体系的なデザイン条件

《維持管理編》維持管理プログラム

《資料編》障害者や外国人への対応の考え方・関係資料

昭和 62 年に策定された「横須賀市サインデザインマニュアル」をバリアフリーや国際性等の視点から整備指針の見直しを行なったものであるが、バリアフリー・国際性等の視点は、理念編ではなく資料編に盛り込まれている。

### ii) ガイドラインの対象

市が設置する全てのサインを対象としており（ただし、関係法令による規定があるものを除く）、対象となる区域とサインの種類は以下のとおりである。

対象区域…市内全域の道路・広場等の公共用地、公的な性格を有する敷地を対象とする。

サインの種類…案内・誘導サイン／交通機関係サイン／解説サイン／禁止規制サイン／防災サイン／広報用サイン

### iii) ガイドラインの特徴

マニュアルに規定するサイン整備については以下の 2 つの場合を想定しており、標準タイプサインについては詳細な基準が示されている。

#### ○標準タイプサイン

サインの基本的なルール化を図るために設定された標準的タイプのサイン。一般的な市街地での標準的な整備に対しては、このタイプをもとに整備を行なう方針としている。

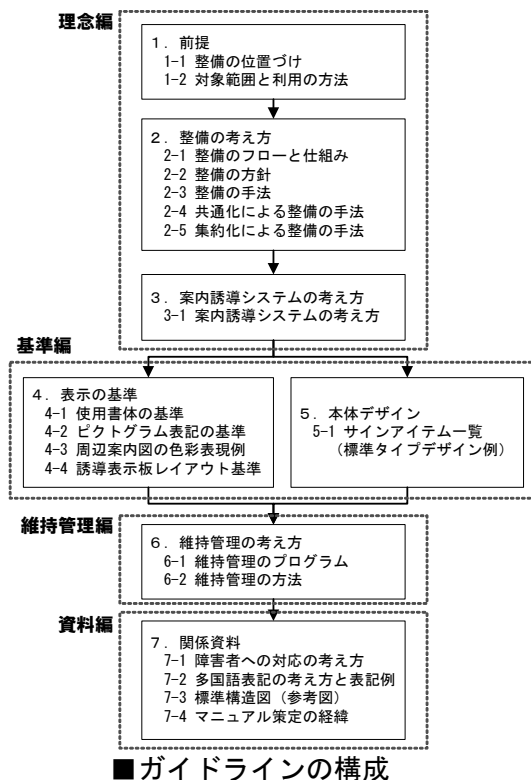
#### ○個別タイプサイン

マニュアルで規定されない特別な基準が必要な場合や、個性化・演出性を持たせる必要がある場合などに、マニュアルを元に地区独自の基準を設定して整備されるサイン。

#### <方針の特徴>

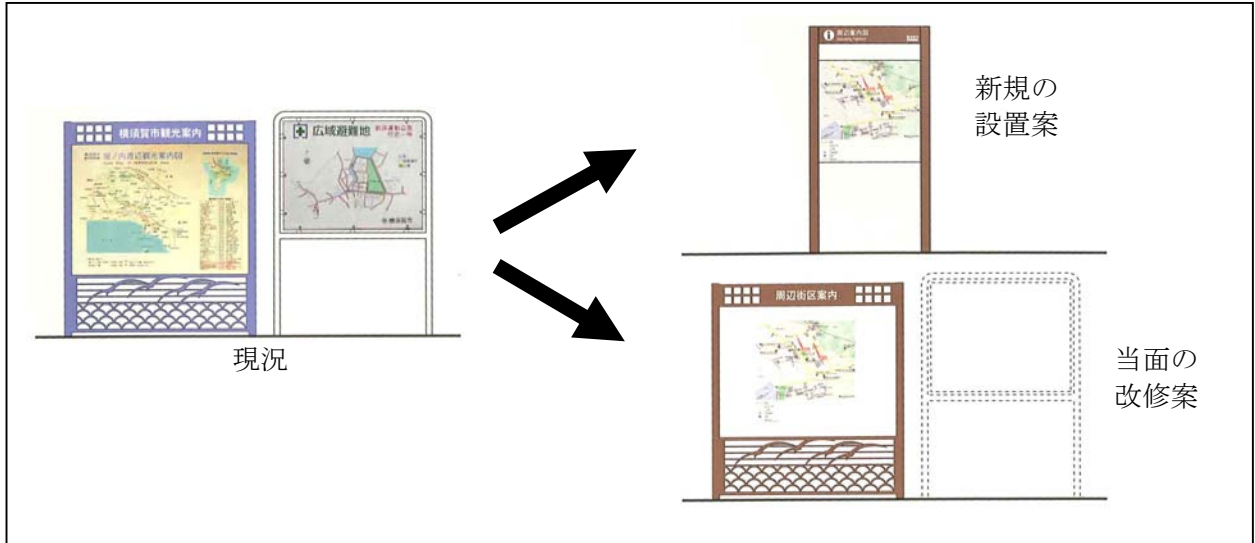
##### ●整備のフローと仕組み

整備計画から整備の実施、維持管理までのフローが、標準タイプと個別タイプそれぞれに示されており、個別タイプについてはフローの中で「都市デザイン懇話会」の助言や、「美しいまちづくり推進委員会」による検討を受けることを位置づけている。



●整備の方針・整備手法

多種多様なサインが乱立している現況に対し「共通化」（複数のサインのデザインを共通化する）と、「集約化」（隣接している複数のサインを一箇所にあつめる）を行うことで対応することとしている。整備手法については、共通化・集約化を行った際の新規の設置案を示すほか、共通化・集約化が不可能な場合のために、当面の改修案も示している。



■集約化による整備の手法

●案内誘導システムの考え方

駅等の大拠点で総合的な情報提供を行い、目的地に近づくにつれて情報を絞り込む考え方を基本としている。

<基準の特徴>

●表示の基準

書体やピクトグラムの使用基準が示されているほか、周辺案内図の色彩や誘導表示板のレイアウトは標準タイプとして詳細に設定された例が載っている。



■周辺案内図の表示例

表示要素	色番号 C%-M%-Y%-K%
海	20-10-0-0
市街地	0-0-0-0
緑地	30-0-30-0
等高線（低）	3-0-3-0
等高線（高）	21-0-21-0
等高線ライン	32.4-26.4-21.6-0
鉄道駅	0-10-20-0
鉄道駅ワク	39.7-33.5-27-0

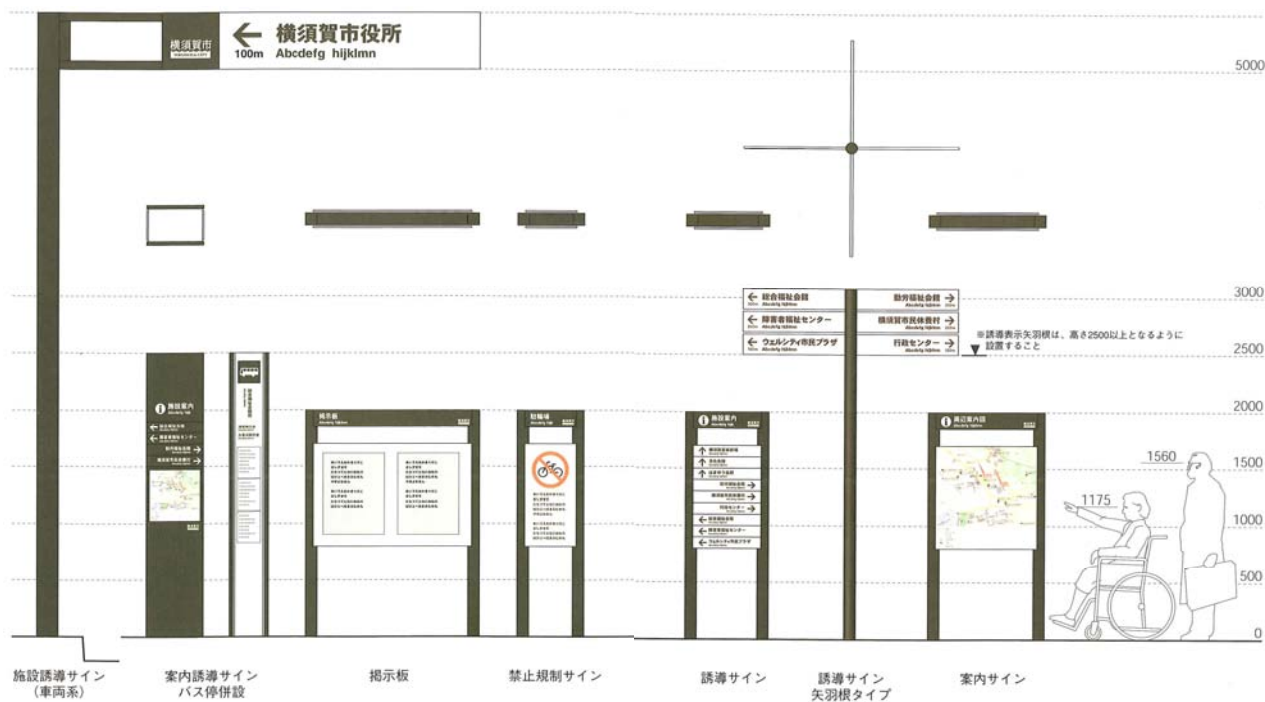
■周辺案内図の色番号指定  
(一部抜粋)



■誘導表示板レイアウト例

● 本体の基準

標準タイプのデザイン例を示し、板面の高さや、本体の色彩を設定している。



■ 標準タイプサイン デザイン例

< 障害者への対応の考え方 >

● 視覚障害者への対応

点字・触知図・音声サインなど、多様な情報提供法の中から場所に応じた最も有効な手法を選択することとし、弱視者に対しては色のコントラストや書体、文字の大きさに配慮することとしている。

また、計画の実施に際しては、地元の障害者団体等にヒアリングを行い、試作品によるモニタリングなども合わせて実施していくこととしている。

● 車いす使用者への対応

「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」を参考に、車いす動線の確保、サインによる利便施設（車いす用トイレ等）の情報提供、サインの設置位置の配慮などを挙げている。

< 多国語表記の考え方と表記例 >

全ての表記を多国語とすると複雑になってしまうことから、和英併記を基本としながら必要性の高い特定の施設（駅やバスターミナル、公衆トイレ、エレベーターなど）のみを多国語表記するものとしている。

⑥小田原市公共サインデザインマニュアル[平成11年5月策定]

i) 構成

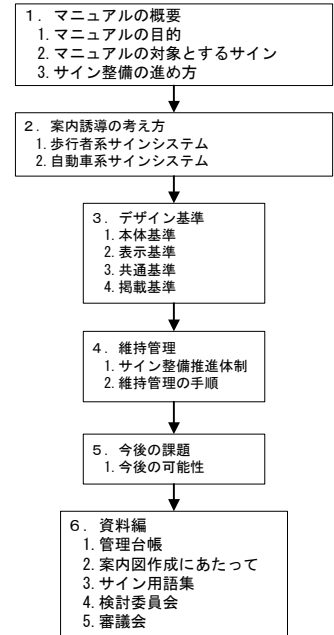
目的→考え方→基準→維持管理→今後の課題と、シンプルな構成になっている。

サインシステムについて個別に章立てをし(2章)、配置位置や設置位置の考え方について説明している点や、今後の課題について章を設けている(6章)点が特徴になる。

ii) ガイドラインの対象

以下の公共サインを対象としている。歩行者系サインだけでなく、自動車系サインについても取り上げているところに特徴がある。

また、例示サイン(記名サイン、説明サイン、規則サインなど)については、参考例を示した上で、状況に応じて変更を加えてもよいこととしている。



■ガイドラインの構成

歩行者系サインの種類	設置場所と表示する情報
案内・誘導サイン 起点サイン	<設置場所> 歩行者の起点となる駅前広場・公共駐車場・歩行者出入口等 <情報> 小田原市全域案内表示・周辺案内表示(設置場所からの歩行圏)・小田原みどころ案内表示・公共施設の方向を示す誘導表示 背面は周囲の状況に応じ、景観に馴染む表示を行なう。
拠点サインA	<設置場所> 主に中心市街地(※)や、公共施設が集中するエリアの主要な交差点・主要な施設前等 <情報> 周辺案内表示(設置場所からの歩行圏)・公共施設の方向を示す誘導表示 背面は周囲の状況に応じ、景観に馴染む表示を行なう。
拠点サインB	<設置場所> 主に中心市街地や、公共施設が集中するエリアの主要な交差点・主要な施設前等 <情報> 周辺案内表示(設置場所からの歩行圏)背面は周囲の状況に応じ、景観に馴染む表示を行なう。
誘導サイン 施設誘導サイン	<設置場所> 原則として目的施設に近接する幹線道路までの一般道分岐点・誘導動線上必要な分岐点および場所へ設置 <情報> 公共施設の方向を示す施設誘導表示
例示サイン 記名サイン 壁付式施設記名サイン(歩車共用)	<設置場所> 歩行者の見やすい施設の入口の壁面または、建壁面に設置 また、状況に応じて自動車への視認性に配慮した位置に設置 <情報> 公共施設の名称
説明サイン 説明サイン	<設置場所> 不特定多数の利用者に対し、史跡・文化財施設前など説明の必要と思われる場所 <情報> 当該施設の説明・解説文
規制サイン 規制サイン	<設置場所> 公共区間において歩行者への注意、規制を促す必要のある場所 <情報> ピクトグラム(絵文字)、説明文

■ガイドラインの対象

自動車系サインの種類	設置場所と表示する情報
案内・誘導サイン 記名サイン 市境記名サイン 主要幹線道路タイプ・幹線道路タイプ	<設置場所> 主要幹線道路タイプは国道などの主要幹線道路の市境付近に設置 幹線道路タイプは県道などの幹線道路の市境付近に設置 <情報> 「小田原市」の表示(表面) 近接する市町名(裏面)
誘導サイン 施設誘導サイン 汎用タイプ(1~2枚/3~4枚用)	<設置場所> 誘入分岐点(施設に向かった最後の曲り角)の手前までの幹線道路及び主要幹線道路上に設置する <情報> 施設の名称・施設の方向(矢印)・距離
施設誘導サイン オリジナルタイプ(1枚/2枚用)	<設置場所> 原則として誘入分岐点(施設に向かった最後の曲り角)へ最終的に設置する <情報> 施設の名称・施設の方向(矢印)・距離
施設誘導サイン 路側式施設誘導サイン(1~4枚用)	<設置場所> 原則的に設置しないが、上記施設誘導サインが設置できない場合のみ設置 <情報> 施設の名称・施設の方向(矢印)・距離
例示サイン 記名サイン 単柱式施設記名サイン(歩車共用)	<設置場所> 主に自動車の進入する施設の入口付近に設置 歩車ともに同一の入口となっている際も使用可 <情報> 施設の名称
通り名称サイン(歩車共用)	<設置場所> 当該道路の起点、終点および、その中間に一定の間隔を置いて千鳥状に設置 <情報> 通り名称のある道路名を表示 自動車及び歩行者に認識できるよう両面に表示

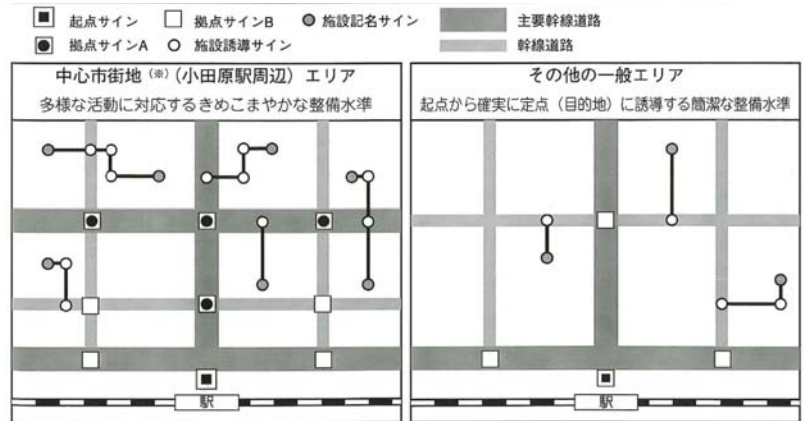
iii) ガイドラインの特徴

全体を通して、模式図や設計図を多く用い詳細な説明を行っている。

<歩行者系サインシステムの考え方>

●配置の考え方

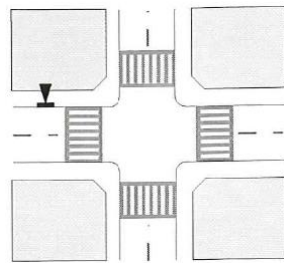
市を大きく2分し、中心街地エリアと一般エリアのそれぞれに配置の考え方を示している。



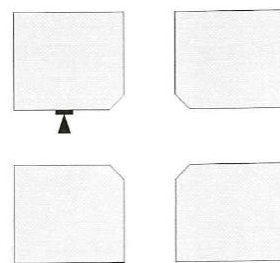
■歩行者系施設誘導サインシステムの概念図  
エリアの特性に応じた2つの整備水準の設定

●設置位置の考え方

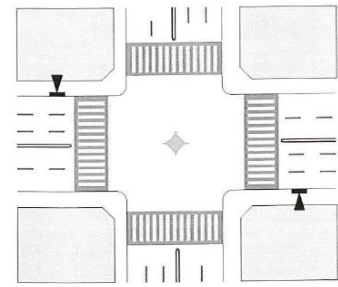
歩行者の行動特性を理解しつつ安全に配慮して設置することとし、特に交差点部と施設の導入部の設置位置については、概略図を用いて説明し、設置間隔と設置上の留意点を示している。



■歩道のある交差点の設置位置概略図



■歩道のない交差点の設置位置概略図

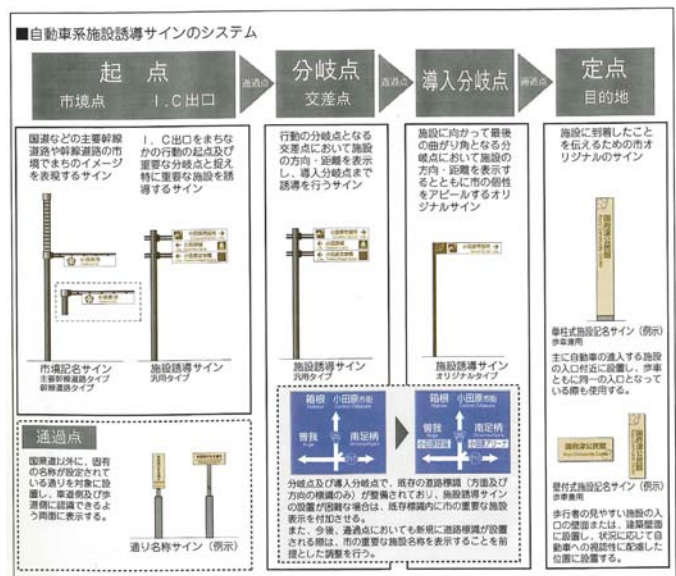


■その他大型交差点の設置位置概略図

<自動車系サインシステムの考え方>

配置場所を起点・分岐点・導入分岐点・定点の4段階に分類し、配置の考え方を示している。

設置位置については、進行方向左側の歩行者や自動車の障害とならない道路際とし、三叉路や四叉路の場合については、図を用いながら説明している。



■自動車系施設誘導サインのシステム

### <基準の特徴>

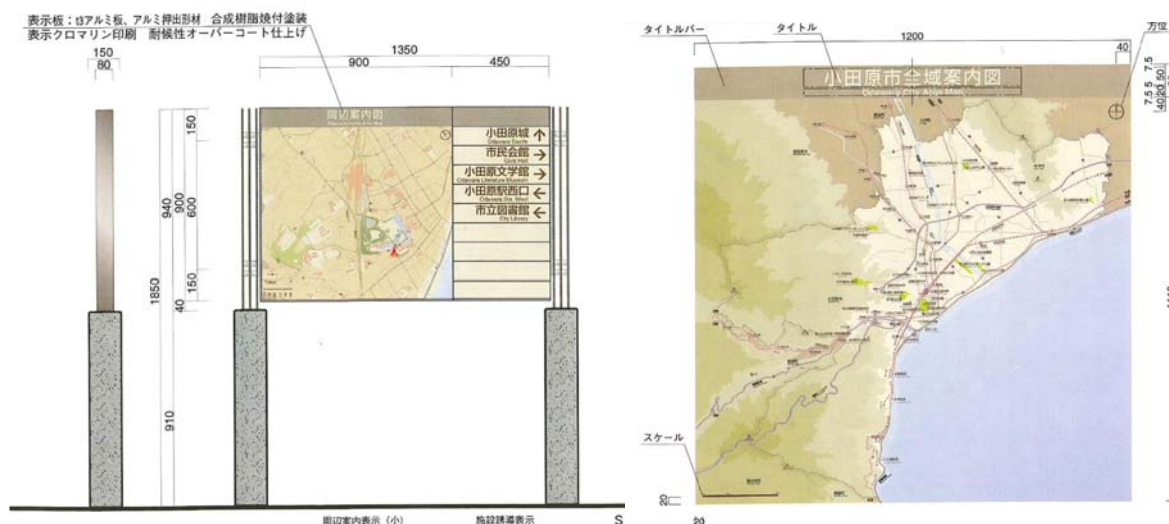
全体的に、設定図や数値基準等を用い具体的な基準を設定している。

#### ●本体の構造の基準

サインの種類別に図面を用いながら色彩・素材・寸法を数値基準等を用いて具体的に設定している。

#### ●表示基準

サインの種類別に、画面サイズ・表示範囲・縮尺・方位の向き・色彩・書体・文字高・レイアウトを具体的に設定している。また、例示サインについては、参考例を示した上で内容や状況によって変更しても良い箇所とマニュアルを遵守する箇所、注意点などを明記している。



■本体の構造の基準設定

■板面の表示の基準設定

#### ●自動車系サインの掲載基準

施設誘導サインの掲載基準を定めるために、施設の評価を行っている。評価方法はまず、施設管理者アンケート調査に基づき施設の利用頻度について点数による評価を行い、その点数に基づいて施設ランクを定めている。この施設ランクに応じて整備優先度や配置を決定する。

### <維持管理体制>

他市の事例に比べ維持管理体制について大きく取り扱っている。フロー図を用いながら、サイン整備の推進体制、維持管理の作業手順などを説明しているほか、補修の作業内容や管理台帳についても具体的に触れられている。

### <今後の可能性>

マニュアル内で配慮したものの、実際には個々に独自の考え方やシステムがある中で、それぞれの方向性に沿ったサインのあり方を別途検討すべき事項として、“防災”、“福祉”、“国際化”、“民間”との協働を挙げ、サインの今後の可能性を記述している。

## (2) 訪問調査

前項の事例調査の結果も踏まえ、公共サインガイドラインの策定における市内体制のあり方や策定後の推進の考え方などを把握することを目的に、旭川市、横須賀市に対する訪問調査を行った。

以下、それぞれの訪問調査の概要を示す。

### ①旭川市訪問調査

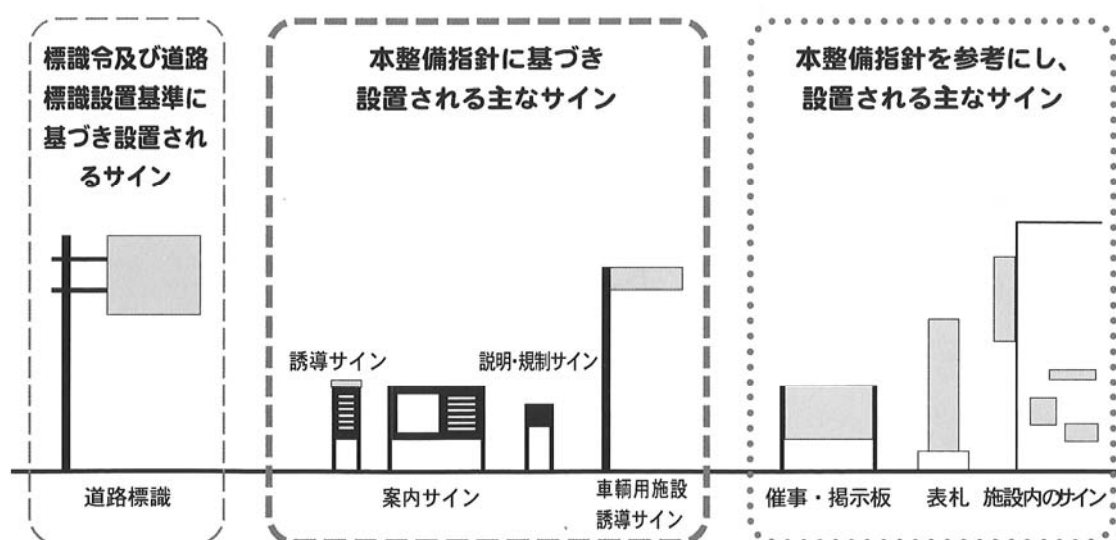
調査日時：平成 21 年 11 月 5 日～6 日

#### 《全体概要》

- ・平成 5 年度に策定した旧指針の改訂版である。
- ・サイン等の劣化が見受けられたが、表示面の印刷技術が進化したことを受け、改訂を行った。
- ・改定にあたっては、旧指針の良いところ（スレンダーな支柱などのシンプルなデザイン、部材の一部に木材を使用し、暖かみと木のまちな旭川の表現 など）は引き継ぐことを基本としている。
- ・個々のサインのあり方ということではなく、複数のサインをどのようにリンクさせるかというサインシステムのあり方に重点を置いている。
- ・新指針に基づくサイン整備は、市街地エリアではそれほど進んで状況ではなく、旧指針に基づくサイン類と新指針に基づくサインが混在している状況。
- ・駅東の「北彩都あさひかわ地区」で大規模な都市開発が進められている、この地区では、新指針に基き面的にサインの整備が行われている。
- ・市街地内においては「旭川市バリアフリー基本構想」に基づく道路整備の一部で公共サインの整備を実施した。

#### ●ガイドラインの基本構成

- ・指針の適用範囲をサインの種類、設置主体の別ではなく、設置場所（歩道や広場等の公共空間）に基づいて設定。



■ガイドラインの対象



- ・サインシステムの考え方にに基づき、移動ルートの想定と基点をきめ細かく設定。条・通りによる碁盤目状の都市構造を有する北海道の都市ならではの特色。
- ・想定された移動ルートについては、バリアフリー構想に基づく「生活関連経路」「バリアフリー促進経路」の位置づけからも合意が得られやすい状況があった。
- ・基点については、絶対基点（旭川駅）以外にも利用者数などをもとに柔軟に設定。
- ・各基点に設置するサインを類型として提示。各基点における案内図に掲出する要素についても指標を示している。

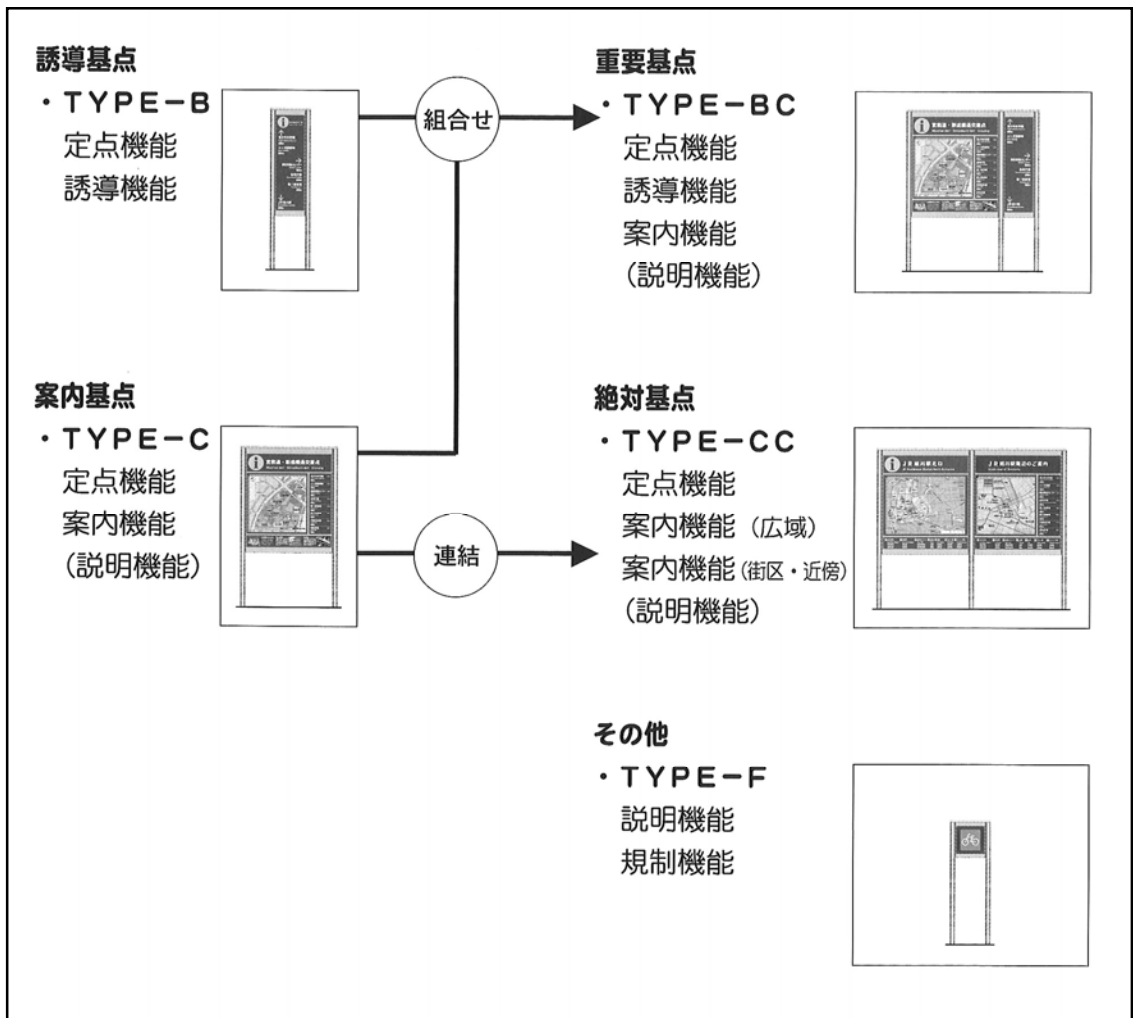
基 点	必要な機能	表示内容（北彩都地区の場合）	設置場所（北彩都地区の場合）
絶対基点	定点 案内（広域図） 案内（街区図・近傍図） （説明）	現在地 旭川市全域案内図 旭川駅周辺案内図 （北彩都全体を含む） 主要施設の多言語表記	JR 旭川駅北口
重要基点	定点 誘導 案内（街区図・近傍図） （説明）	現在地 周辺 500m 四方の案内図 主要施設の誘導案内 周辺情報（オプション）	JR 旭川駅南口 シビックコア円環状広場 多目的広場出入口付近
案内基点	定点 案内（街区図・近傍図） （説明）	現在地 周辺 500m 四方の案内図 周辺情報（オプション）	街角広場 ポケットパーク 芝生広場 駐車場
誘導基点	定点 誘導	現在地 主要施設の誘導案内	遊歩道沿い 遊歩道結節点 交差点付近
その他	説明 規制	各種規制・説明	必要に応じて

### ■案内起点の設定

#### ①広域図に掲出する要素一覧

項目	名称の表示	表示の補足基準	案内用図記号	備考
地勢	地勢 河川、山、自然公園区域 等			
	地域区分 地域の名称（豊岡、東光等）を表示			
	道路 国道、主要地方道、高速道路、バス路線となる道路、インターチェンジ名 等	国道、有料道路に行き先表示（至～）を表示		
	橋 主要な橋、観光名所となる橋 等			
交通機関	鉄道 全ての鉄道の路線名、駅名 等	駅は案内用図記号と名称を表示		
	バス バスターミナル 等	案内用図記号と名称を表示		
	空路 空港名 等	案内用図記号と名称を表示		
公園	主要な公園名 等	案内用図記号と名称を表示		街区公園より大規模な公園を図示
建物	公共施設 広範囲の不特定多数の人が利用する施設（市庁舎等）			
	公共的施設 公共的な要素を持っている重要な施設	案内用図記号の使用基準に該当する施設は、案内用図記号と名称を表示		

### ■広域図に掲出する要素



■サインの組み合わせの例

●推進体制

- サイン整備単独での予算獲得は難しい状況であり、当初はなかなか整備が進まなかった。
- 推進体制についても公共サイン整備だけを対象としては組織化はされていない。
- 「旭川市バリアフリー基本構想」に基づくまちづくりの中で、H19・H20にかけて道路特定事業計画を策定。この中の一項目として、歩行環境の向上として「情報発信の検討（歩行者用案内板の設置）」を位置づけたことで、サイン整備が進んだ。
- この計画づくりの際に、「旭川市バリアフリー基本構想連絡・調整委員会」が組織され、その中に「道路部会」を設置し、これが推進組織の役割を担ってきた。
- これに基づく道路整備が進んだところから、順次、新指針に基づくサイン整備を行っている。
- ただし、予算上は「サイン整備」という独立した項目出しはなく、道路整備の中に組み込まれている。

●維持管理

- ・サイン設置者が維持管理を行うことを基本。
- ・維持管理・更新を考慮して本体と表示面はビス留めになっており、取り外しての更新が可能な構造となっている。

●個別配慮事項（現地視察時の写真含む）

- ・旧指針に基づくサインでは、支柱一本でありサインの存在自体の視認性が低かったため、柱を2本にし、側面からも視認しやすいように配慮している。またiマークの掲載も行っている。
- ・地図方位について、旭川市では「反時計回り 45°」という地図表示が白地図作成段階で用いられているため、設置場所との関係もあるが、広域的な案内図は「反時計回り 45°」、500m四方の案内図では北を上にしてている。



■旧指針に基づくサイン



■新指針に基づくサイン

- ・地域性を出すことを目的として、北彩都エリア、都心駅前エリア、神楽エリアに掲出するサインのアクセント色を定めている。

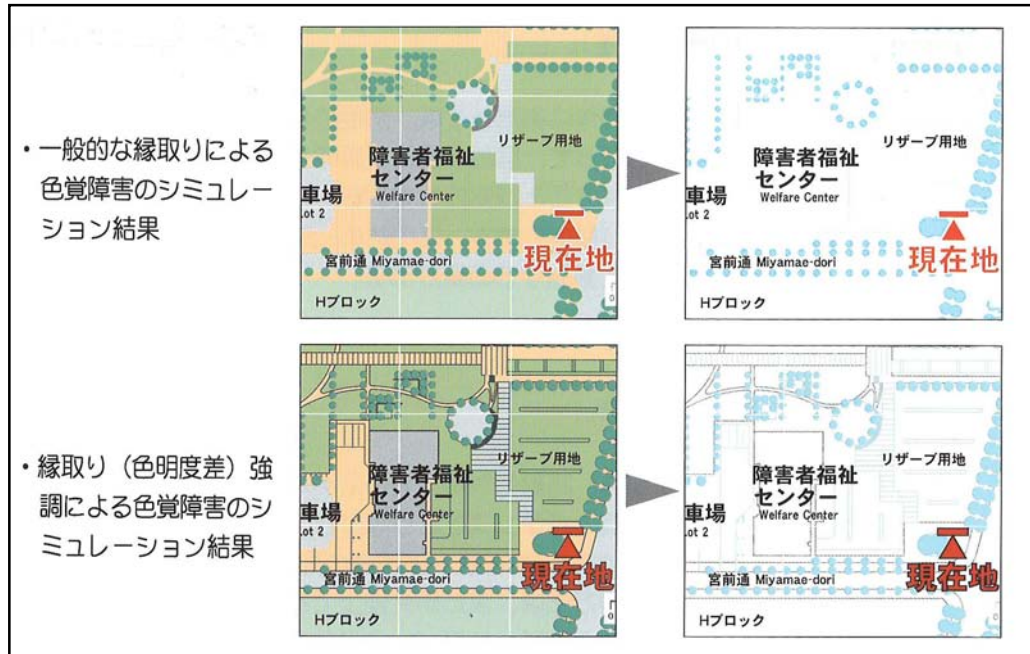


■北彩都エリア（緑系）



■神楽エリア（黄系）

- ・表示面については、縁取りを行うことで視認性の向上を図っている。



■表示面の縁取りの例

- ・パネル型の誘導サインについては、煩雑さを避けるため、案内施設は6箇所までという目安を設定。



- ・北彩都エリアでは、関係機関との協力によりサイン整備を実施



■他管理者の施設壁面を利用したサインと駐車場サインの統一

## ②横須賀市訪問調査

調査日時：平成 21 年 11 月 13 日

### 《全体概要》

- ・昭和 62 年に策定された旧マニュアルがあったが、その基づく公共サインの整備が金額的に高価なものになること、ロゴ・フォントのバリエーションが多く煩雑、外国語表記、板面の大きさ・高さの規定が無いなどの課題があったため、平成 14 年に旧マニュアルの見直しを行った。
- ・旧マニュアルで整備されたサインも多くあり、現在は混在している状況。
- ・統廃合や新規設置は予算面からも多くできる状況ではないため、旧マニュアルで整備されたサインの色の塗り替え、表記の変更などの改修により、出来る範囲で新マニュアルに沿うように対応している状況。

### ●庁内調整について

- ・旧マニュアルでは庁内調整のフローなどは無く、新マニュアルで策定した。
- ・改定に合わせてこれまでに 3 回説明会を開催した。改訂内容だけでなく、マニュアル全体の考え方の説明や、各課に配布してあるマニュアルのファイルを加除式にして気付かせるなどの工夫も行っている。
- ・次年度にサインを設置する課は必ず景観推進課に情報を入れるという体制は取っていないが、担当各課でわからないことがあれば景観推進課に相談するという意識を持ってもらうことが大切で、マニュアルについて各課で意識共有できれば様々な情報がマニュアルの主管課（景観推進課）に入ってくる。マニュアルの庁内浸透は容易ではないが、今後も浸透を図っていく。
- ・また、主管課としても各課からの設置予定情報を注意して収集し、そのつど協議を行っている。
- ・「サインの質的・量的な調整」を示しているが、具体的な協議項目を定めてはいない。担当課の考えに、+αのアドバイス（観光情報を載せたらどうかなど）を行っている。
- ・担当課から設計の相談があれば協力する。発注時の仕様書を作成するなどの協力も行う。
- ・協議の場が準備されるのは、複数課で 1 箇所に設置する場合。（例：J R 横須賀駅前の道路整備に合わせた、既存サイン（観光課の周辺案内、市民課の避難場所案内、美術館のサイン、京急バスのサイン）の集約化）
- ・統合型GISで各課が情報を入力するという事も考えているが、入力作業が膨大になり難しい。

### ●整備・管理にあたっての庁内各課の役割分担

- ・サイン整備に係る予算化は担当課で実施。古いものの更新だからといって予算がすぐ付くわけではなく、厳しい状況である。
- ・サイン整備が複数課にまたがるような場合、各課での予算獲得後、整備は単一の課で行うために、一つの課に配当替えを行うことはやっていない。

- ・複数の情報が掲載されるサインなどについての調整はケースバイケース。担当課からの相談があって、掲載情報のコントロール・マネジメントは景観推進課、整備は担当課。
- ・サイン設置にあたっての占用手続きや土地所有者への承諾手続きなども担当課で実施。
- ・複数課にまたがる場合の維持管理担当部署、維持管理費などもそれぞれの担当課で実施。
- ・教育委員会の文化財部局が設置する解説サインについては、個別対応。

#### ●維持管理・更新・撤去など

- ・維持管理等は設置課が担当している。年1回の点検も担当課で実施。
- ・サイン設置時に施行業者にデザインデータを納品を仕様書で明記している。これにより、次回更新時のデータ作成も軽減できる。
- ・維持管理のために管理台帳を作成している。担当課にとっては維持管理のため、景観推進課にとっては情報収集・データ集約の意味がある。
- ・実際のところは管理台帳の提出はうまく機能していない面もあり、改善策を検討している。
- ・管理台帳は紙ベースで整理している。地図上の位置プロットまでは行っていない。
- ・市内には広報掲示板が420基近くあるが、現マニュアルのデザインのものとは旧タイプに比べて金額を抑えられるデザインになっている。更新時には現マニュアルに沿ったタイプの方が旧タイプより金額的に安いことをアピールできるので予算が獲得しやすく、こういった事例を数箇所積み重ねることで、更新が進んだ。
- ・また、更新については、事故で補修が必要なものに保険を適用できるようにしたりしている。
- ・また、サインの構造タイプを複数示すことで、将来的に情報を増やす予定があれば設置段階からそれを見越したタイプを担当課が採用できるよう工夫している。
- ・不必要と思われるサインの撤去についても担当課で管理してもらっており、景観推進課でチェックすることは行っていない。

#### ●その他

- ・既成市街地等で設置スペースの確保が難しい場合には、マニュアルに準じた上で、現場に合わせて規模を小さくする等の工夫は行っている。
- ・「注意サイン」については、担当課が相談に来れば指導はするが、「スリップ注意」などの単独設置のものは把握していない。
- ・「旬の情報」などの一時的な情報を載せることはしていない。
- ・「地域住民のまち中回遊」の促進などについては、景観推進課から特段指示はしていない。広域案内図に文化振興課が周遊ルートを掲載している実例はある。
- ・公共サインへの広告掲載については、デザインや見栄えも大切であるし、営利追及の民間の広告を載せてよいかどうかということを整理して考える必要があると考えている。
- ・横須賀中央駅前の案内サインには、案内に必要な建物ということで銀行も掲載している。これについては広告料を徴収している。

●横須賀市におけるサイン整備の状況

訪問調査時に視察を行った横須賀市のサインの整備状況を以下に示す。



■横須賀中央駅前の総合案内サイン  
盤面は比較的低い位置にあるが、傾斜させることで見やすくしている



■通りに着目した案内サイン



■歩道上のトランスを利用したサイン



■矢羽型の誘導サインと小規模な案内地図との組み合わせ



■公共施設の誘導サイン